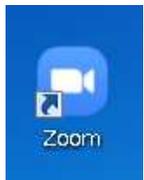
A detailed 3D wireframe model of a large, multi-story building's steel frame. The structure consists of a grid of vertical columns and horizontal beams, with a complex network of trusses on the roof. The model is rendered in a light gray color with red highlights at the joints. A semi-transparent white banner is overlaid across the center of the image, containing the text "FAB21/すける TON ユーザーミーティング 2021".

# FAB21/すける TON ユーザーミーティング 2021

## Zoom参加方法

1) インストールしたZoomのアイコンをダブルクリックで起動します。



2) [参加] 又は [ミーティングに参加] をクリックします。



3) ミーティングID、参加名を入れて、[参加] をクリックします。

Zoom

### ミーティングに参加する

ミーティングIDまたは個人リンク名を入力...

お名前(会社名)

将来のミーティングのためにこの名前を記憶

オーディオに接続しない

自分のビデオをオフにする

参加 キャンセル

お知らせしているミーティングID  
数字11桁

お名前を入力  
(会社名できれば入力して下さい、任意です  
例 カルテック小林  
※お名前はZoom参加者全員が  
参照できます。

4) ミーティングパスコードを入力して、[ミーティング参加]をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "ミーティングパスコードを入力" (Enter Meeting Password). It contains a text input field labeled "ミーティングパスコード" (Meeting Password). Below the input field are two buttons: "ミーティングに参加する" (Join Meeting) and "キャンセル" (Cancel). The "ミーティングに参加する" button is highlighted with a red rectangular box.

お知らせしているミーティングパスコード  
数字6桁

5) 事前登録メールアドレスを入力して、[ミーティング参加]をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "ミーティングパスコードを入力" (Enter Meeting Password). It contains two text input fields. The first field is for the email address, and the second field is for the name. Below the input fields is a checkbox labeled "将来のミーティングのためにこの名前を記憶する" (Remember this name for future meetings), which is checked. At the bottom are two buttons: "ミーティングに参加する" (Join Meeting) and "キャンセル" (Cancel). The "ミーティングに参加する" button is highlighted with a red rectangular box.

事前登録したメールアドレスを入力  
お忘れでも、ご存知のメールアドレスを入力し  
次画面で再登録で参加できます

**※お忘れ、又は事前登録していない場合**

下記の画面が表示されます **必須項目**を入力して**ミーティング参加が進行中**を押して下さい

名\*  姓\*

メールアドレス\*  メールアドレスを再入力\*

会社名/学校名\*

質問とコメント

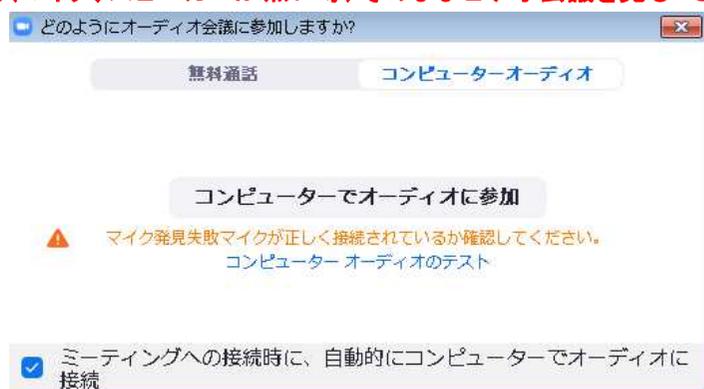
\* 必須情報

**ミーティング参加が進行中**

暫くすると、Zoomミーティング会場へ入場できます

その後、以下の画面が表示された場合、マイク、スピーカーの検出エラーです  
コンピュータオーディオのテストをして下さい。

**エラーでも(マイク、スピーカーが無い等)そのままビデオ会議を見ることはできます**



6) Zoom会場に入ると会話はミュート(相手に聞こえない)、ビデオはオフになっています。  
必要であればミュート解除、ビデオをオンしてください

↑クリックでON/OFF

反応に挙手  
無い場合は参加者の一番下

招待	ミュート	手を挙げる
招待	ミュート	手を降ろす

手を挙げる

手を降ろす

会議中に質問の時間をもちます。  
質問があれば、**反応又参加者の手を上げる**で手を上げてください  
司会者をご指名しますので  
**手を下ろし、ミュート解除**して、ご発言下さい

## 7) 会議終了

画面右下の退出で会議会場を退出します

# 目次

## 【工事一覧ユーティリティ】

- ・ 1-1 工事データ読込で旧マスターの読込対応 . . . . . 1
- ・ 1-2 他物件の仕様をコピー . . . . . 2

## 【共通仕様】

- ・ 2-1 母屋、根太、胴縁ライナーの幅の設定、及び干渉チェック . . . . . 3
- ・ 2-2 間柱ライナーPLの設定 . . . . . 4
- ・ 2-3 ネット受けピース両端割に第2ピッチを追加 . . . . . 5

## 【リスト入力】

- ・ 3-1 間柱で山形鋼2枚合、溝形構背中に対応 . . . . . 6
- ・ 3-2 スプライスのボルト本数の上限を1列60本まで可能 . . . . . 7

## 【配置入力】

- ・ 4-1 任意入力のリブPL . . . . . 8
- ・ 4-2 間柱の位置を梁芯、梁面に合わせる . . . . . 9
- ・ 4-3 NDコアの斜め切り . . . . . 10
- ・ 4-4 梁の距離配置で基準点を通りか梁芯か選択 . . . . . 11
- ・ 4-5 二面せん断梁の柱付に対応 . . . . . 12
- ・ 4-6 弱軸H柱への補強縦リブを生成 . . . . . 13
- ・ 4-7 3D表示の詳細表示 . . . . . 14
- ・ 4-8 3D表示で色の仕分け . . . . . 15

# 目 次

## 【作図関係】

・ 5 - 1	鋼板注文票	1 6
・ 5 - 2	梁組立加工図にキープラン追加	1 7
・ 5 - 3	間柱部品図の立面作図方向の切り替え	1 8
・ 5 - 4	母屋、胴縁、根太の複合材展開材をセット作図	1 9

## 【ハイブリッド構法】

・ 6 - 1	共通仕様① 仕口 (一般)	2 0
・ 6 - 2	共通仕様② 仕口 (一般)	2 1
・ 6 - 3	共通仕様③ 仕口規格	2 2
・ 6 - 4	リスト入力① 柱リストに、コン止め厚を追加	2 3
・ 6 - 5	リスト入力② 補足材リストに、RCデッキ受けを追加	2 4
・ 6 - 6	配置入力①	2 5
・ 6 - 7	配置入力② コン止め	2 6
・ 6 - 8	配置入力③ 梁取合い調整	2 7
・ 6 - 9	配置入力④ ウェブ補強 PL (個別配置)	2 8
・ 6 - 1 0	配置入力⑤ ウェブ補強 PL (一括配置)	2 9
・ 6 - 1 1	配置入力⑥ ウェブ補強 PL (PLクリア)	3 0
・ 6 - 1 2	配置入力⑦ デッキ受け (取付配置)	3 1
・ 6 - 1 3	配置入力⑧ デッキ受け (個別補正)	3 2
・ 6 - 1 4	積算仕様 見積内訳書への計上有無	3 3

# 目次

## 【ハイブリッド構法】

- ・ 6-15 溶接仕様 ハイブリッド関連の溶接項目追加 . . . . . 34
- ・ 6-16 作図 加工要領図にてハイブリッド仕口項目追加 . . . . . 35

## 【3D金物】

- ・ 7-1 モデル作成 . . . . . 36
- ・ 7-2 金物を配置 . . . . . 37
- ・ 7-3 金物を作図 . . . . . 38
- ・ 7-4 入力例 . . . . . 39
- ・ 7-5 帳票出力 . . . . . 40

## 【FAB21Link】

- ・ 8-1 FAB21Link① . . . . . 41
- ・ 8-2 FAB21Link② . . . . . 42

## 【その他】

- ・ 9-1 NC連動時にマークに工区名を追加 . . . . . 43
- ・ 9-2 IFC押し出しに対応 . . . . . 44
- ・ 9-3 ST-Bridge 取込みでRC柱に対応 . . . . . 45

## 目 次

### 【小技集】

- ・ 10-1 電卓入力の値を設置バーに転送、履歴表示 . . . . . 46
- ・ 10-2 3D表示 2次元⇔3次元間で表示移動 . . . . . 47
- ・ 10-3 3D表示 、10-4 3Dリアルタイム . . . . . 48
- ・ 10-5 3D表示 画面分割 . . . . . 49
- ・ 10-6 ダイヤの位置を確認しながら胴縁配置 . . . . . 50
- ・ 10-7 マウス右クリックで梁、間柱の非分断入力、重複入力 . . . . . 51
- ・ 10-8 部材を重複に配置している時の削除方法 . . . . . 52
- ・ 10-9 型紙図にて縮尺表示 . . . . . 53
- ・ 10-10 CADの2重起動 . . . . . 54
- ・ 10-11 ダミー階、10-12 ダミー通り . . . . . 55
- ・ 10-13 右クリックコピーで入力値変更 . . . . . 56

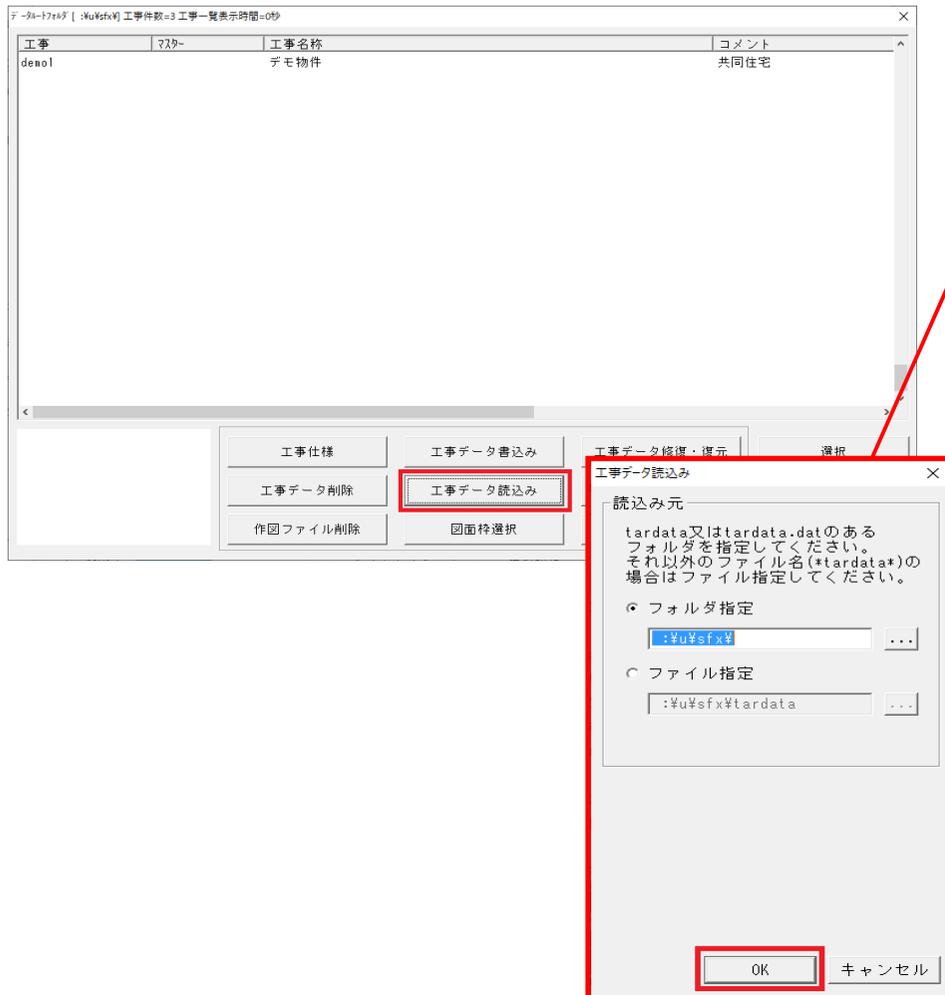
## 目 次

### 【よくある質問】

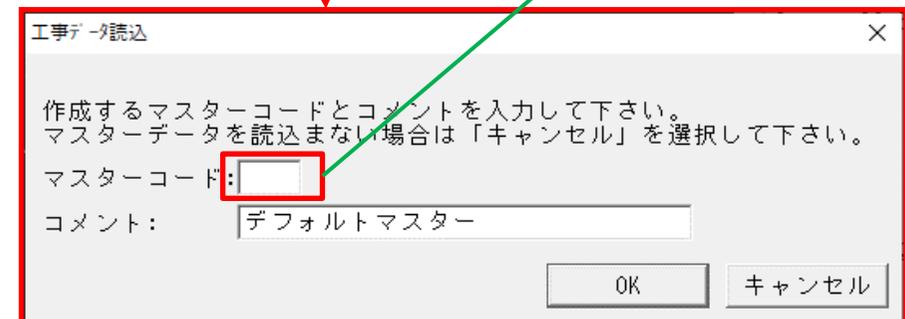
- ・ 1 1 - 1 配置入力画面で作図 . . . . . 5 7
- ・ 1 1 - 2 個別でガセット継手の変更 . . . . . 5 8
- ・ 1 1 - 3 小梁の端部を個別で剛接に変更 . . . . . 5 9
- ・ 1 1 - 4 梁の端部のスカーラップを個別に変更 . . . . . 6 0
- ・ 1 1 - 5 耐風梁の配置方法 . . . . . 6 1
- ・ 1 1 - 6 母屋、胴縁の一体設定 . . . . . 6 2
- ・ 1 1 - 7 母屋、胴縁の梯子設定 . . . . . 6 3
- ・ 1 1 - 8 間柱の中間支持継手 . . . . . 6 4
- ・ 1 1 - 9 母屋、根太、胴縁の工区設定 . . . . . 6 5

### 1-1 【工事データ読み込みで旧マスターの読み込みに対応】

- これまでは“tardata”に旧バージョンのマスターデータが含まれている場合、読み込みを中止していましたが、V4.3からは1つ前のバージョン (V4.2) のマスターであれば読み込みが可能です。



マスターコード(マスターの名前)を入力します。



## 1-2 【他物件の仕様をコピー】

- 他の物件の共通仕様、積算仕様、溶接仕様などの設定をコピーします。

工事仕様 [Ver4.3(1)]

使用マスター: デフォルトマスター [ 430 ] (ローカル○)

工事名称 1: デモ物件 (IFC出力時 プロジェクト名に使用)

工事名称 2: (IFC出力時 敷地名に使用)

工事名称 3: (IFC出力時 建物名に使用)

発注者: 株式会社XX組

建物用途: 共同住宅

延床面積: 0 ※未入力の場合はデッキ面積を使用します

型紙工事名: ※未入力の場合は工事名称の頭4文字を使用します

コメント: 共同住宅

社名: 鉄骨専用CAD株式会社 (IFC出力時 組織名に使用)

住所:

TEL: 06-TEL-1234

FAX: 06-FAX-1234

表示有無:  工事コード  重量  階数  延床面積  日付  
※チェック有り为非表示

和暦変換: 年号 | 令和 | 変換数 |

他工事仕様コピー

OK キャンセル

仕様をコピーする物件を選択します。

コピー元工事選択

コピー元の工事コードを入力して下さい

工事コード: demo1

一覧

OK キャンセル

仕様設定コピー

仕様コピー パージョン一致 コピー可能

指定工事[demo1]データバージョン(203)から  
現工事[test5]データバージョン(203)へコピーします

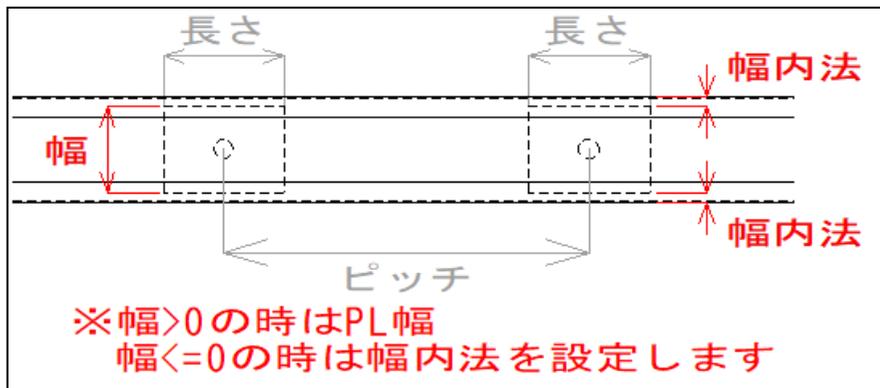
共通仕様  
作図仕様  
NC運動仕様  
尺取虫仕様  
積算仕様  
溶接仕様  
見積仕様  
検査仕様

はい(Y) いいえ(N)

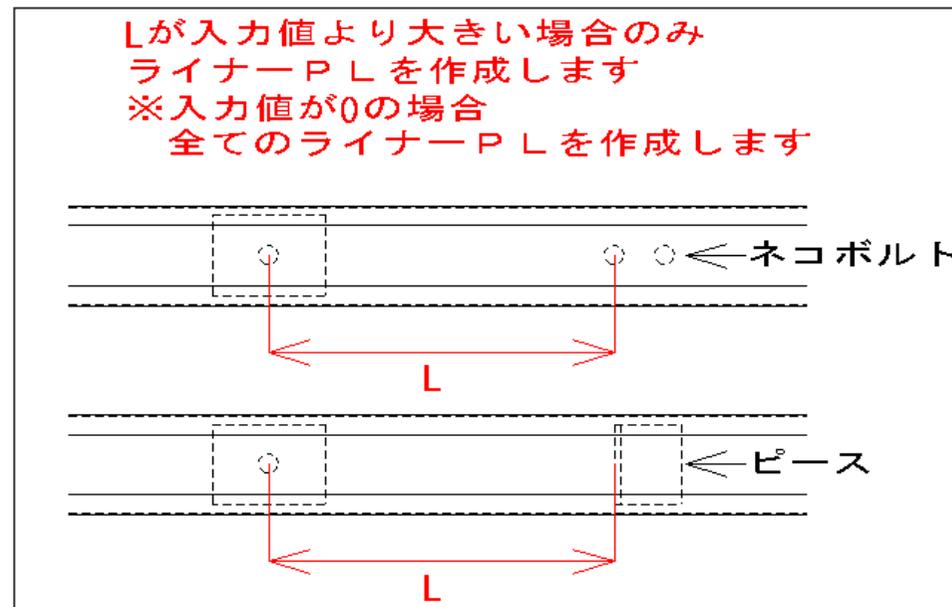
2-1 【母屋根太、胴縁ライナーPLの幅の設定、干渉チェック】

- ・ライナーPLの幅を設定します。
- ・ [共通仕様] - [母屋胴縁根太] - [母屋・根太ライナー] / [胴縁ライナー] - [幅]

1	割付け条件	最低長	150	最大長	
2		接合方式	1 - ライ-		
3	母屋・根太ライ-	長さ	100	ピッチ	500
4		端部開始位置		ライナーPL厚	6
5		接合方式	1 - ライ-		
6	胴縁ライ-	長さ	100	ピッチ	500
7		端部開始位置		ライナーPL厚	6
8		ライナーボルト	普通ボルト径	13	干渉チェック距離



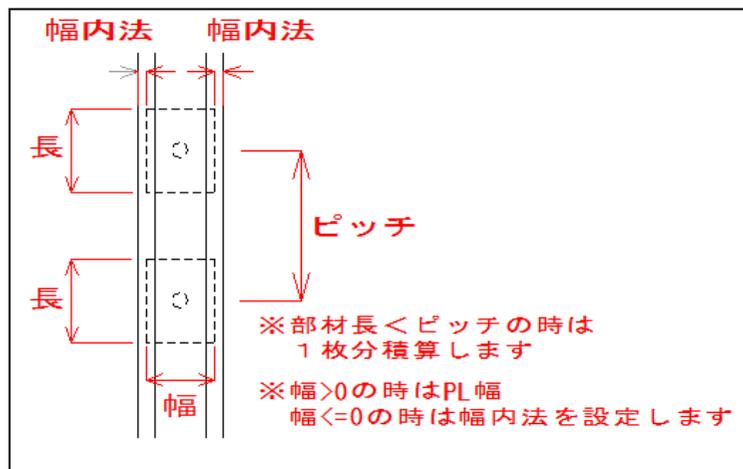
- ・ ネコのボルトやピース位置を認識し干渉チェック距離の値よりライナーPLを有無を判定します。
- ・ [共通仕様] - [母屋胴縁根太] - [ライナーボルト] - [干渉チェック距離]



## 2-2 【間柱のライナーPLの設定を追加しました】

- ・間柱ライナーPLの長さ、ピッチ、幅の設定が可能です。
- ・ [共通仕様] - [間柱ライナーPL]

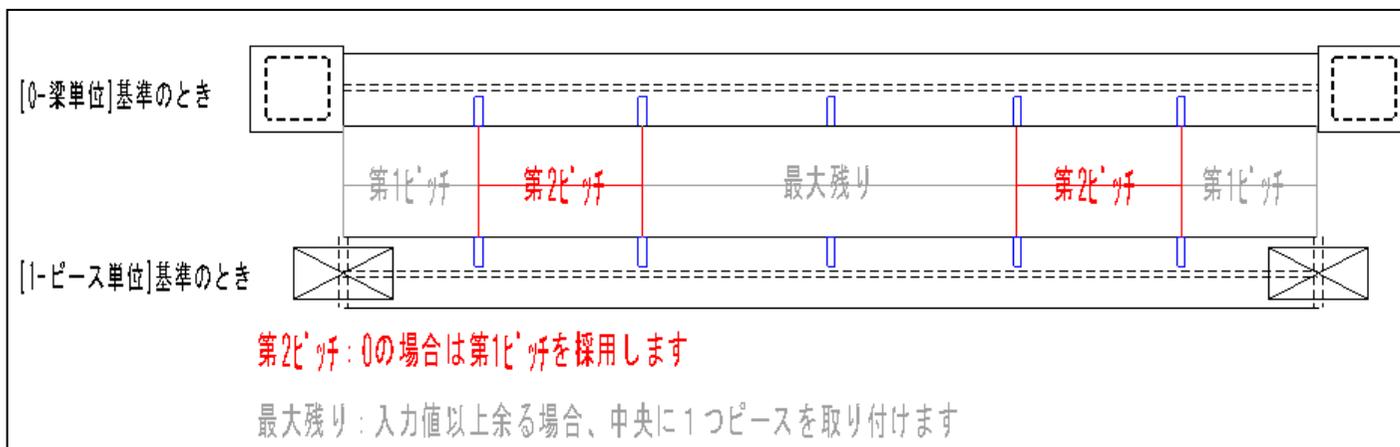
1	リブPL隅切残り	水平	30	垂直	30	取付位置	10
2	折曲柱	角材	1 - 等分角材				
3	付加情報	継手タイプ	0 - 含まない	角材・バース厚	0 - 含まない	溶接内角材・径	0 - PL径
4	間柱ライナーPL	間柱ライナー角材	0 - HTB	間柱ライナー径	20		
5		長	1000	ピッチ	1000	幅	



## 2-3 【ネット受けピース両端割に第2ピッチを追加】

- ・ [共通仕様] - [金物] - [ネット受けピース] - [両端部] - [第2ピッチ]

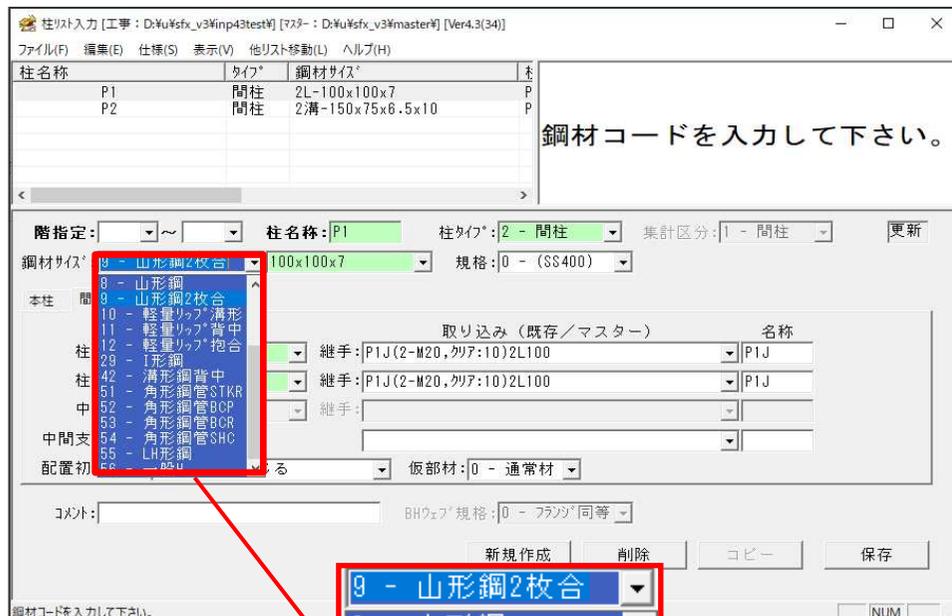
16	ネット受けピース	使用材	切替境界	600						
17		境界以下用	グループ名称	標準	品番	SF	取付位置	80		
18		境界超用	グループ名称	標準	品番	SG	取付位置	500		
19		取付基準	取付単位	0 - 梁単位	振り分け基	0 - 中心				
20		中心	ピッチ	1000	最大残り	800	逆端ピッチ	500		
21		始点割付	第1ピッチ	500	第2ピッチ	1000	最大残り	800	逆端ピッチ	500
22		両端部	第1ピッチ	1000	第2ピッチ		最大残り	800		
23		ピース単位時カット	距離	500						



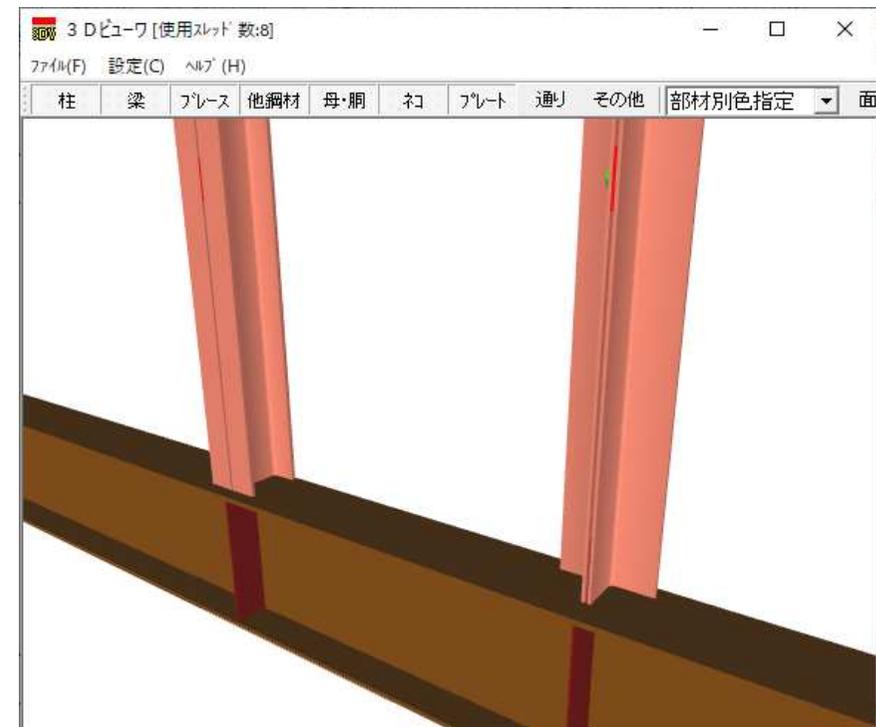
### 3-1 【間柱で山形鋼2枚合、溝形構背中に対応】

- ・ [柱リスト] より間柱の鋼材で山形鋼2枚合、溝形鋼背中を選択できます。

コマンド: [リスト入力] - [柱リスト]



### [3D表示]



### 3-2 【スプライスのボルト本数上限を60本に増加】

コマンド： [リスト入力] - [継手リスト]

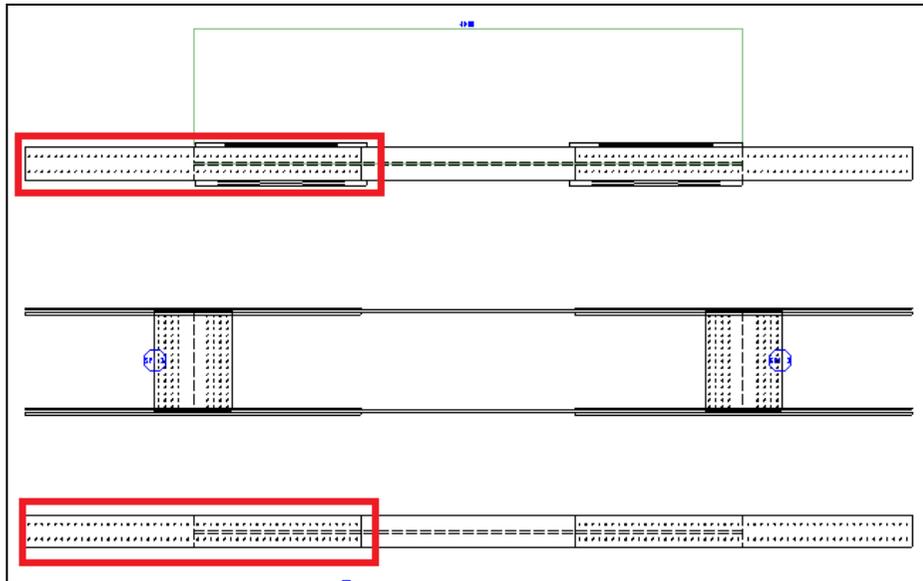
継手名称: SPL13 継手種類: 1-スプライス 継手本数: フランジ 1/4本数 ウェブ 1/2本数

スプライス継手 | 現場溶接 | ガセット継手(1面) | ガセット継手(2面) | エレクション継手 | 通しボルト継手 | CTガセット継手 | クレーンゲージ

	厚	幅	長	規格	ボルト本数	径	規格	列	g1	g2	b	p	e
【外フランジ】	PL:22	300	3050		50	20		1	140	90	60	60	40
【内フランジ】	PL:22	1400	位置:0 - 共通仕様		フランジ PL形状			上フランジ:0 - PLあり		下フランジ:0 - PLあり			
【ウェブ】	PL:28	700	920		60	20		4	60	40	60		10

ウェブPL:0 - PL2枚

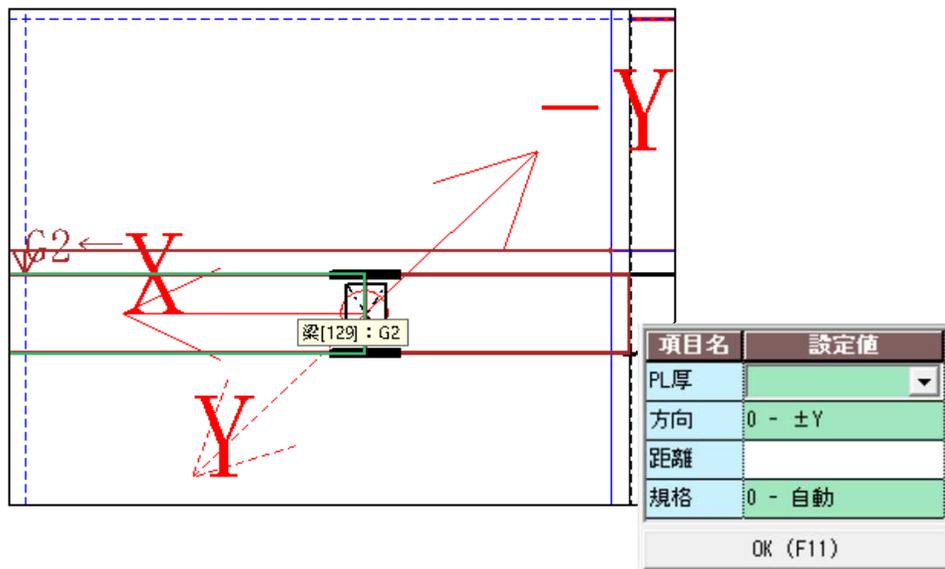
一列に対し60本まで設定可能



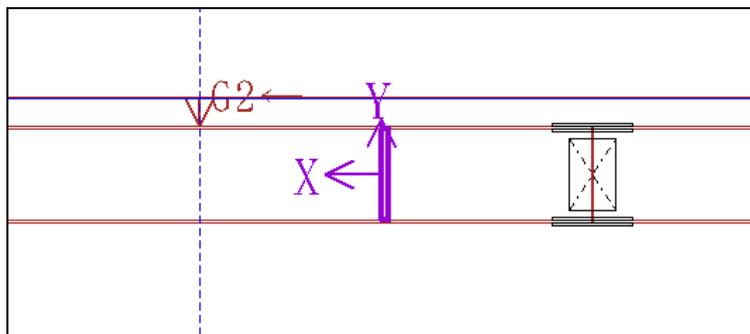
#### 4-1 【任意入力のリブPL】

- 鋼材サイズを認識し、PL厚、方向、部材端部からの距離、規格の設定だけでリブ、内ダイヤを作成します。

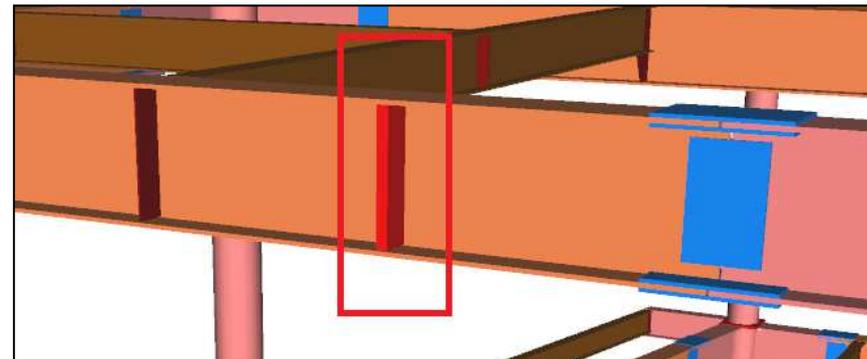
コマンド： [配置入力] - [金物/PL] - [リブPL]



[配置入力] (入力後)



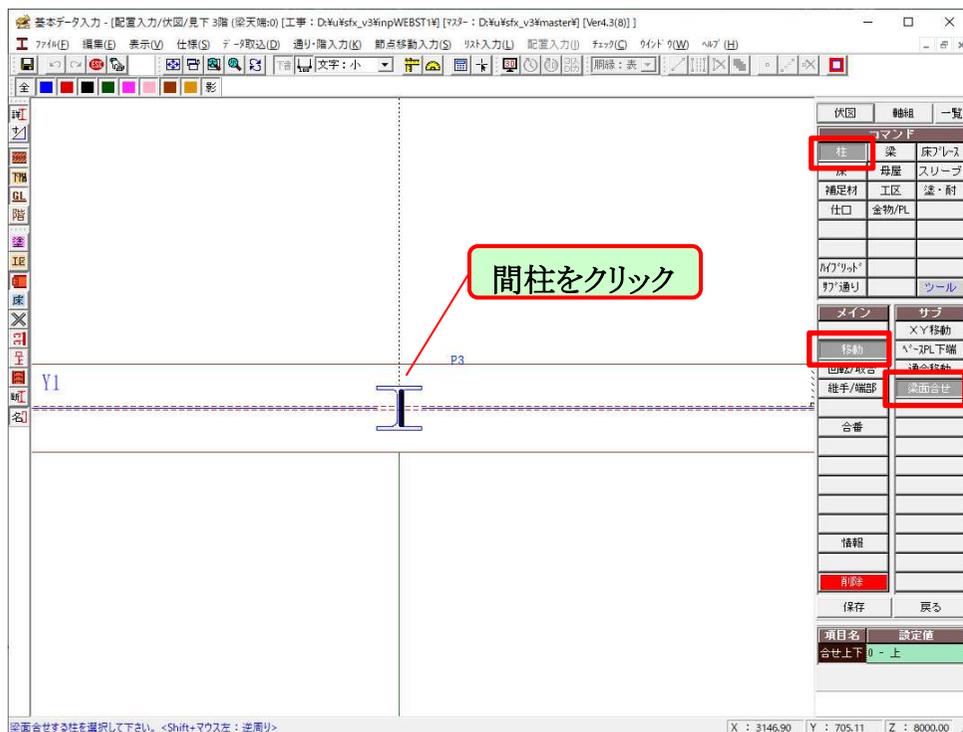
[3D表示]



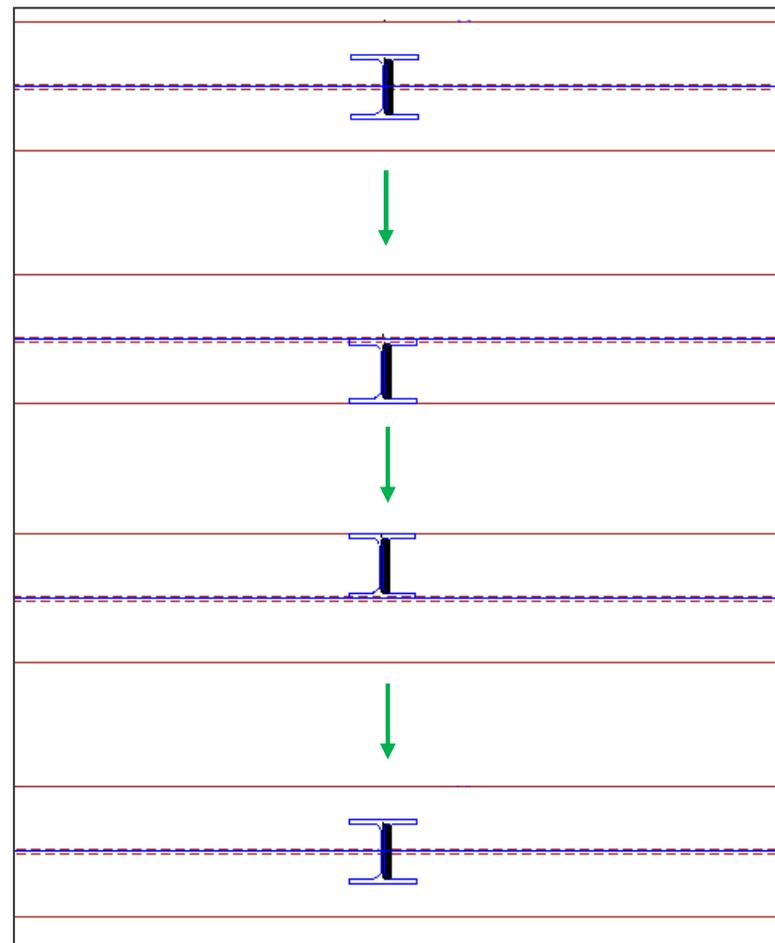
#### 4-2 【間柱の位置を梁芯、梁面に合わせる】

- ・間柱を指示すると間柱が、梁芯、梁面に合わせて移動します。

コマンド： [配置入力] - [柱] - [移動] - [梁面合せ]



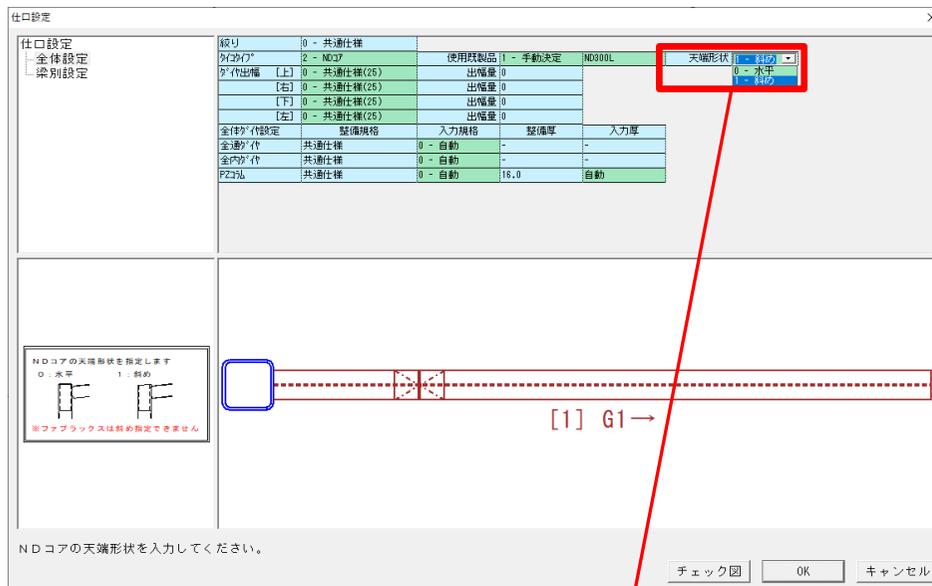
- ・下図のように、間柱をクリックする毎に、間柱の位置が梁面、梁芯と移動します。



### 4-3 【NDコアの斜め切り】

- ・ [全体設定] の項目の[天端形状]で“0-水平” “1-斜め”を選択できます。

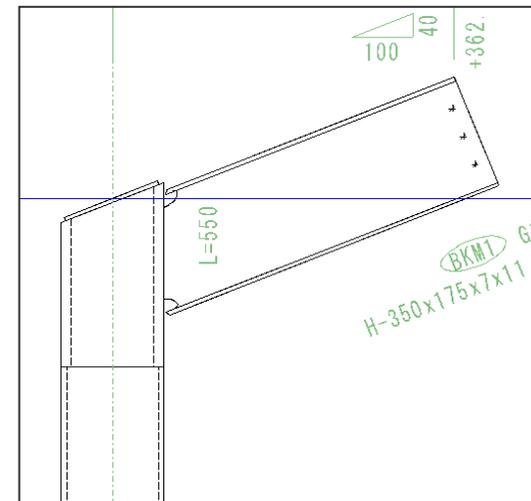
コマンド： [配置入力] - [仕口] - [変更] - [設定]



### [3D表示]



### [柱詳細図]



#### 4-4 【[距離配置]で基準点を、通りか梁芯か選択】

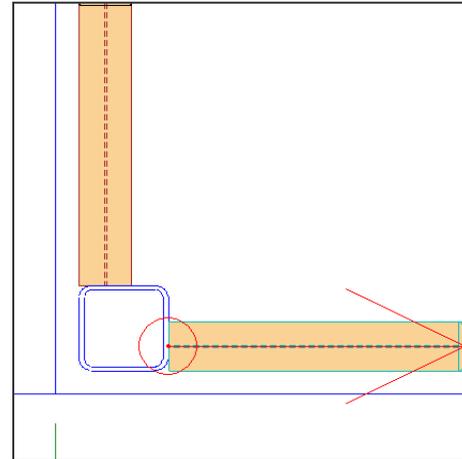
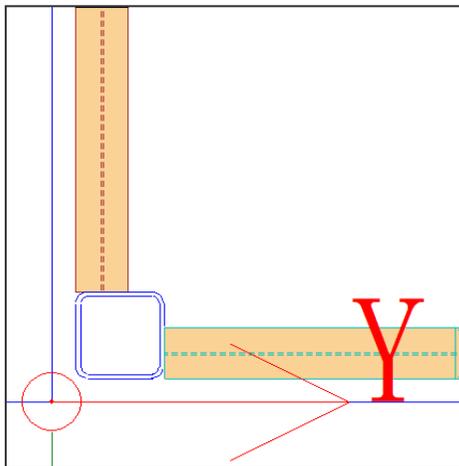
コマンド： [配置入力] - [梁] - [配置] - [距離配置]

項目名	設定値
鋼材サイズ	H-200×100×5.5×8
梁名	B2
基準位置	Y - 通り
ズレ	→左+

0 - 通り  
1 - 芯

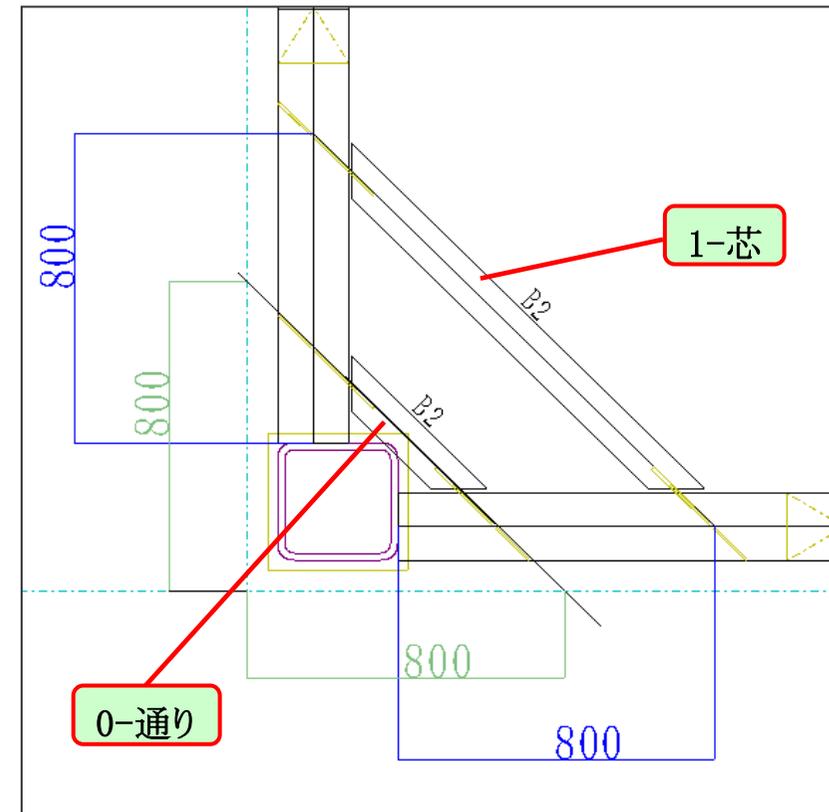
[基準位置]から、さらに基準点をずらしたい場合にズレ量を入力できます。

[基準位置] (“0-通り” の場合) [基準位置] (“1-芯” の場合)



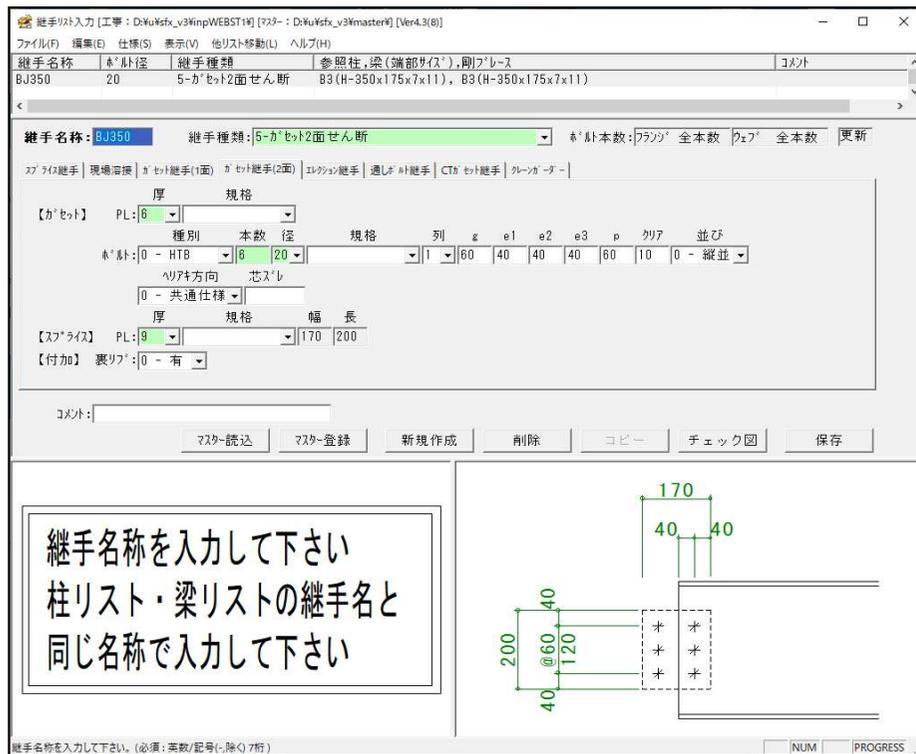
#### [例] 火打ち梁の場合

- ・ [基準位置] を “0-通り” “1-芯” それぞれで800で入力すると下図のようになります。



#### 4-5 【二面せん断梁の柱付に対応】

- 登録は従来通り [リスト入力] - [継手リスト] で  
“5-ガセット2面せん断”で登録します。



継手リスト入力 [工事: D:\u\kfc\_v2\imp\WEBST14] [マスタ: D:\u\kfc\_v2\master] [Ver4.3(8)]

継手名称	継手径	継手種類	参照柱,梁(端部サイズ),剛プレス	コメント
BJ350	20	5-ガセット2面せん断	B3(H=350x175x7x11), B3(H=350x175x7x11)	

継手名称: BJ350 継手種類: 5-ガセット2面せん断 継手径: フラット 全本数: フラット 全本数: 更新

スライズ継手 | 現場溶接 | ガセット継手(1面) | ガセット継手(2面) | エルロン継手 | 通しガセット継手 | CTガセット継手 | クランゲーター

厚 規格  
【ガセット】 PL: 6 種類 本数 径 規格 列 g e1 e2 e3 p クリア 並び  
継手径: 0 - HTB 継手径: 6 継手径: 20 継手径: 1 継手径: 60 継手径: 40 継手径: 40 継手径: 60 継手径: 10 継手径: 0 - 継ぎ  
ベリヤ方向 芯ズレ  
0 - 共通仕様  
厚 規格 幅 長  
【スライズ】 PL: 9 継手径: 170 継手径: 200  
【付加】 裏ワラ: 0 - 有

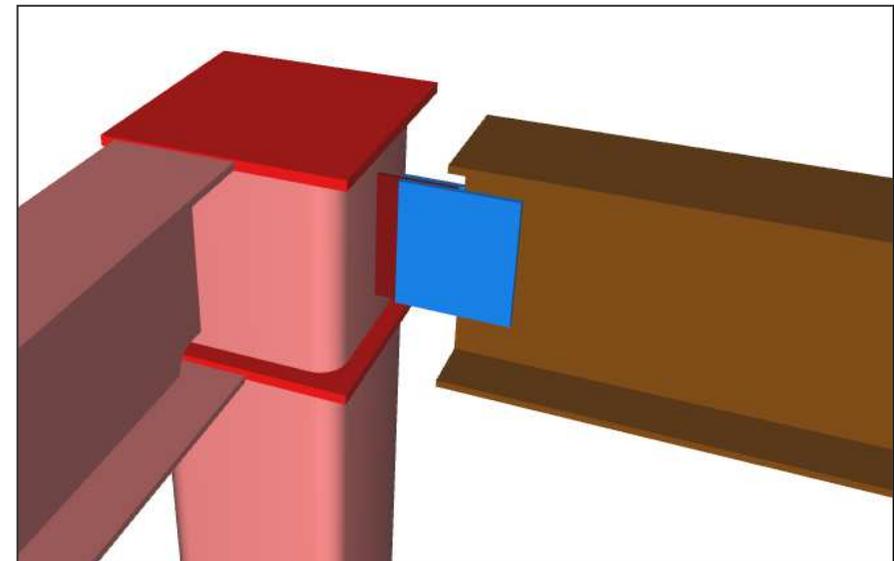
コメント:

マスタ-読込 マスタ-登録 新規作成 削除 コピー チェック図 保存

継手名称を入力して下さい (必須: 英数/記号(-, < 7桁))

NUM PROGRESS

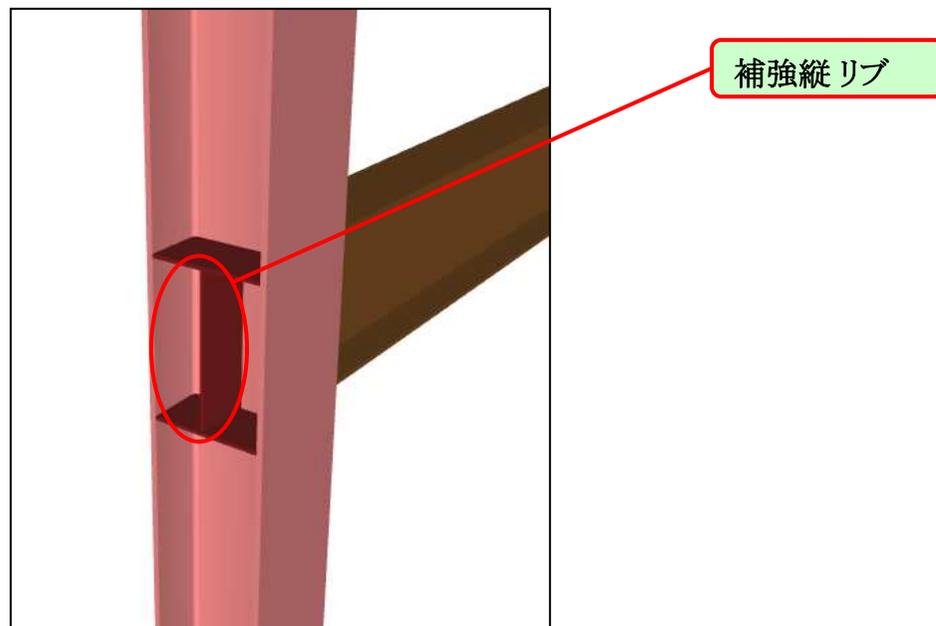
#### [3D表示]



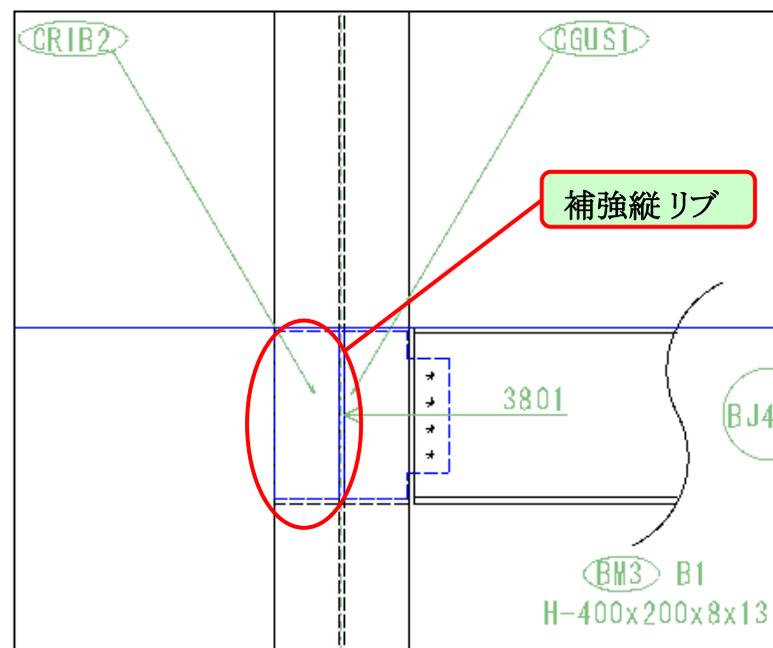
## 4-6 【弱軸H柱への補強縦リブを生成】

- ・小梁など、ガセットタイプの梁をH柱の弱軸側に配置することで縦の補強リブを生成するようになりました。

[3D表示]

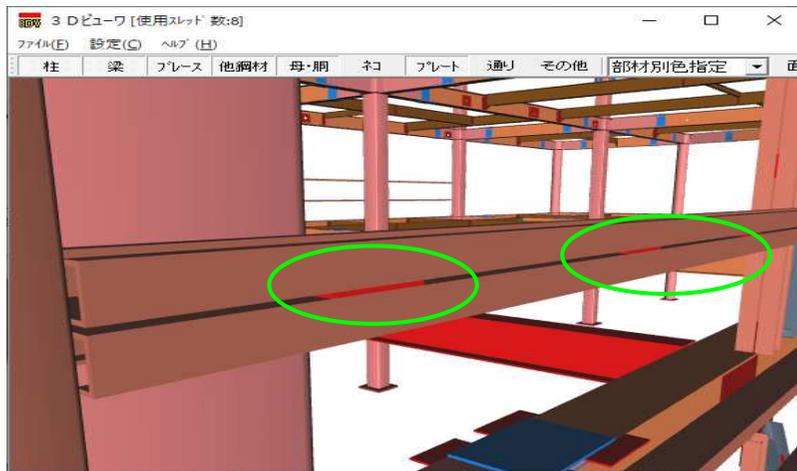


[柱詳細図]

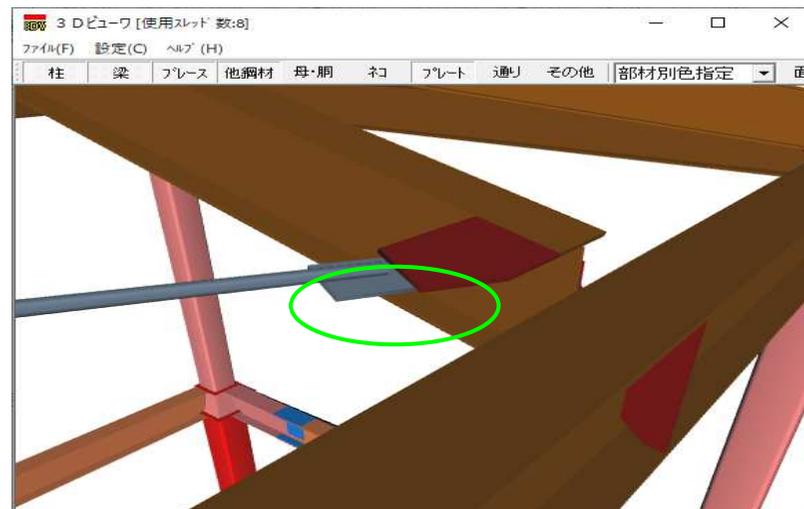


#### 4-7 【3D表示の詳細表示】

[ブレースや母屋、胴縁、小梁のライナーPLの表示]

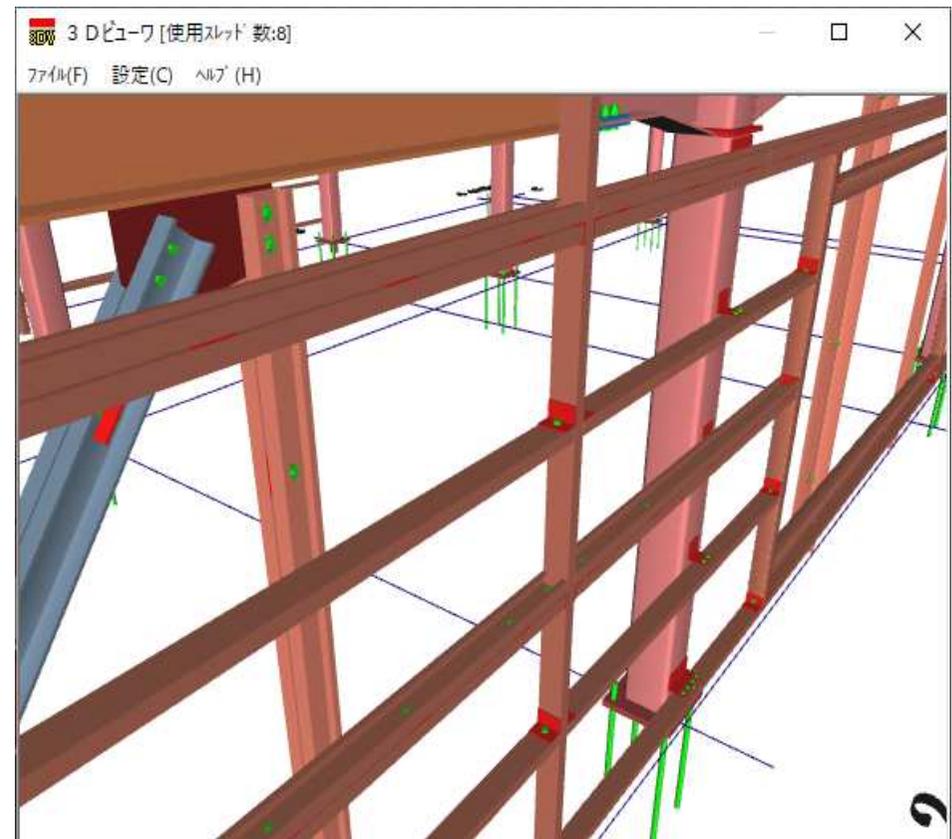


[羽子板の表示]



[ボルト表示]

・ライナーボルト、ブレースボルト、ネコ、ピースボルトの表示



### 4-8 【3D表示で色の仕分け】

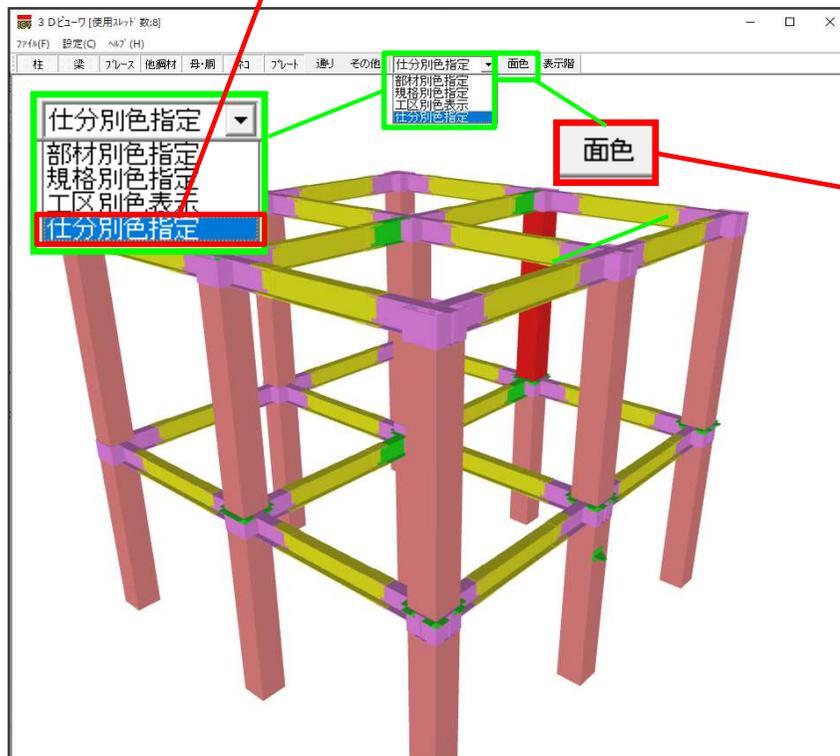
- ・ [積算仕様] - [本体鉄骨仕分け] - [振り分け分類] で振り分けた分類の各項目を3D表示上で色分けします。

積算仕様 ● 概略計算 ● 算出方法 ● ロス率 ● 帳票仕様 ● 本体鉄骨仕分け	1	鉄骨集計書	仕分け有無	1 - 有り						
	2	振り分け分類	柱	0 - A	間柱	0 - A	大梁中央	1 - B	小梁	2 - C
	3		仕口カット	3 - D	単品カット	3 - D	壁ブレース	2 - C	床ブレース	2 - C

[3D表示]

① [仕分別色指定] を選択します。

② 分類A~Dの色選択ができます。



仕分け名	R	G	B	α	表示色	作図
分類A	255	128	128	10		<input checked="" type="checkbox"/>
分類B	255	255	0	10		<input checked="" type="checkbox"/>
分類C	0	128	255	10		<input checked="" type="checkbox"/>
分類D	255	128	255	10		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>
	255	255	255	0		<input checked="" type="checkbox"/>

※R:赤 G:緑 B:青 α:アルファ [最小輝度=10~最大輝度10]

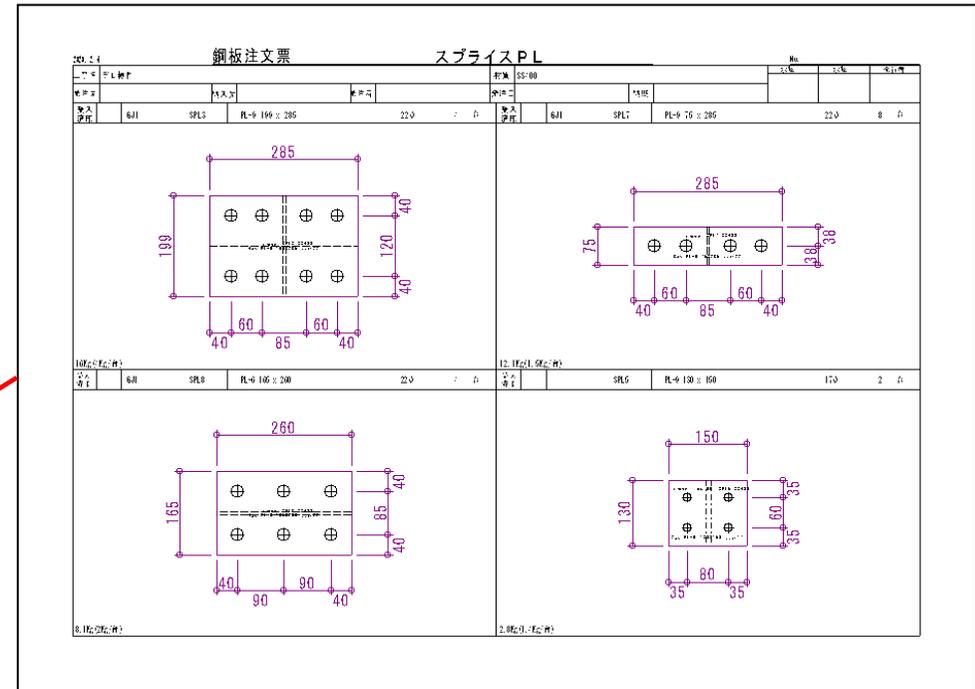
新規登録 面色呼出 更新登録 取消 終了

### 5-1 【鋼板注文票】

- ・ [図面・帳票] - [作成] の項目に“鋼板注文票”を追加しました。

作成する項目を選択して下さい

- 図面
  - 伏図
  - 軸組図
  - 伏軸組レイアウト図
  - 継手リスト
  - 二次部材詳細図
  - 梁詳細図
  - 柱詳細図
  - 梁部品図
  - 間柱部品図
  - 溶接基準図
  - 母屋割付図
  - 胴縁割付図
  - 型紙
  - 加工要領図
  - 切断孔明指示書
  - 二次部材加工図
  - 架構詳細図(斜め通り以外)
  - 梁組立加工図
  - 梁組立加工図(文字定義)
  - 鋼板注文票**
  - 鋼板注文票(文字定義)
  - 部材リスト
  - 金物加工図
  - 金物部品図

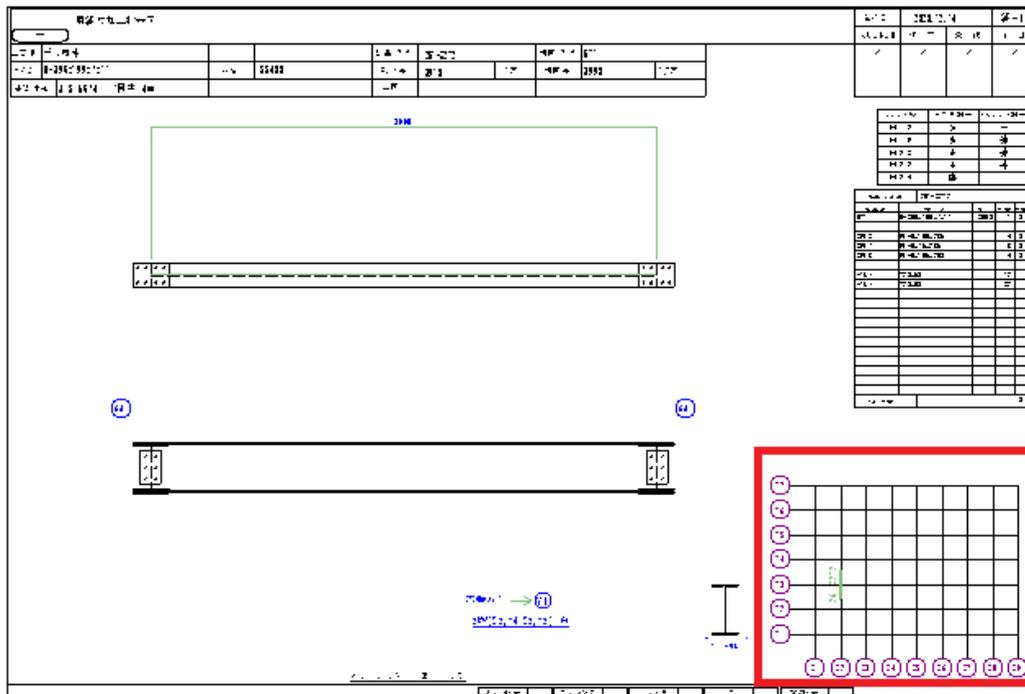


## 5-2 【梁組立加工図にキープラン追加】

- ・ [作図仕様] - [キープラン] - [作図スケール]
- ・ [作図仕様] - [キープラン] - [ダミー通り]

14	段差	1 - 有り	小数桁表示	0 - マスク	ビッパレス	0 - 無し	剛パレス	0 - 無し	
15	アレス累加寸法	0 - 有り	累加寸法位置	0 - 左内	切断基準	0 - 各面	アット基準	0 - 右	
16	寸法	第1ホルト寸法	0 - 無し	累加寸法	0 - 全て有り	累加寸法方向	0 - 右	ガット押基準	0 - 払い込み
17	重複累加寸法	0 - 有り	梁芯累加寸法	0 - 無し	スリッパ補強PL	0 - 無し	補足材押基準	1 - 〇押作図側	
18	斜め角度	1 - 有り							
19	キープラン	作図スケール 300	ダミー通り	1 - 有り					
20	シフト	下面作図	1 - 無し	図間隔比率	100	上下間隔比率	100		
21	作図対象	アット	0 - 無し	大梁	1 - 有り	小梁	1 - 有り		

### [梁組立加工図]

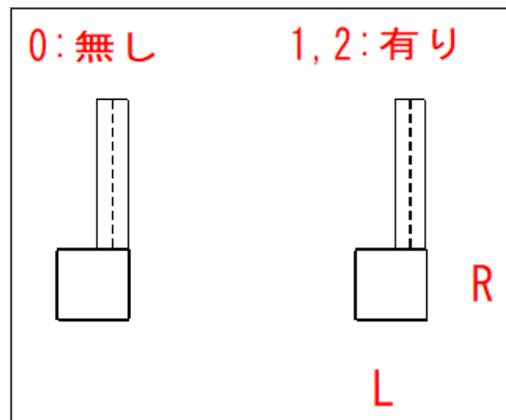


キープランを追加しました。

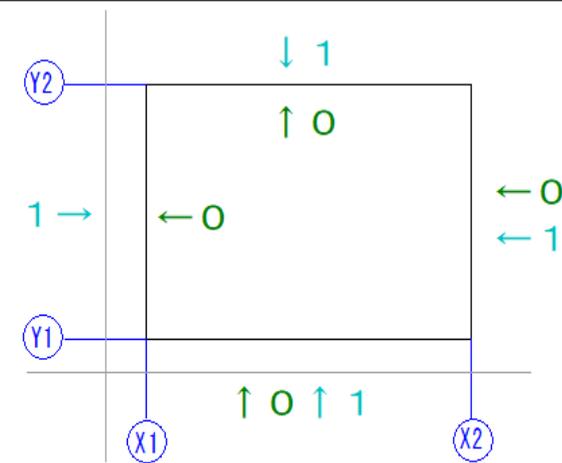
### 5-3 【間柱部品図の立面作図方向の切り替え】

- ・ [作図仕様] - [間柱部品図] - [平面情報] - [LR有無]
- ・ [作図仕様] - [間柱部品図] - [平面情報] - [立面作図方向]

1	マーク	がもつ 3 - 部品マーク	ねPL 3 - 部品マーク	その他のPLマーク	4 - 部品+PL厚	ベース平面PL	1 - 部品マーク
2		金物品番 0 - 無し	仕分名称 0 - 無し	剛ワダットマーク 0 - 無し	剛ワダット厚 0 - 無し	剛ワダット厚 0 - 無し	0 - 無し
3		剛ワダット継手マーク 0 - 無し	ワダット梁マーク 0 - 無し	ワダット梁厚 0 - 無し	ワダット梁厚 0 - 無し	ワダット補強PL 0 - 無し	0 - 無し
4		ウチワPL 3 - 部品マーク	立面ワダット厚 0 - 無し				
5	継手情報	おし穴 3 - おし穴記号+	おし穴厚 0 - 無し	剛ワダットおし穴 0 - 無し			
6	平面情報	がもつ高さ 0 - 無し	LR有無 1 - 有り				
7		ピンワダット形綱 0 - フレート	ね 0 - 有り	工区情報 0 - 無し	ワダット材長 0 - 有り		
8	表現	PL厚方向記号 0 - 無し	金物断面図 0 - 有り	がもつ厚実寸 0 - デフォルト	片刃落し表示 0 - 切断		
9		塗装仕様出力 1 - 有り	立面作図方向 0 - 通番号				
10	寸法	小数桁表示 0 - マスク	ピンワダット 0 - 無し	剛ワダット 0 - 無し	0押え基準点 0 - 間柱端部		
11		材寸法基準点 0 - 間柱端部	平面ピンワダット接合 0 - がもつ合せ	立面作図方向 0 - 右側	ワダットSUS寸法 0 - 有り		
12	キブラ	作図スケール 300	柱マーク厚 2	矢印 0.5	ワダット通り 1 - 有り		
13	レイアウト	図間隔比率 100	上下間隔比率 100				



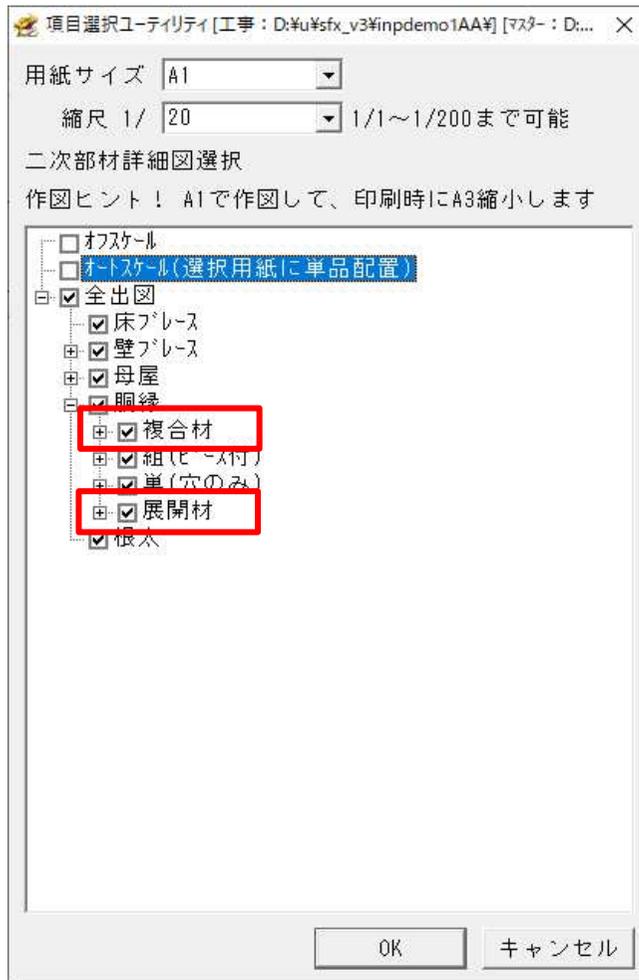
- 0: 左側に小さい通り番号がくるように見た図
- 1: 通り属性外側から見た図
- 2: 部材座標 (回転無視)



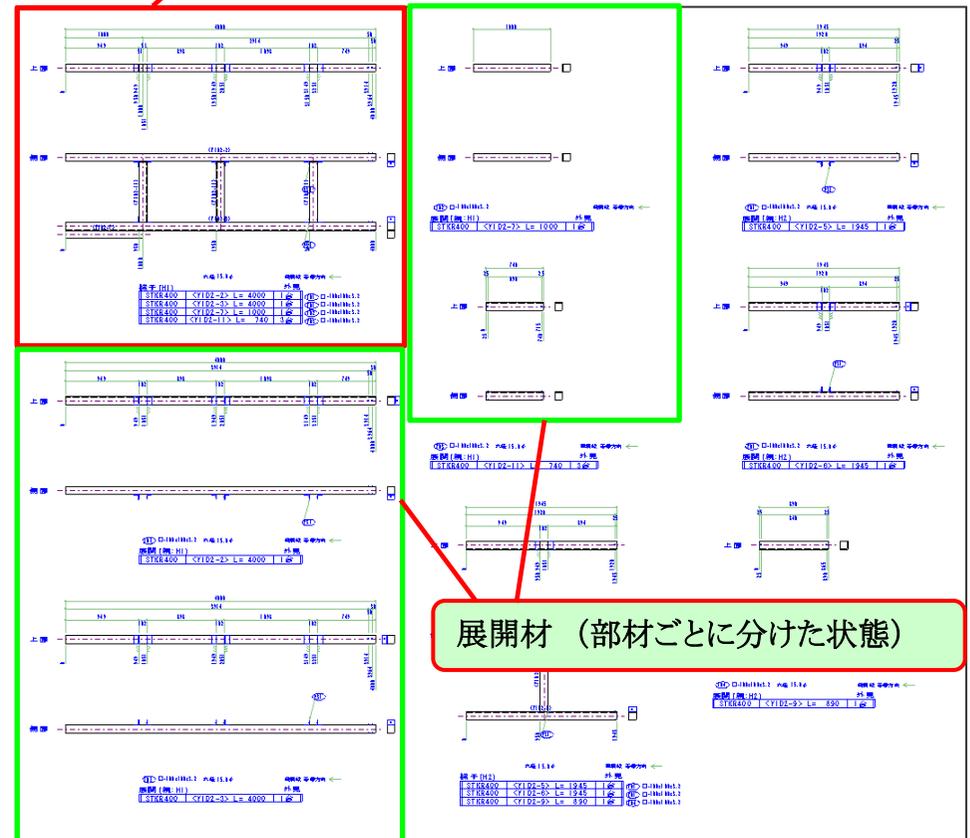
※通属性外側の場合でも、間柱部品図は集計する為代表間柱の外側方向で作図します。

### 5-4 【母屋、胴縁、根太の複合展開材をセット作図】

- 配置入力で [一体]、[梯子] などの複合材を作成した場合。二次部材詳細図にて、展開材表示の際に関係材をセットで作図します。



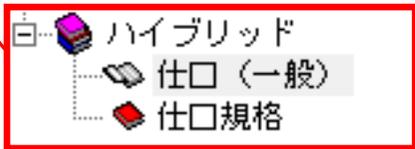
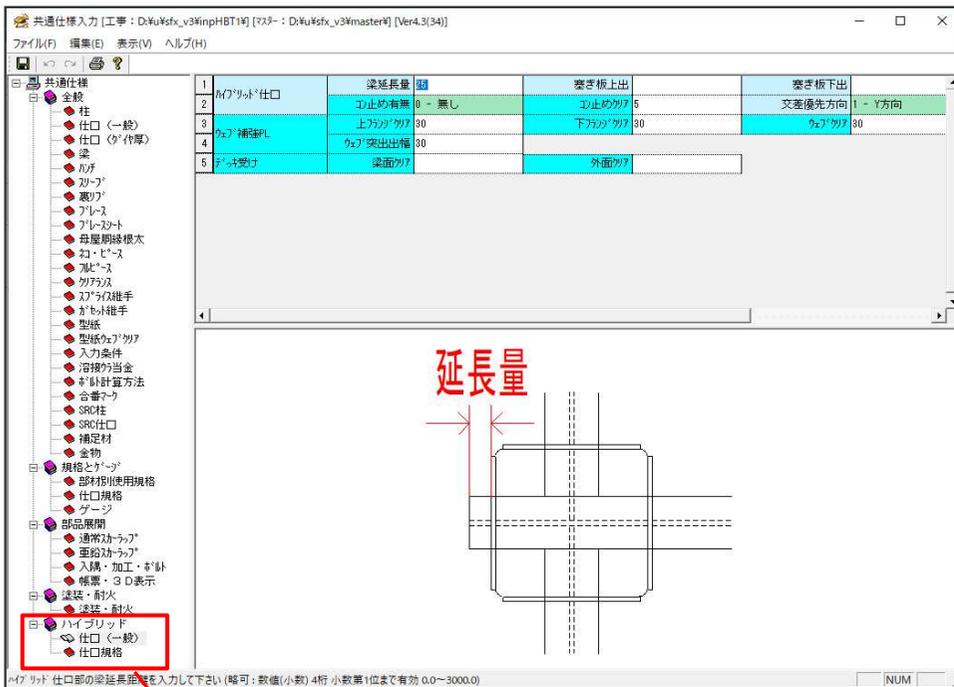
複合材(一体、梯子など組んである状態)



展開材 (部材ごとに分けた状態)

### 6-1 【共通仕様①】

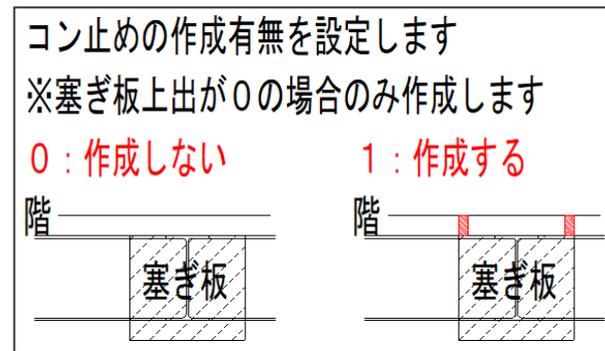
・共通仕様に【ハイブリッド】の項目を追加しました。



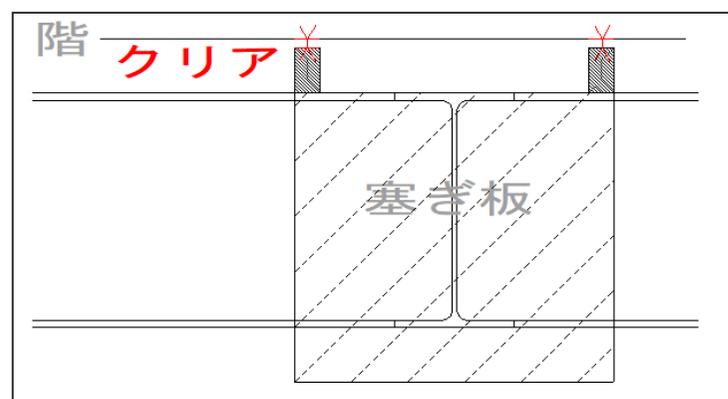
・【共通仕様】 - 【ハイブリッド】 - 【仕口 (一般)】

項目	値	単位	備考
1	ハイブリッド仕口	梁延長量	25
2		コン止め有無	0 - 無し
3		コン止めクリア	5
4	コンクリート補強PL	上方向クリア	30
5		下方向クリア	30
6		コンクリート突出幅	30
7	コンクリート受け	梁面クリア	
8		外面クリア	

・【コン止め有無】



・【コン止めクリア】: 階からのコン止めクリア量を設定します。

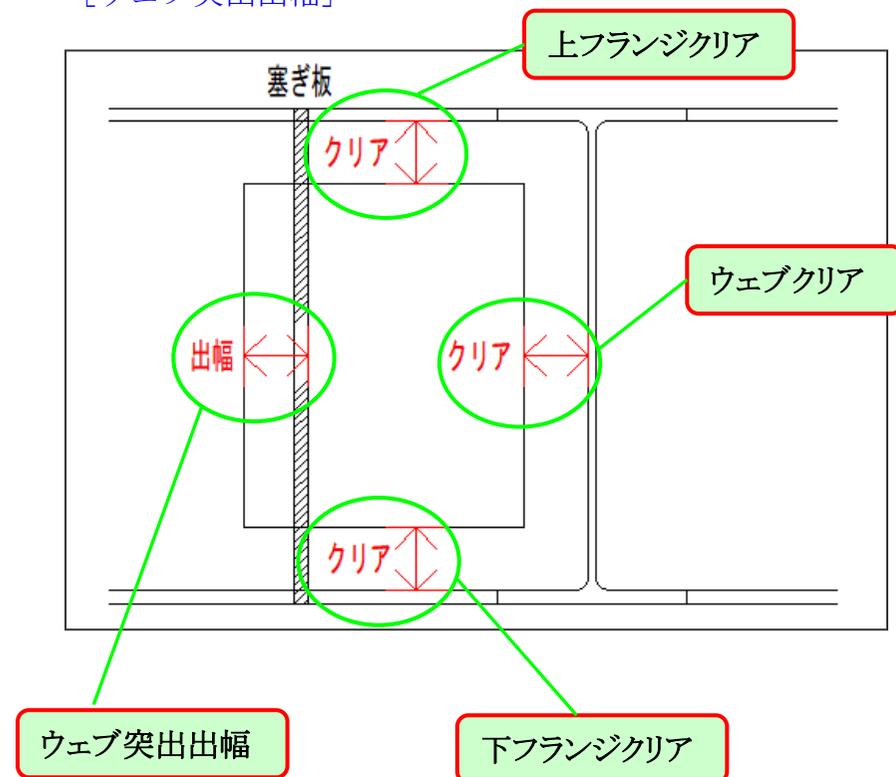


## 6-2 【共通仕様②】

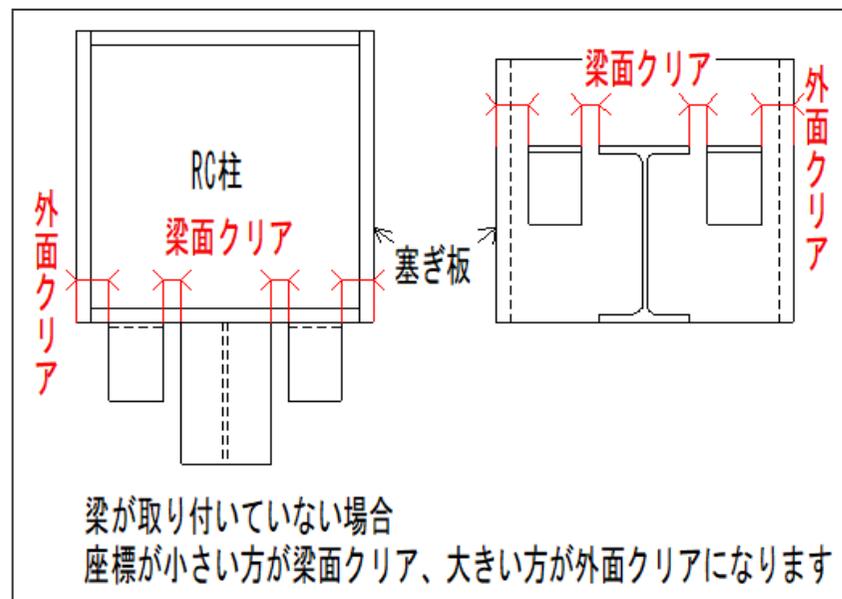
- ・ハイブリッド構法のウェブ補強PLやデッキ受けのクリアランスや出幅を調整します。
- ・【共通仕様】－【ハイブリッド】－【仕口（一般）】

1	ハイブリッド仕口	梁延長量 25	塞ぎ板上出	塞ぎ板下出
2		コ止め有無 0 - 無し	コ止めクリア 5	交差優先方向 1 - Y方向
3	ウェブ補強PL	上フランジクリア 30	下フランジクリア 30	ウェブクリア 30
4	デッキ受け	ウェブ突出出幅 30	梁面クリア	外面クリア

- ・【ウェブ補強PL】－  
【上フランジクリア】/【下フランジクリア】/【ウェブクリア】  
【ウェブ突出出幅】



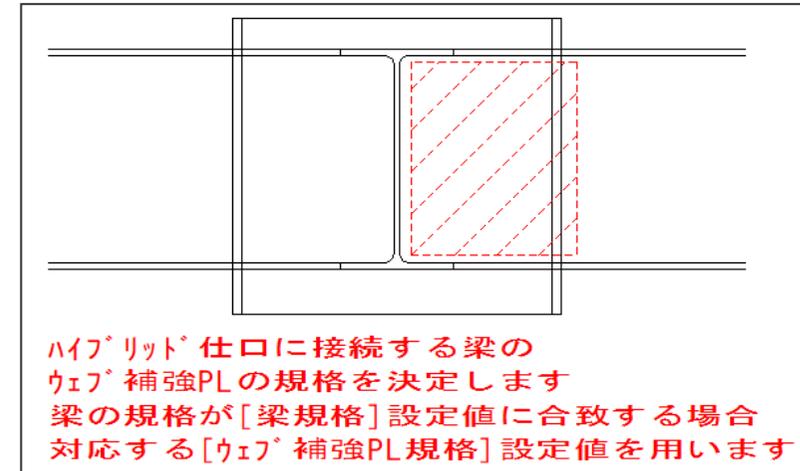
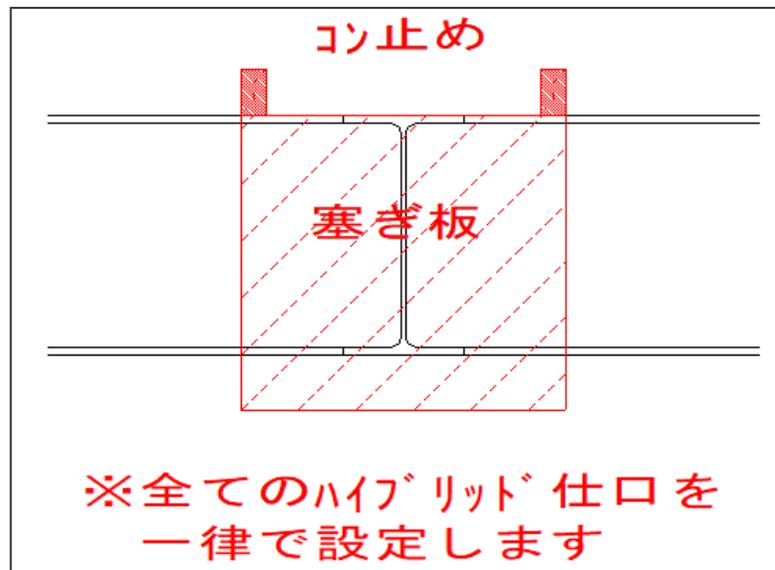
- ・【デッキ受け】－【梁面クリア】/【外面クリア】



### 6-3 【共通仕様③】

- ・ 塞ぎ板、コン止め、ウェブ補強の各規格を設定します。
- ・ [共通仕様] - [ハイブリッド] - [仕口規格]

1	ハイブリッド	塞ぎ板	1 - SS400		
2		コン止め	1 - SS400		
3		ウェブ補強	梁規格		ウェブ補強PL規格
4			4 - SN490B	4 - SN490B	
5			3 - SN400B	3 - SN400B	
6					
7					
8					
9		上記以外	1 - SS400		



## 6-4 【リスト入力①】

- ・ [柱リスト] より“柱タイプ：4 - RC柱”を選択した際、  
[コン止め厚] を設定できます。



柱リスト入力 [工事: D:\Yu\sfk\_v3\inp\HBT1] [マスタ: D:\Yu\sfk\_v3\master] [Ver4.3(34)]

ファイル(F) 編集(E) 仕様(S) 表示(V) 他リスト移動(L) ヘルプ(H)

柱名称	タイプ	鋼材サイズ

※未入力時は塞ぎ板と同厚で設定します  
※規格は[共通仕様]-[ハイブリッド/仕口規格]の[コン止め]で設定します

階指定: [ ] ~ [ ] 柱名称: C1 柱タイプ: 4 - RC柱 集計区分: 1 - 間柱 新規

鋼材サイズ: 60 - RC 500x500

本柱 | 間柱 | RC柱

塞ぎ板 厚: 12 厚: 6

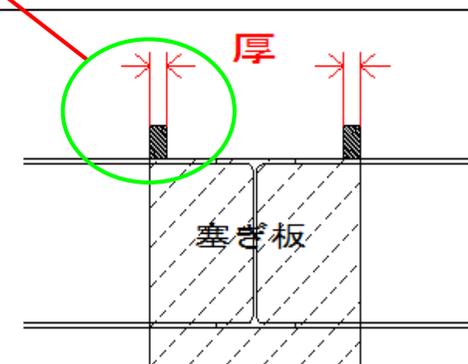
コメント: [ ] BHウェ規格: [ ]

新規作成 削除 コピー 保存

NUM

コン止めの厚みを入力して下さい。

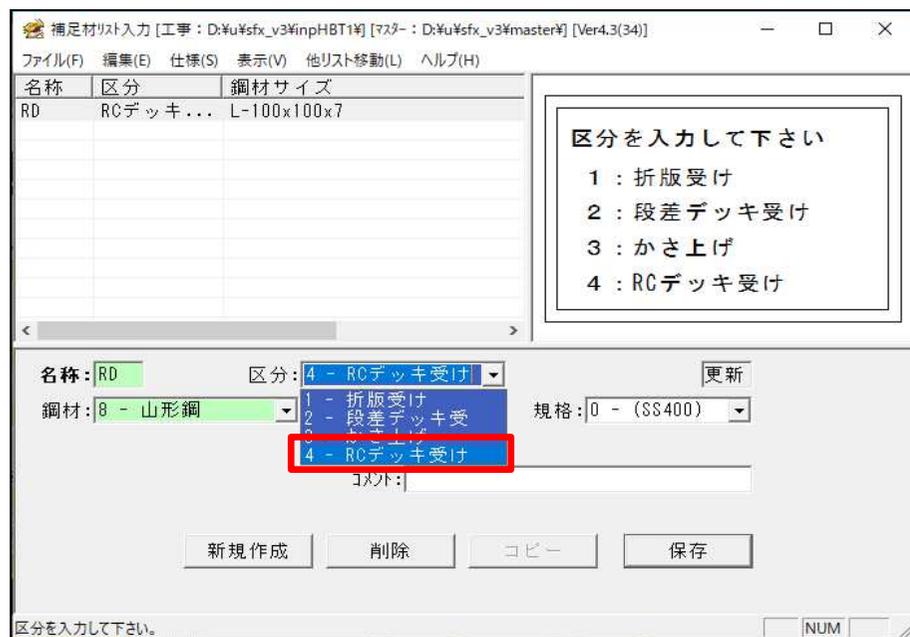
コン止め厚



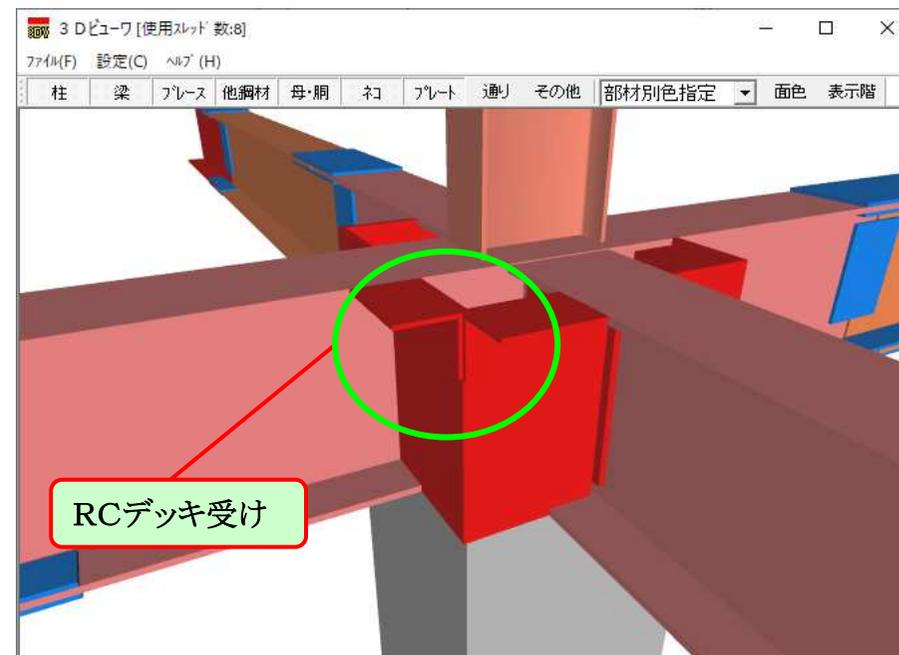
※未入力時は塞ぎ板と同厚で設定します  
 ※規格は[共通仕様]-[ハイブリッド/仕口規格]の  
 [コン止め]で設定します

## 6-5 【リスト入力②】

- ・ [補足材リスト] より “区分： 4-RCデッキ受け” を追加しました。



## [3D表示]

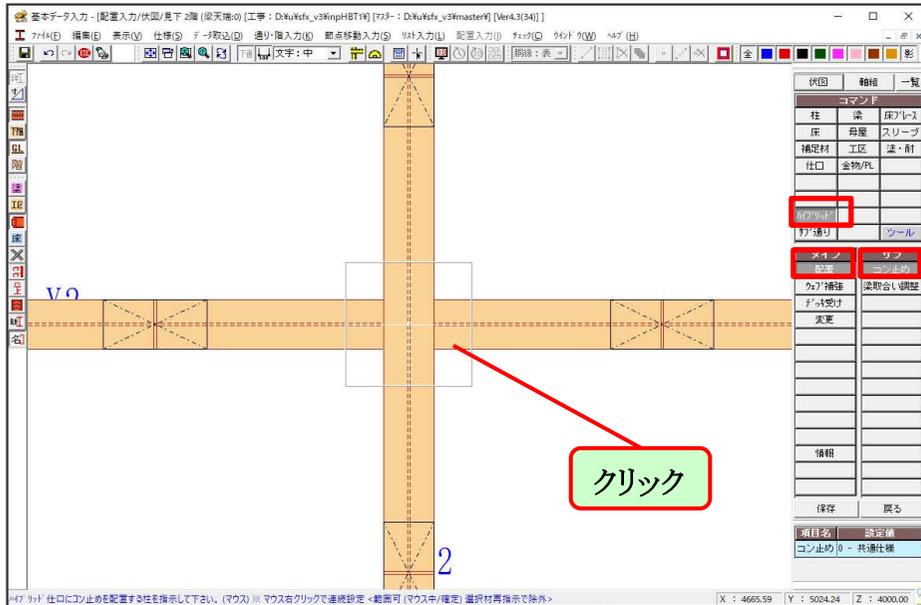




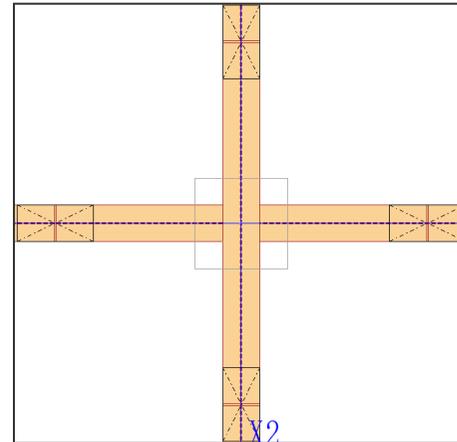
### 6-7 【配置入力②】

- ・コン止めを設定します。

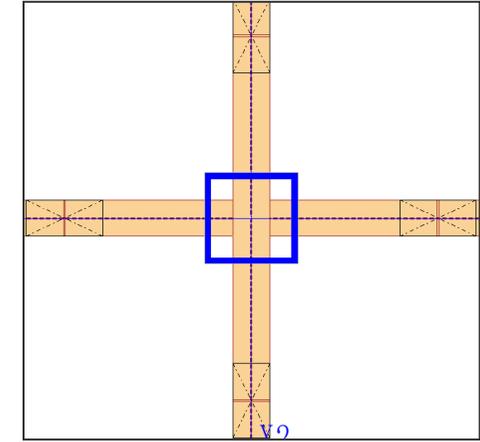
コマンド： [ハイブリッド] - [配置] - [コン止め]



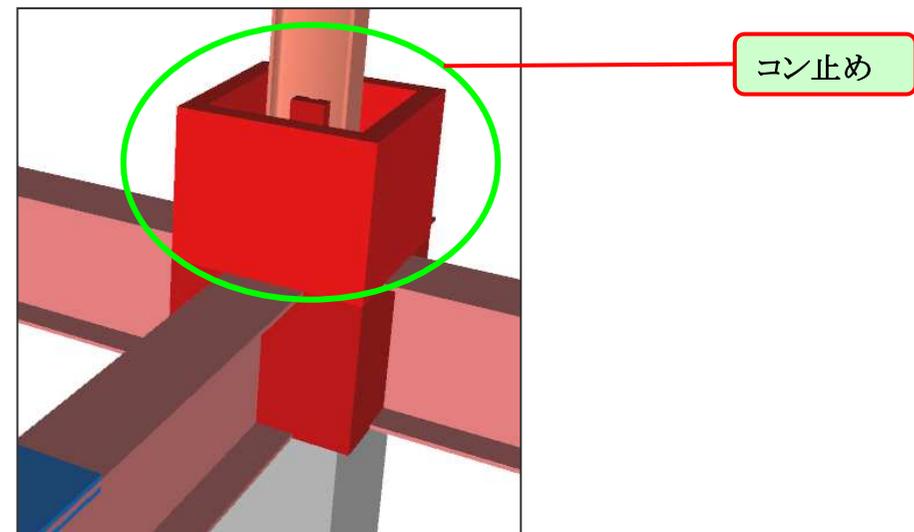
[コン止め無し]



[コン止め有り]



[3D表示]



### 6-8 【配置入力③】

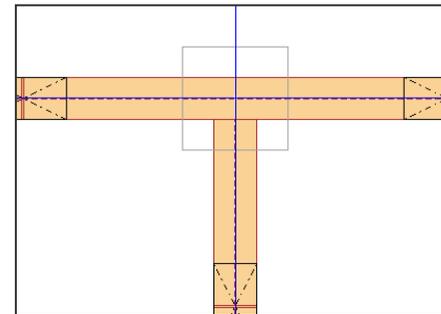
- ハイブリッド構法の仕口部の跳出し梁（片持ち梁）を配置します。

コマンド： [ハイブリッド] - [配置] - [梁取合い調整]

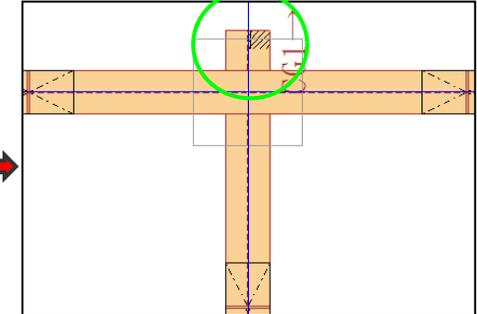
①配置する梁を選択します。

②クリック

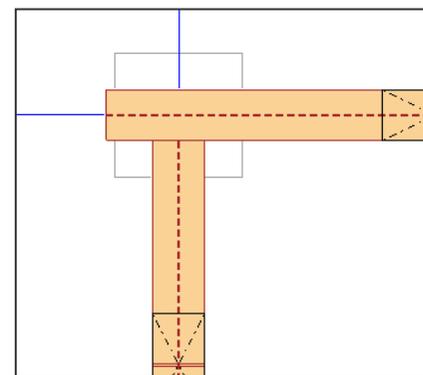
[配置前]



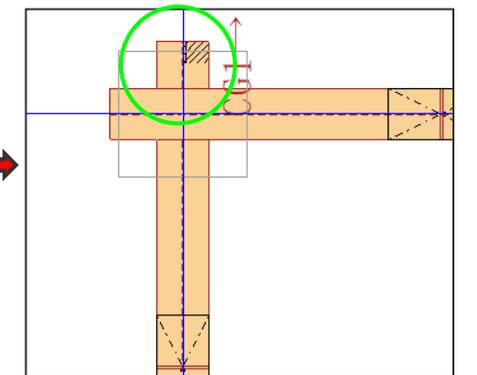
[配置後]



[配置前]



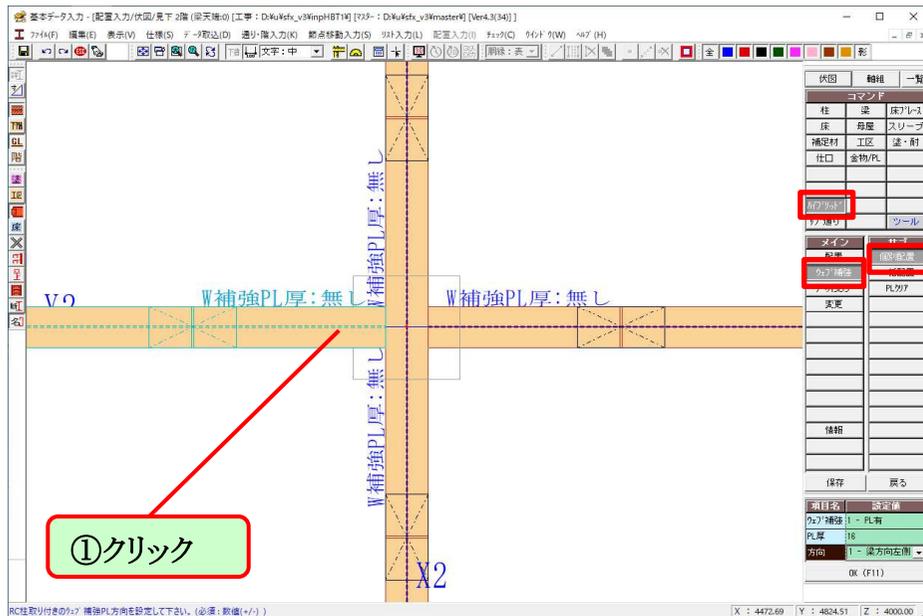
[配置後]



### 6-9 【配置入力④】

- ・個別でウェブ補強PLを配置します。

コマンド： [ハイブリッド] - [ウェブ補強] - [個別配置]

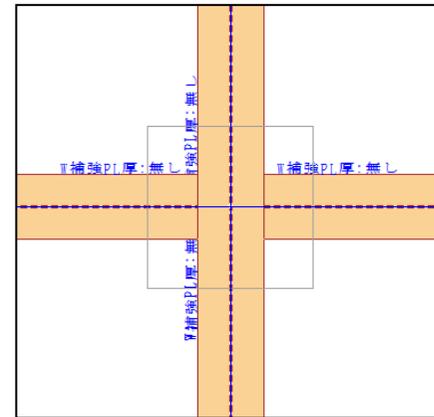


①クリック

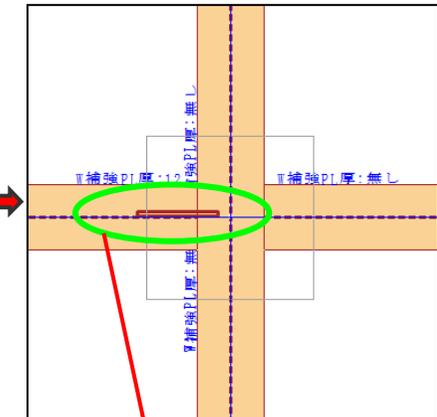
②PLの有無、PL厚、方向を設定します。

項目名	設定値
ウェブ補強	1 - PL有
PL厚	16
方向	1 - 梁方向左側
	-1 - 梁方向右側
	1 - 梁方向左側
	2 - 両側

[配置前]

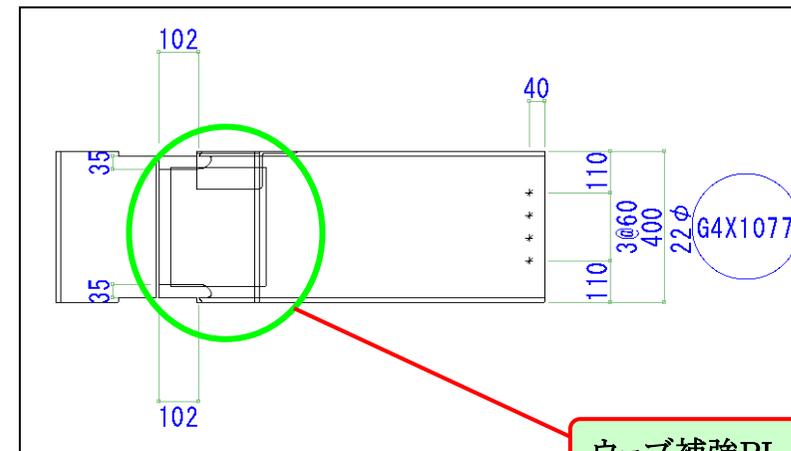


[配置後]



ウェブ補強PL

[梁部品図]

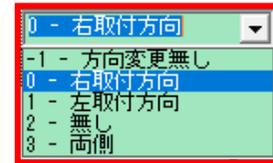
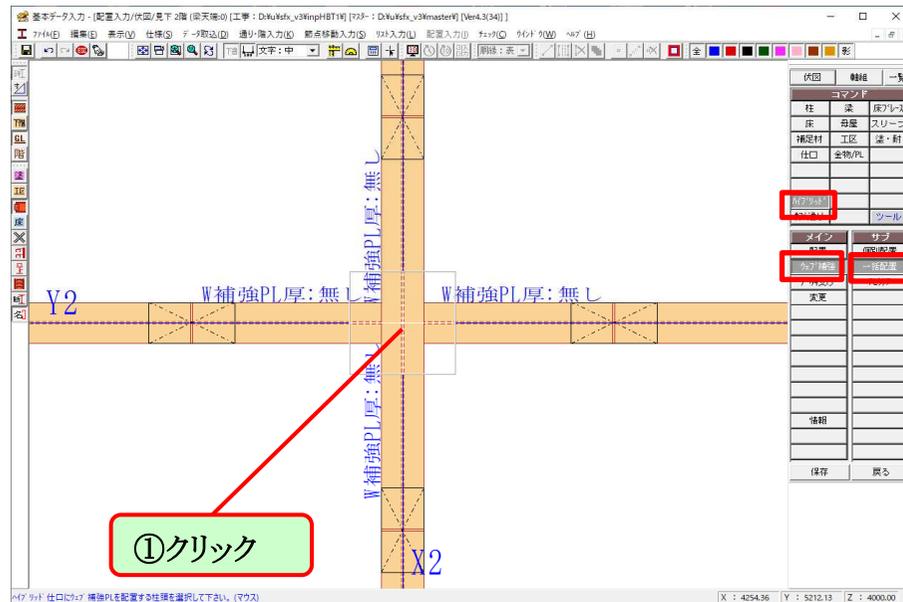


ウェブ補強PL

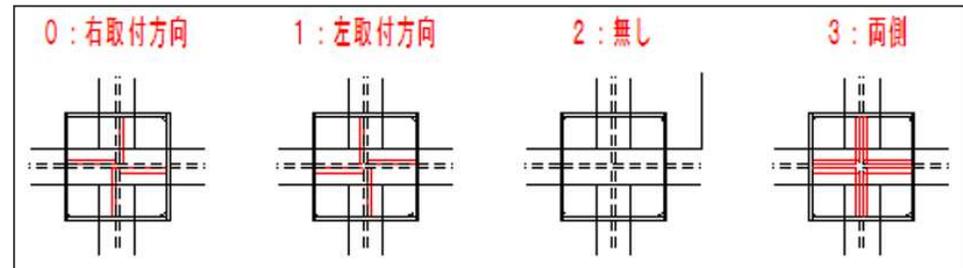
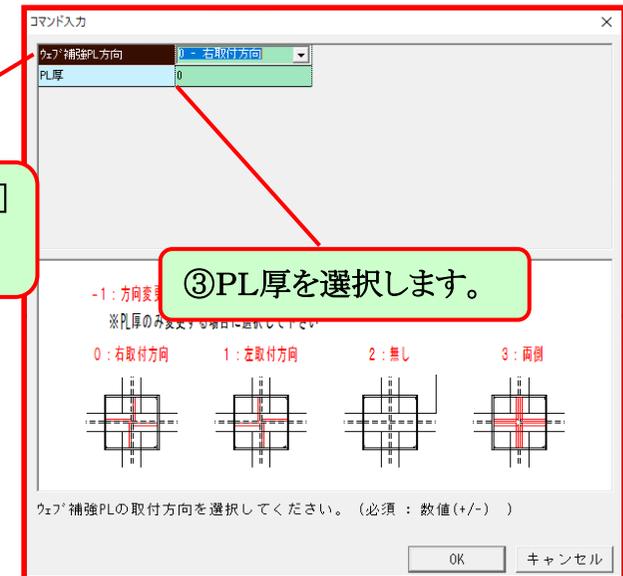
### 6-10 【配置入力⑤】

・ウェブ補強PLを一括で配置します。

コマンド： [ハイブリッド] - [ウェブ補強] - [一括配置]



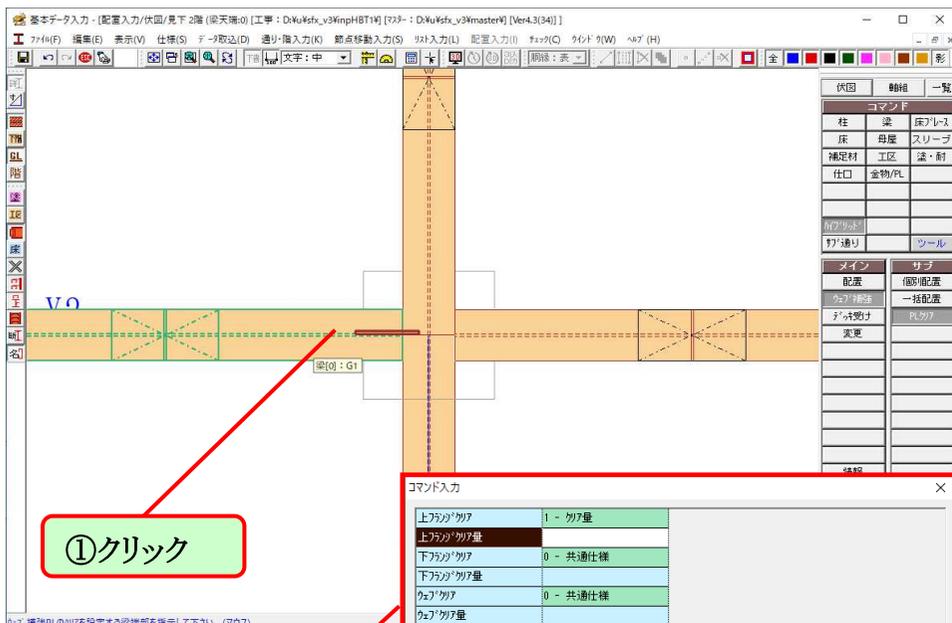
②[ウェブ補強PL方向]を選択します。



### 6-11 【配置入力⑥】

・個別でウェブ補強P Lのクリアランス、出幅を設定します。

コマンド： [ハイブリッド] - [ウェブ補強] - [PLクリア]



①クリック

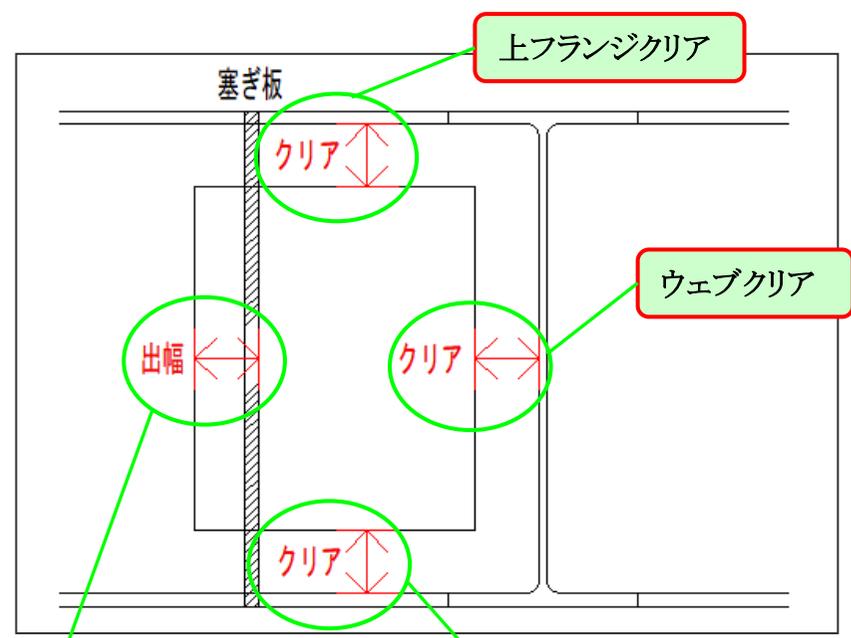
②各クリアランスを設定します。

上フランジクリア	1 - クリア量
上フランジクリア量	
下フランジクリア	0 - 共通仕様
下フランジクリア量	
ウェブクリア	0 - 共通仕様
ウェブクリア量	
ウェブ突出出幅	0 - 共通仕様
ウェブ突出出幅量	

梁上フランジからのクリア量を入力して下さい。(略可：数値 3桁)

OK キャンセル

上フランジクリア	1 - クリア量
上フランジクリア量	
下フランジクリア	1 - クリア量
下フランジクリア量	
ウェブクリア	1 - クリア量
ウェブクリア量	
ウェブ突出出幅	1 - 出幅量
ウェブ突出出幅量	



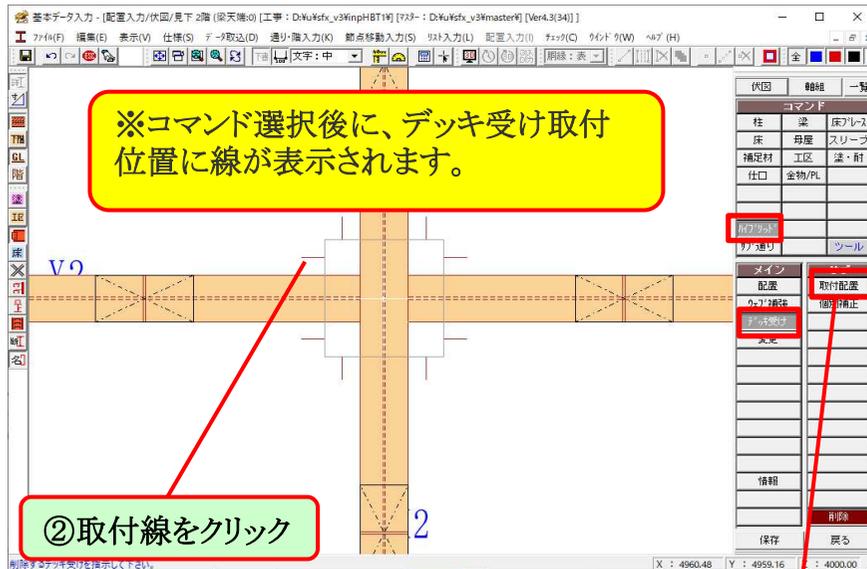
ウェブ突出出幅

下フランジクリア

### 6-12 【配置入力⑦】

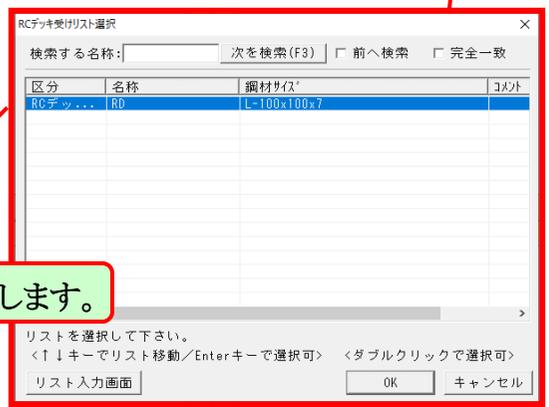
・塞ぎ板に取付くのデッキ受けを配置します。

コマンド: [ハイブリッド] - [デッキ受け] - [取付配置]

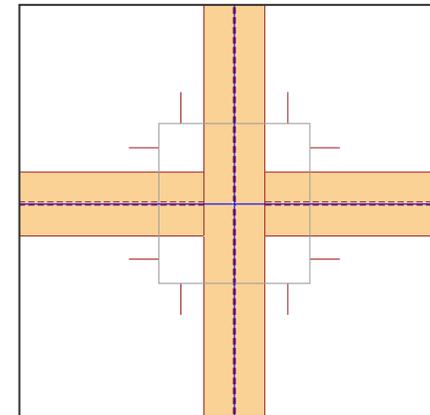


②取付線をクリック

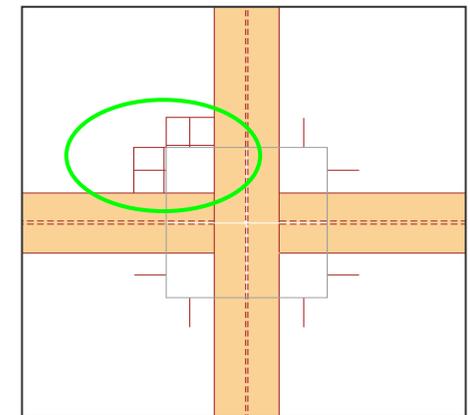
①デッキ受け材を選択します。



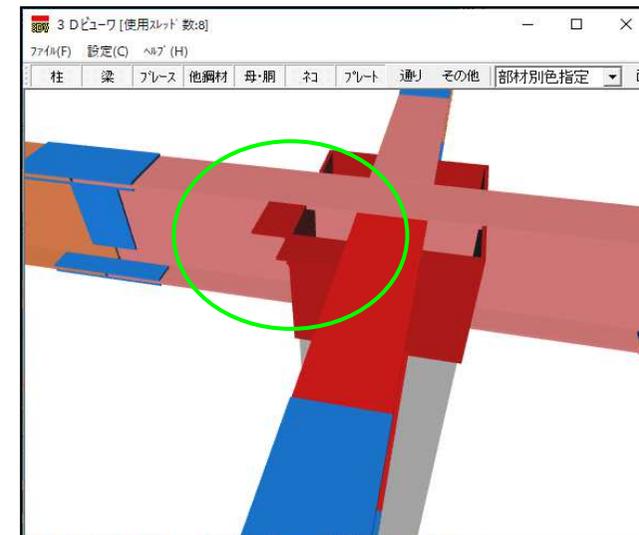
[配置前]



[配置後]



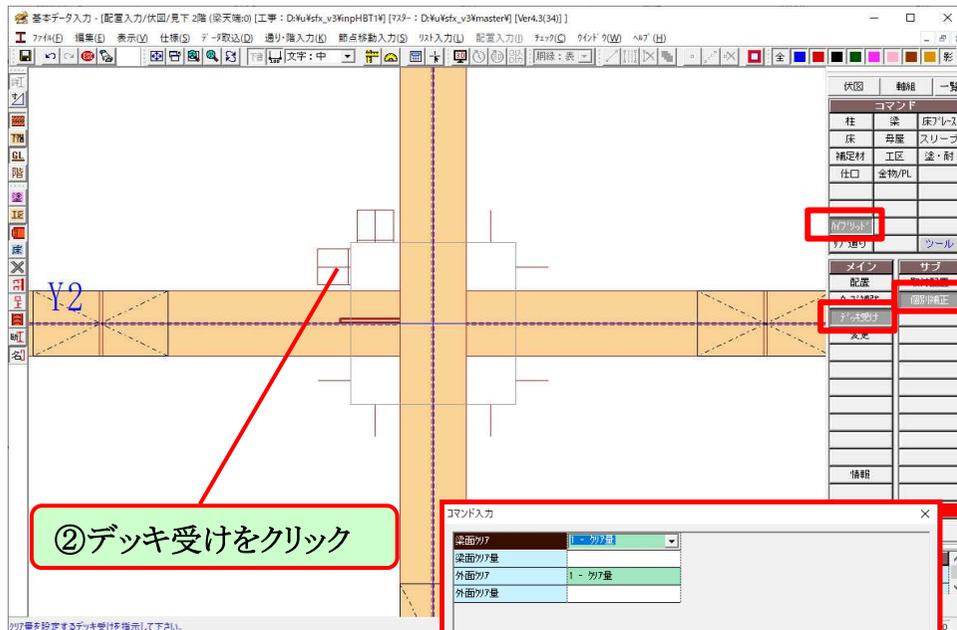
[3D表示]



### 6-13 【配置入力⑧】

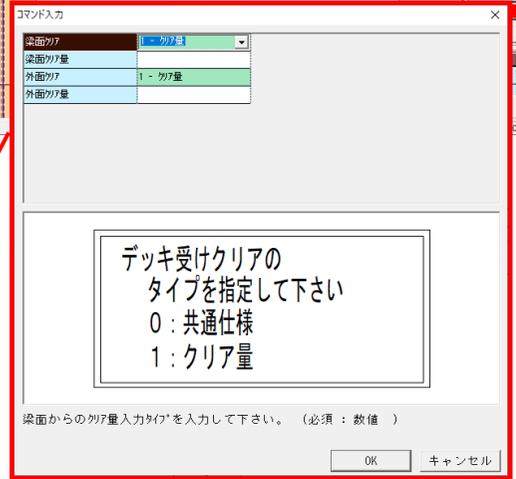
- ・個別で塞ぎ板に取付くデッキ受けのクリアランスを設定します。

コマンド： [ハイブリッド] - [デッキ受け] - [個別補正]

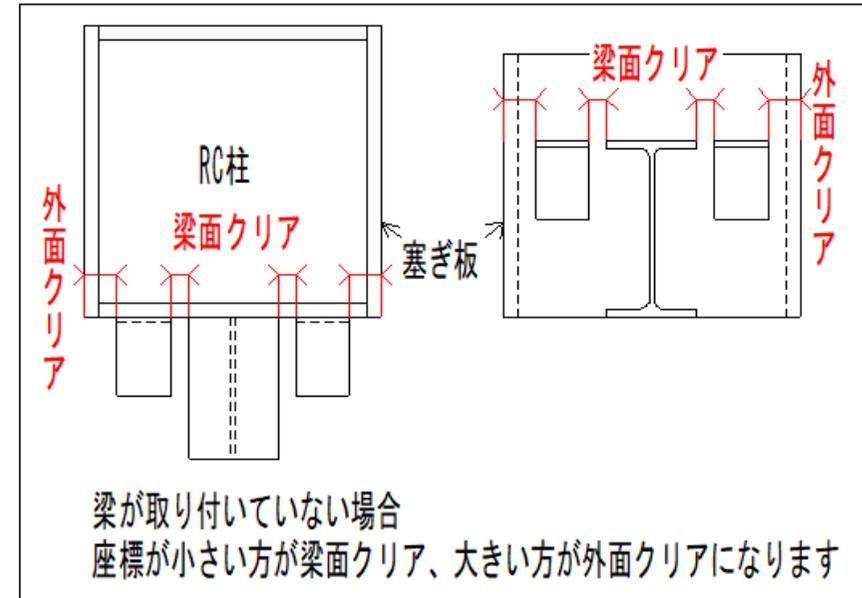


②デッキ受けをクリック

①各クリアランスを設定します。



梁面クリア	1 - クリア量
梁面クリア量	
外面クリア	1 - クリア量
外面クリア量	



## 6-14 【積算仕様】

- ・見積内訳書でRCデッキの重量を、本体、付帯に計上できます。
- ・ [積算仕様] - [本体計上] - [RCデッキ受け]
- ・ [積算仕様] - [付帯計上] - [RCデッキ受け]

15	本体計上	デッキ受け	1 - する	段差デッキ	1 - する	高上げ	1 - する	折版受け	1 - する
16		スリフ補強	1 - する	溶接裏あて	1 - する	半球キャップ	1 - する	RCデッキ受け	1 - する
17	付帯計上	デッキ受け	0 - しない	段差デッキ	0 - しない	高上げ	0 - しない	折版受け	0 - しない
18		スリフ補強	0 - しない	RCデッキ	0 - しない				

## [見積内訳書]

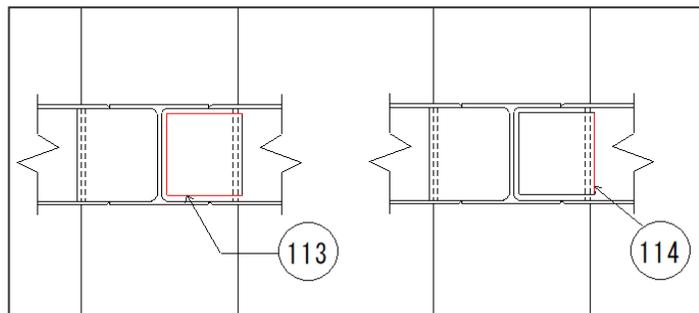
項 目	数 量	単 位	単 価	金 額
カーテンウォール			0	0
RCデッキ受け	0.092	t	0	0
他付帯Ⅱ			0	0
小計				0

### 6-15 【溶接仕様】

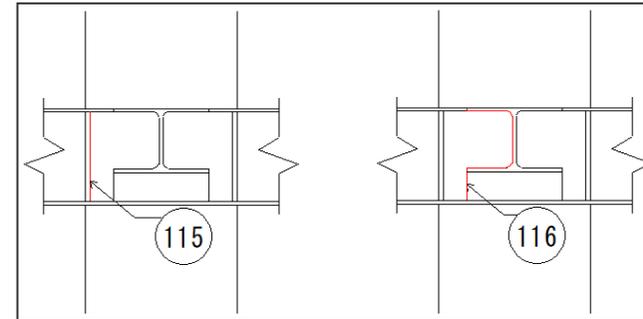
・ハイブリッド関連の溶接の集計に対応しました。

No.	適用区分1	適用区分2
100	直付け梁	0
101	直付け梁	3/4等
102	直付け梁	Hfln
103	直付け梁	Hweb
104	ブレース	割込みPL
105	十字アール	ウエブPL
106	柱継手	変形防止し形
107	柱継手	3/4(食込)
108	現場溶接梁	ウエブ溶接
109	柱現場溶接	ウエブSPL溶接
110	梁現場溶接	と梁SPL溶接
111	ウエブ加工PL	現場溶接
112	ウエブ加工PL	現場溶接
113	ハイブリッド仕口	ウェブ補強PL
114	ハイブリッド仕口	ウェブ補強PL出
115	塞ぎ板	と梁
117	塞ぎ板	コン止め
118	塞ぎ板	RCデッキ受けPL
119	塞ぎ板	RCデッキ受けL

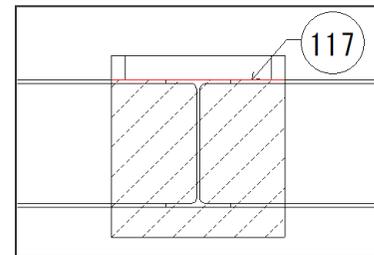
113 : [ハイブリッド仕口 ウェブ補強]  
 114 : [ハイブリッド仕口 ウェブ補強PL出]



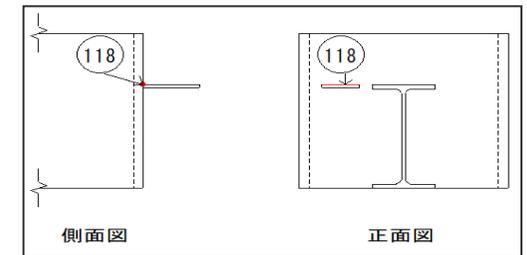
115 : [塞ぎ板]  
 116 : [塞ぎ板と梁]



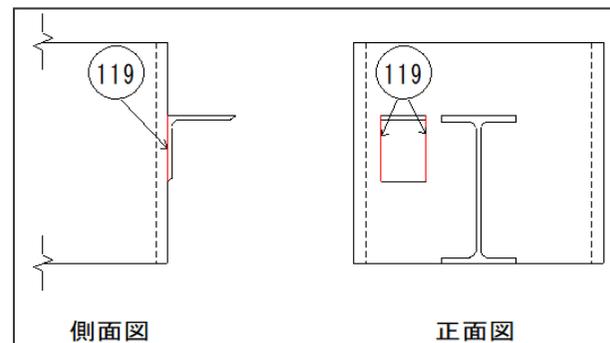
117 : [塞ぎ板 コン止め]



118 : [塞ぎ板RCデッキ受けPL]



119 : [塞ぎ板 RCデッキ受けL]

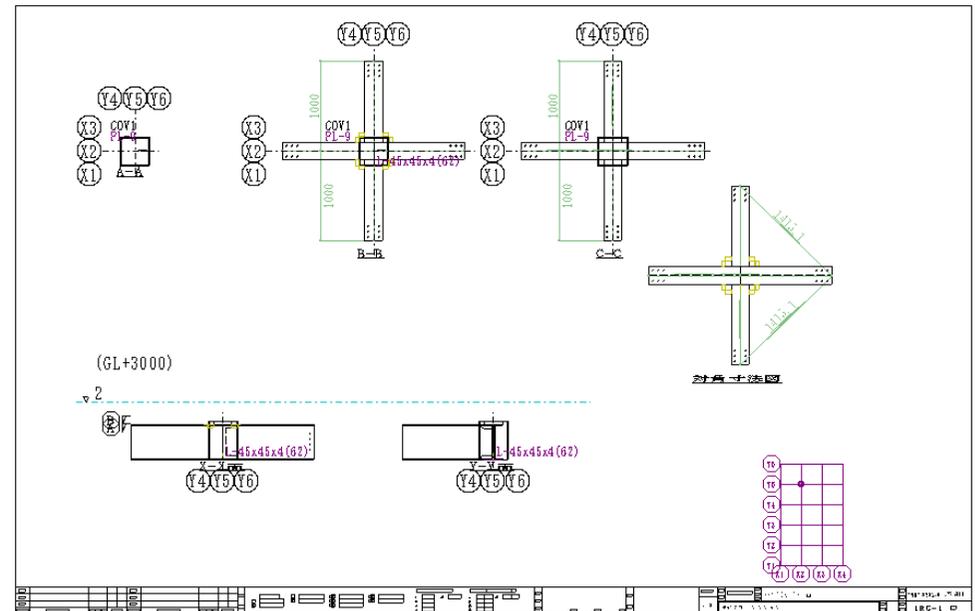
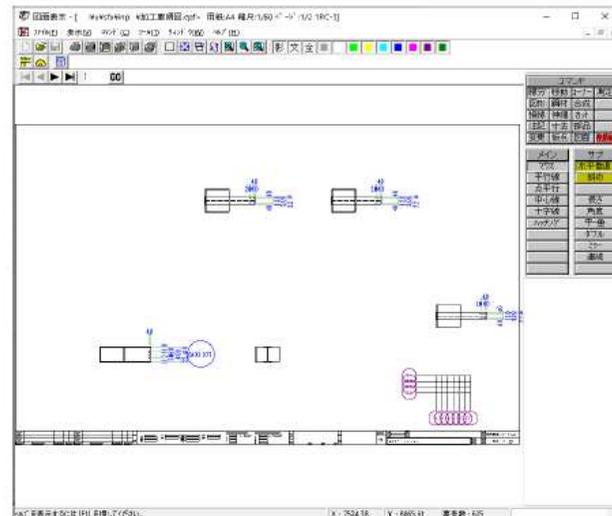
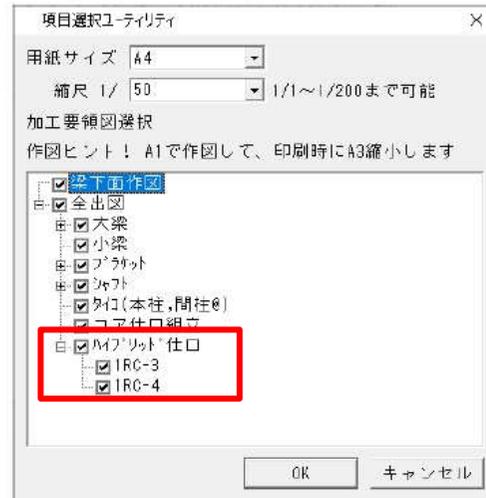


6-16 【作図】

・加工要領図に【ハイブリッド仕口】の項目を追加しました。

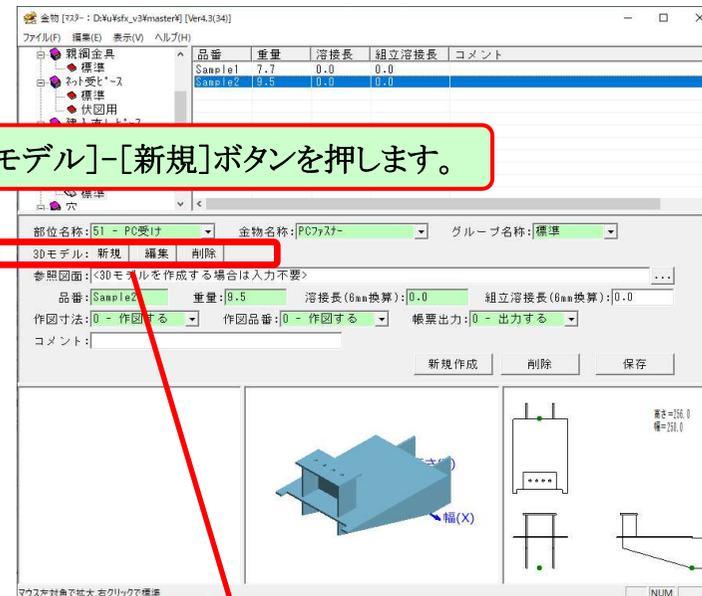
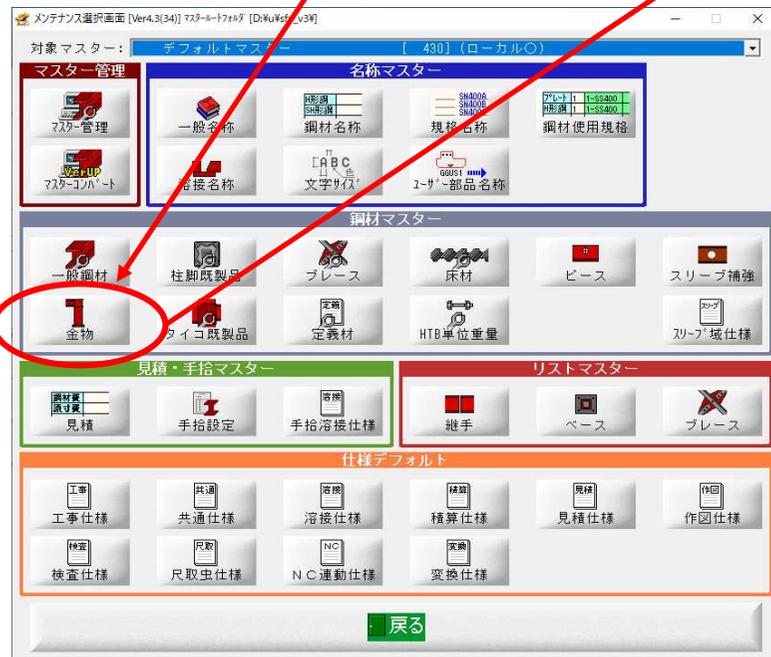
【作図】

加工要領図 - ハイブリッド仕口の追加

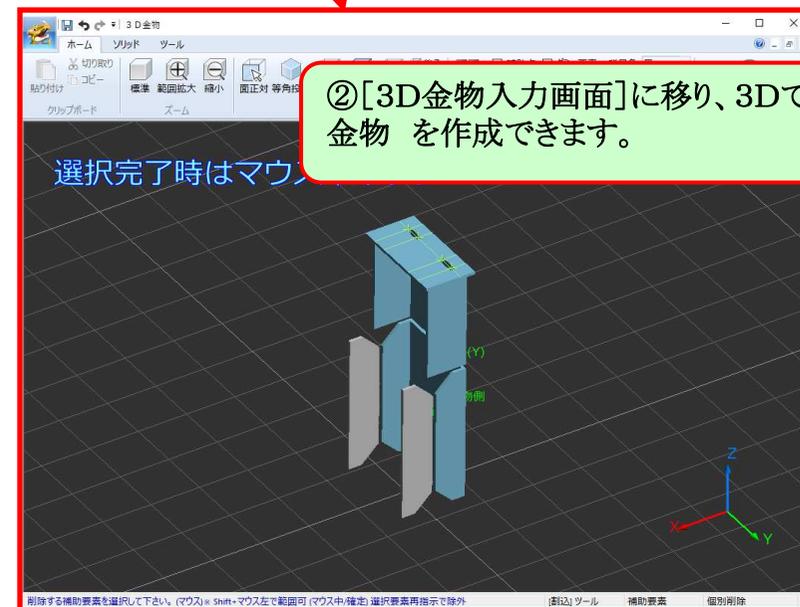


### 7-1 【3D金物】モデル作成

- ・3D画面でPCファスナーなど、の金物を自由に作成できます。
- ・ [メンテナンス] - [金物]



①[3Dモデル]-[新規]ボタンを押します。

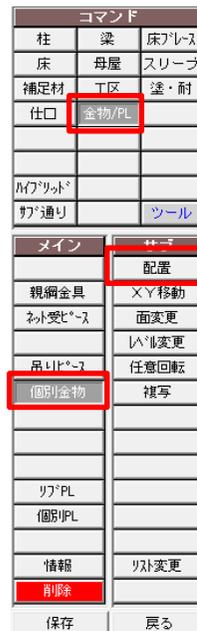
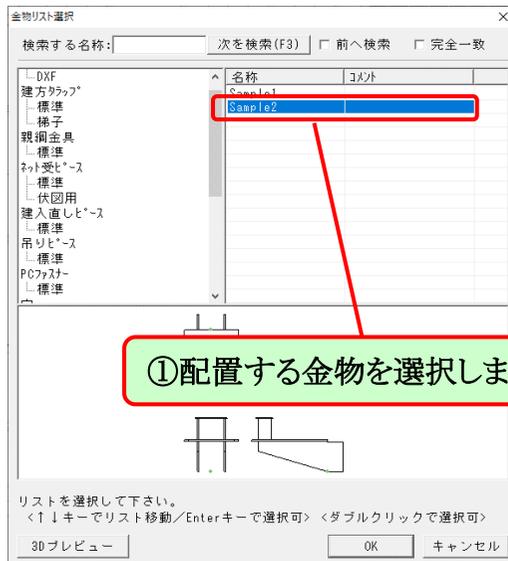


②[3D金物入力画面]に移り、3Dで金物を作成できます。

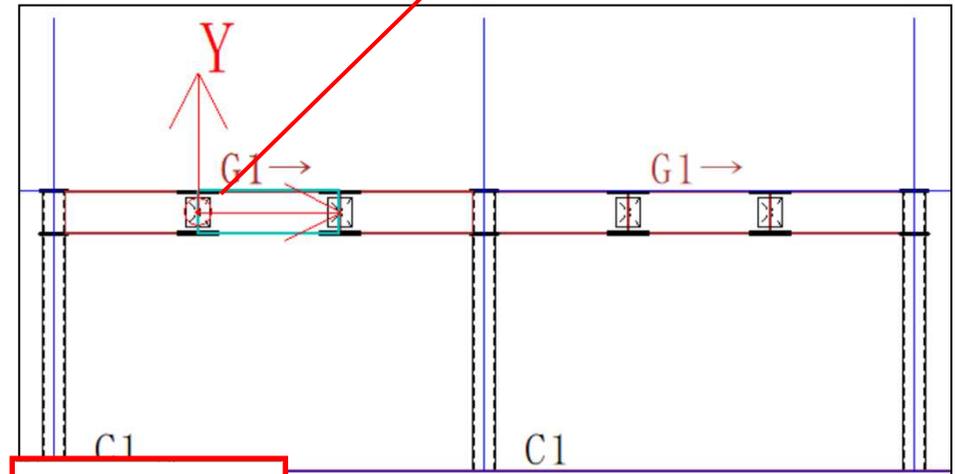
### 7-2【3D金物】金物を配置

・登録した3D金物を「配置入力」で配置します。

コマンド：[金物/PL] - [個別金物] - [配置]

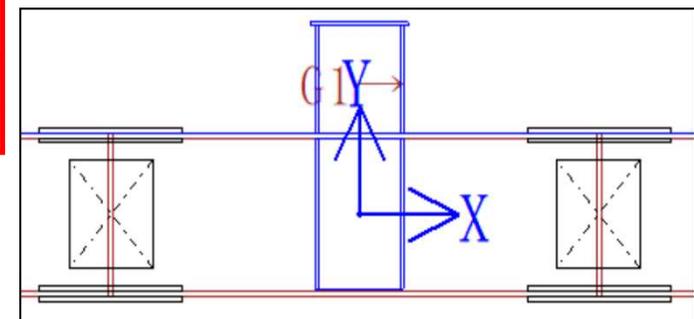


②柱、梁の端部を指示します。



③部材端部からの、移動量やレベル、回転量などを入力します。

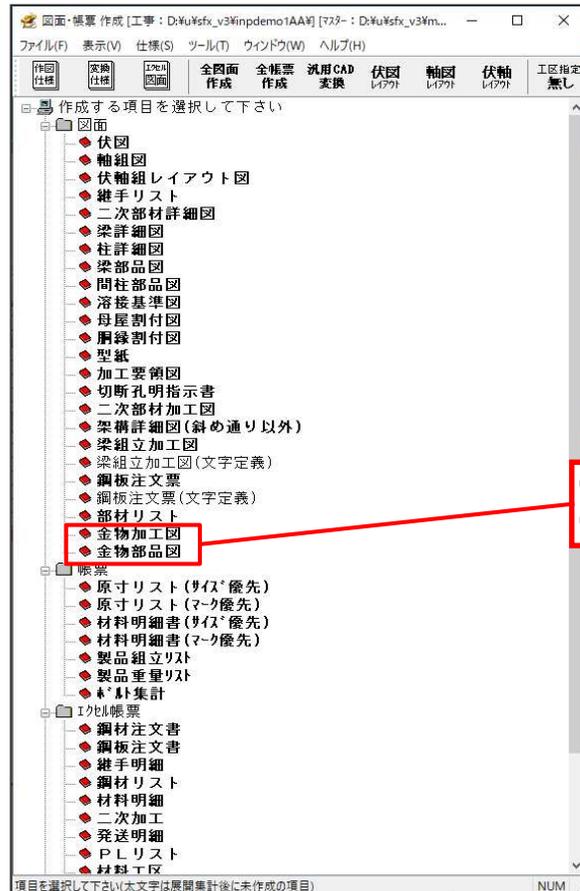
[配置後] (配置入力画面)



### 7-3【3D金物】金物を作図

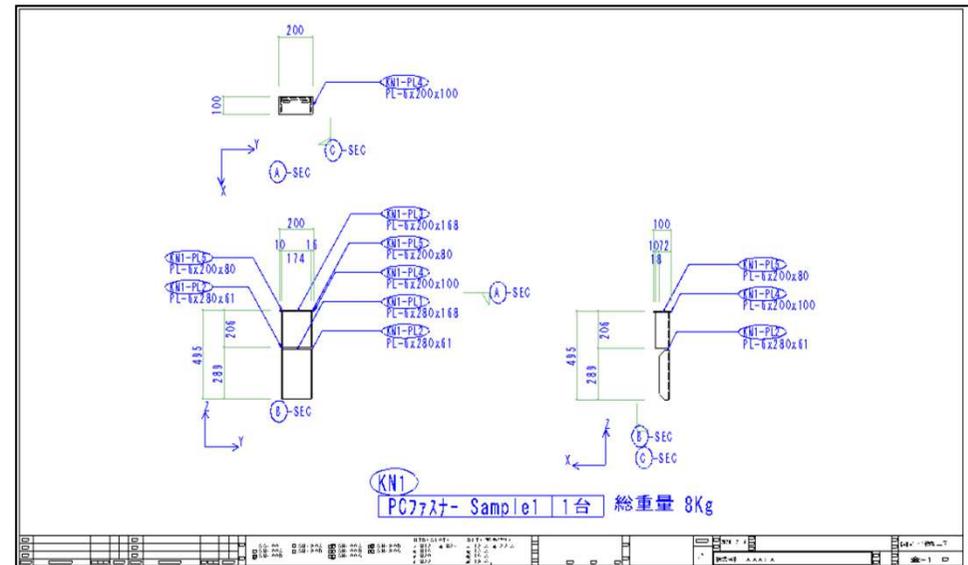
- 配置した金物の詳細図を作成できます。

コマンド： [図面・帳票] - [作成]

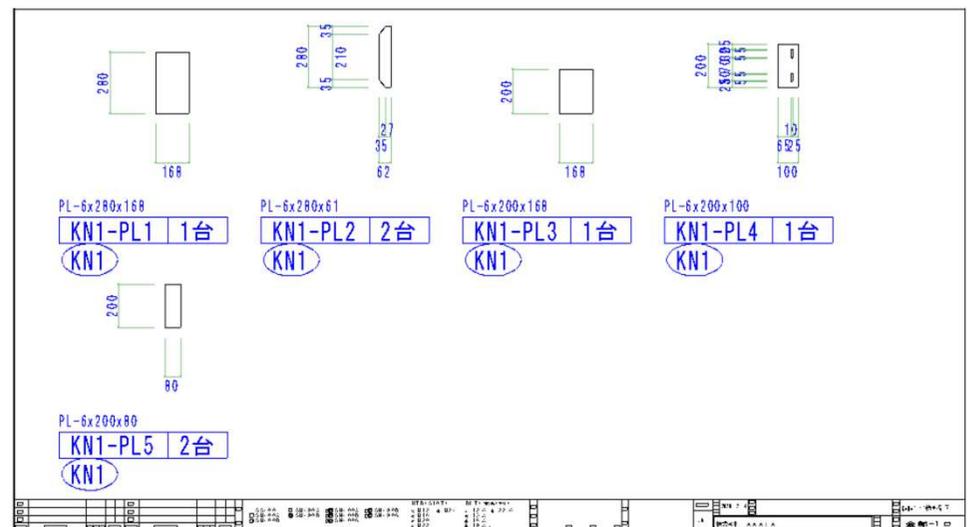


◆ 金物加工図  
◆ 金物部品図

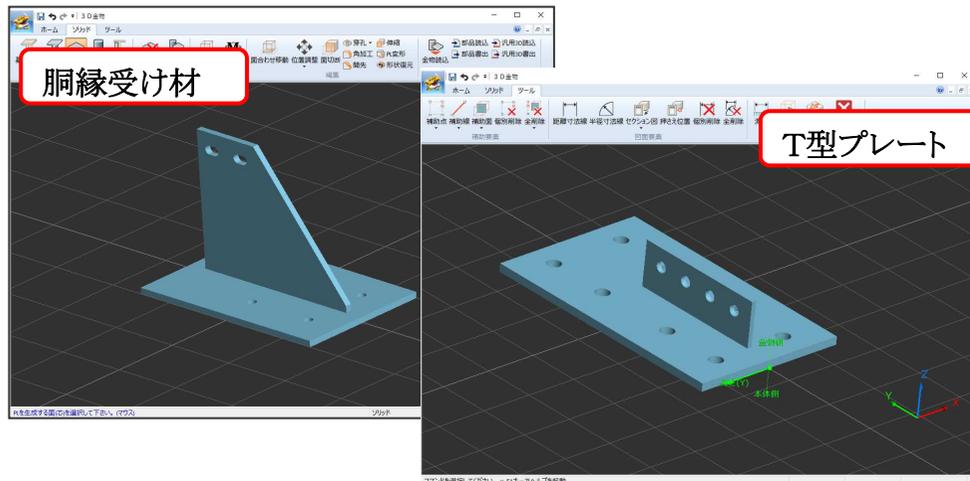
### [金物加工図]



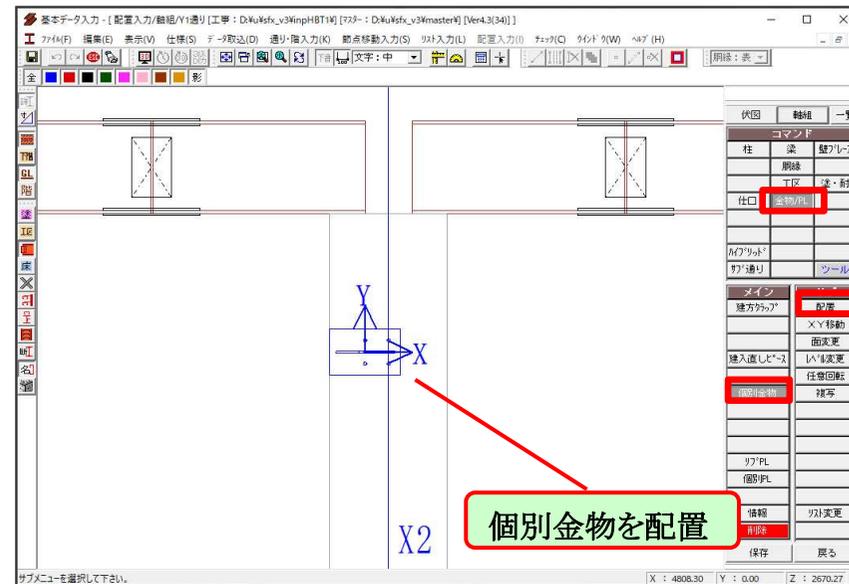
### [金物部品図]



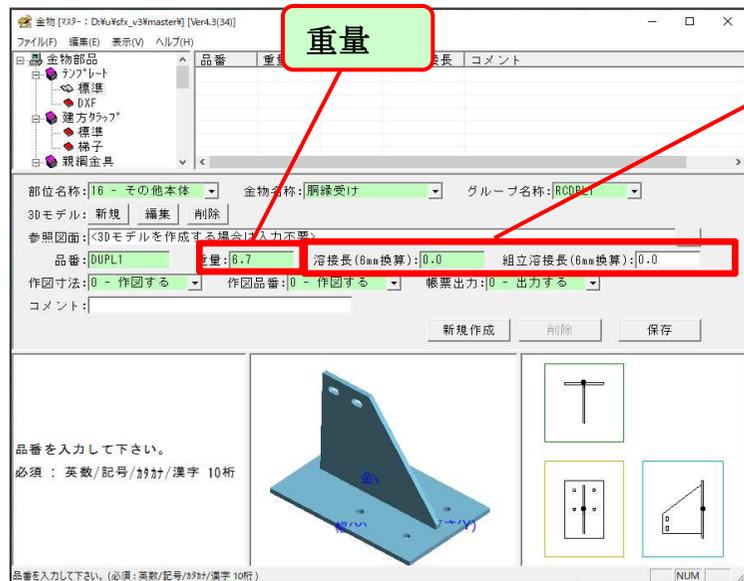
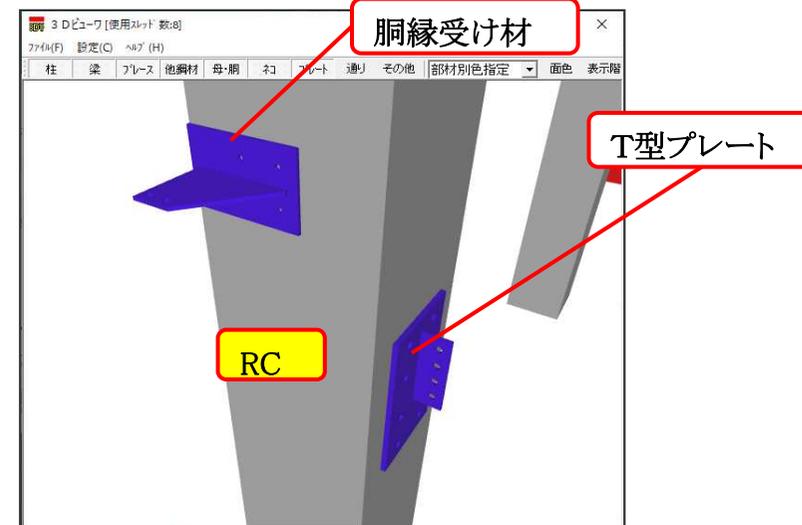
7-4【例】胴縁受け材、T型プレートを3D金物を使用して配置  
 ・3D金物は3D汎用操作で様々な形状の部品を作成できます。  
 さらに[重量]、[溶接長]などの積算情報を登録できるので、  
 積算帳票にも反映できます。



[配置入力画面] コマンド:[金物]-[個別金物]-[配置]



[3D表示]



7-5【3D金物】帳票出力

・3D金物を配置すると集計で以下のように出力されます。

[集計書]

隅肉6mm換算溶接長(m)	合計	9.199
	柱現場	0.0
	梁現場	0.0
	工場	360.6
UT検査(箇所)	合計	360.6
	柱現場	0
	梁現場	0
	工場	52
	合計	52
<< その他 (本体) >>	項目	数量
ピース		0.000 台
	合計	0.000 台
金物		
RC柱ガセット-RCDPL1-RCUG1	1.000	個
胴縁受け-RCDPL1-DUPL1	1.000	個
	合計	2.000 個

[鉄骨集計表]

本体鉄骨集計				A			
名称	材質	寸法	設計数量(m)	単重(kg)	設計重量(kg)	ロス率	所用数量(kg)
トルシア形高力ボルト	S10T	HTB-20x55	384	0.354	136	5%	143
ボルト計					559		587
総計					9,876		10,365
形鋼 + 鋼板 + ボルト							
(金物)							
金物		RC柱ガセット-RCDPL1-RCUG1	1	19.8	20		20
金物		胴縁受け-RCDPL1-DUPL1	1	6.7	7		7

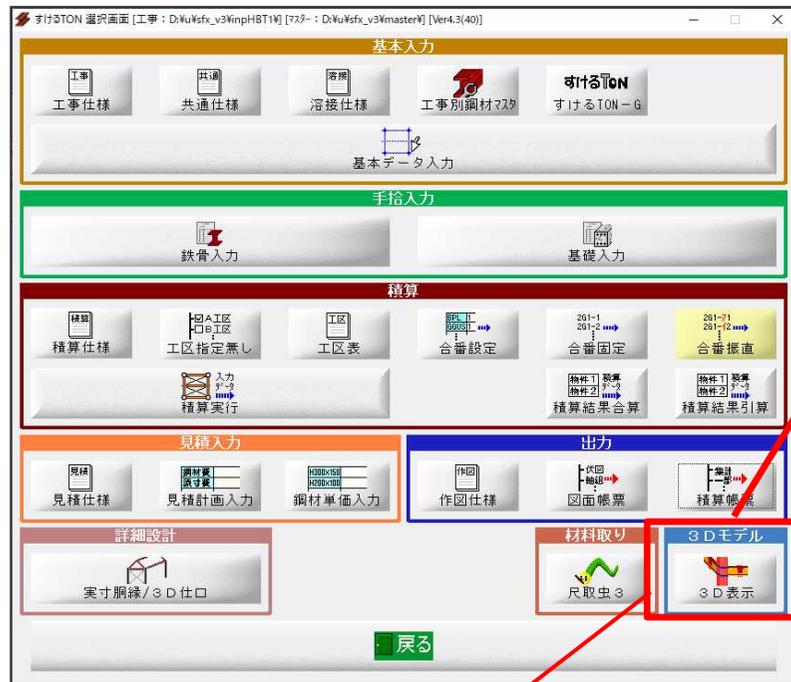
[見積内訳書]

項目	数量	単位	単価	金額
アンカーボルト		t	0	0
丸鋼ブレース		t	0	0
工作図作成費	9.875	t	0	0
工場原寸費	9.875	t	0	0
工場加工費	9.875	t	0	0
工場溶接費	364.584	m	0	0
塗装(S674)1回塗り	9.662	t	0	0
消耗品費	9.875	t	0	0
運搬費	9.875	t	0	0
RCUG1	1	本	0	0
DUPL1	1	本	0	0
小計				

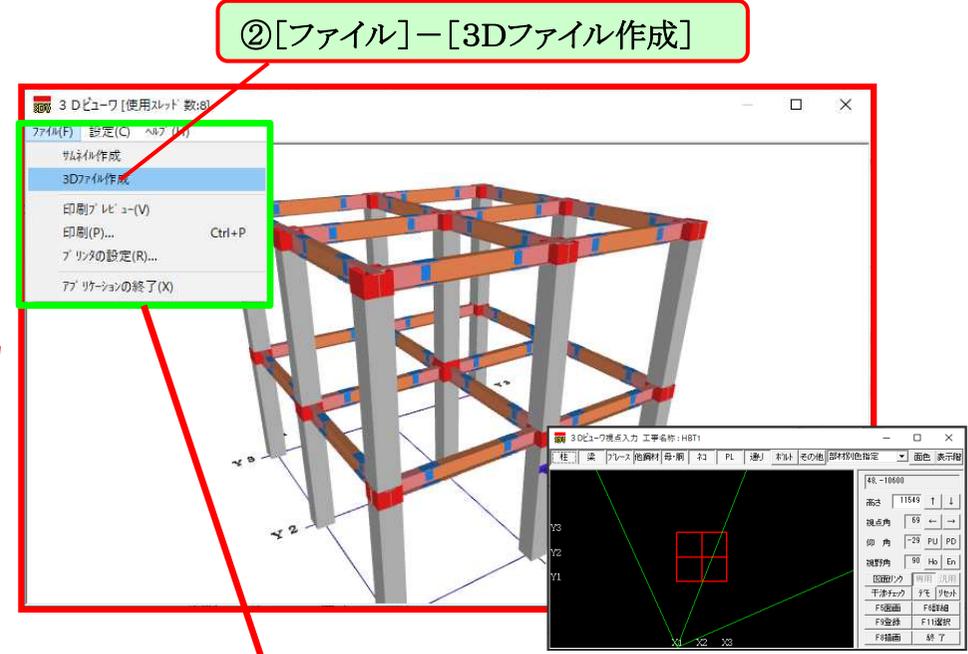
### 8-1 【FAB21Link①】

・FAB21で入力したデータの3DモデルをAutodesk Revitで読み込んで活用できます。

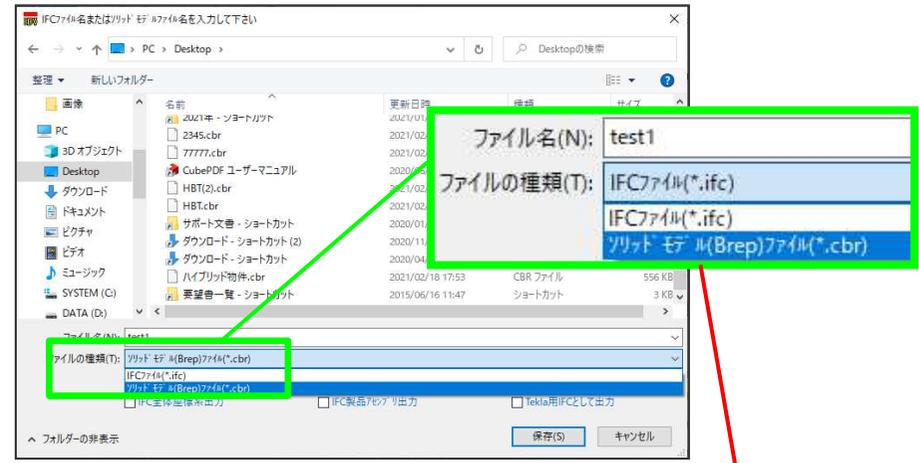
1. FAB21からモデルデータ(cbr)を出力します。



①3D表示



②[ファイル]-[3Dファイル作成]



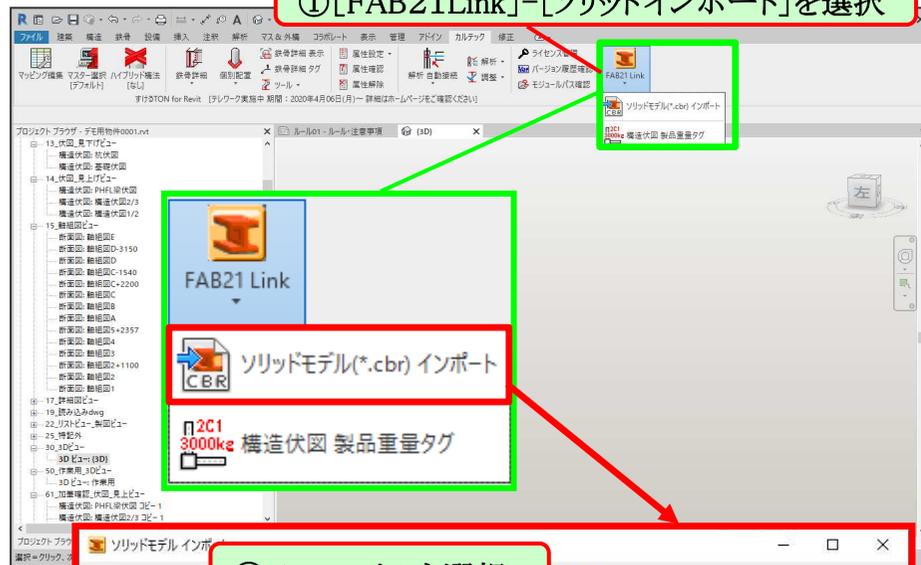
③ソリッドモデルを選択し[保存]します。

## 8-2 【FAB21Link②】

2. 変換したソリッドモデル (cbr) をFAB21Linkを使用し、Revitに取り込みます。

[Revit画面]

①[FAB21Link]-[ソリッドインポート]を選択



②cbrファイルを選択

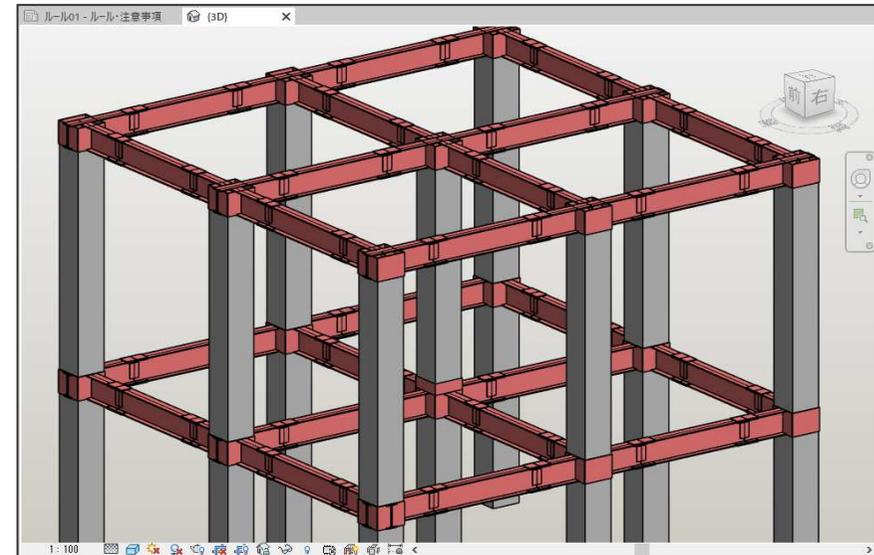


③生成するモデル項目にチェック

※[RC柱]対応しました。

④[OK]を押します。

[インポート完了後] (Revit画面)



## 9-1 【NC連動時にマークに工区名を追加】

- ・アマダ製CNCB-150のBGWin用に合番に工区名を付加します。

コマンド： [NC連動仕様] - [連動] - [工区]

NC連動仕様入力 [工事： D:\u\sfx\_v3\inp43test¥] [マスター： D:\u\sfx\_v3\master¥] [Ver4.3(34)]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

1	柱	1 - 部品マーク連動	間柱	1 - 部品マーク連動	タコ・コブ	1 - 部品マーク連動	大梁中央	1 - 部品マーク連動	
2	対象部位	ブacket	1 - 部品マーク連動	小梁	1 - 部品マーク連動	形鋼アレス	1 - 部品マーク連動	母屋	1 - 部品マーク連動
3		胴縁	1 - 部品マーク連動	根太	1 - 部品マーク連動	ねこ・ビス	1 - 部品マーク連動	補足材	1 - 部品マーク連動
4	対象鋼材	H形鋼	1 - 連動する	CT形鋼	1 - 連動する	BH形鋼	1 - 連動する	角形鋼管	1 - 連動する
5		鋼管	1 - 連動する	溝形鋼	1 - 連動する	山形鋼	1 - 連動する	軽量リップ鋼	1 - 連動する
6		軽量溝形鋼	1 - 連動する	平鋼	1 - 連動する				
7	連動	斜め切り材	0 - 無し	カ線	1 - 有り	対応機ID		工区	1 - 有効+工区
8				コル機ドリル2軸対応	0 - 無し				
9	鋼材規格で並び替え	0 - 並び替えしない							

NC連動時の工区指定を有効にするかを指定します

0: 有効  
1: 有効+  
連動マークに工区名付加  
2: 無効

NC連動時に工区指定を有効にするかを指定して下さい (必須: 数値)

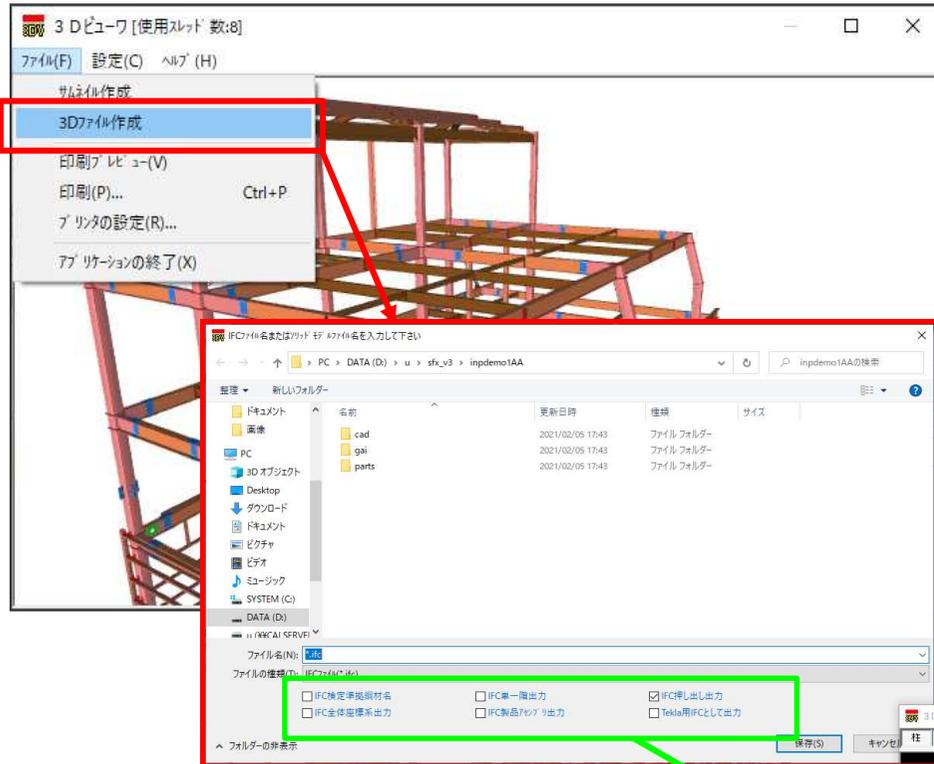
NUM

### 9-2 【IFC押し出し対応】

・ I F C変換する際に、押し出し出力できるようになりました。

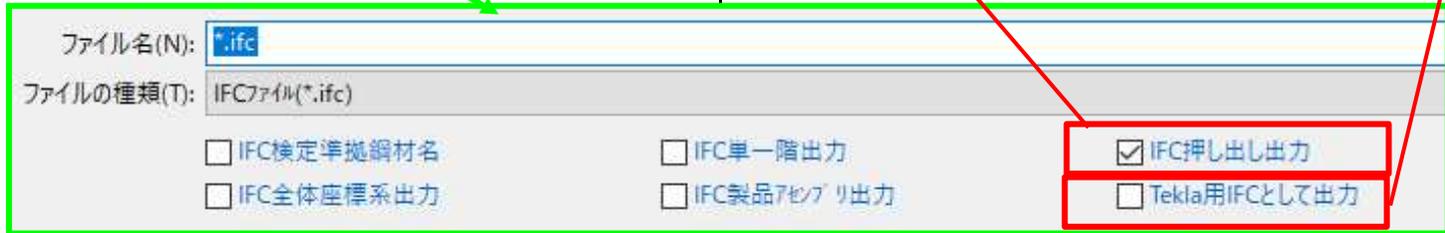
[Revitのプロパティ画面]

識別	位置	数量	材料	断面形状	関連	分類	ハイパ
プロパティ	値						
モデル	430						
分野	意匠						
名前	2C2						
タイプ	□-400x400x9						
材料	STKR400						
画層	本付-無区 本体付帯無工区						
断面形状タイプ	矩形						
建物外面	False						
形状	押し出し						
GUID	18POG2Irz 2lv8otRN1wCX5						
BATID	149						



※Tekla用に出力する場合にチェックします。

IFC押し出し出力



### 9-3 【ST-Bridge取込みでRC柱に対応しました】

・ [工事一覧ユーティリティ] - [データ取込み・書出し]

ST-Bridgeとは、日本国内の建築構造分野での情報交換の標準フォーマットです。  
現状は構造計算ソフトの結果を取り込んだり、他社鉄骨ソフト間でのやり取りによく使用されています。

工事	マスタ	工事名称	コメント	用途	発...	階	重量	面積	作成日	更新日
dewo1AA		デモ物件	共同住宅	共同住宅	株...	5	43.9	158.2	2021/02/05	2021/02/18
H5T1						2	11.5		2021/02/13	2021/02/18
0202A	MTT	事務所新築工事	見積開始2/16			2	14.7	86.2	2021/02/17	2021/02/17
dewo1		デモ物件	共同住宅	共同住宅	株...	5	44.4	158.2	2000/04/12	2021/02/17
futaba	B	株式会社 双...	事務所...			3	63.5	182.0	2020/09/28	2021/02/17
futaba2	B	株式会社 双...	事務所...			3	63.5	182.0	2021/02/17	2021/02/17
0202	MTT	事務所新築工事	見積開始2/16			2	14.7	86.2	2021/02/16	2021/02/16
4	esu	ナカヤマエッ...				10	23.5		2020/08/19	2021/02/16
nlepp	GTU	出光興産(株)...	施工図		SS...	3	6.1	3.1	2021/01/15	2021/02/16
43test									2021/02/13	2021/02/13
20201210B2000	NEO	【大林東京】...	初回提出...			31	1531.6		2021/02/12	2021/02/12
20201210C2	888	【大林東京】...	初回提出...			31	7861.0		2021/02/03	2021/02/12
20201210C222	888	【大林東京】...	初回提出...			3	7861.0		2021/02/12	2021/02/12
4A	MSK	ナカヤマエッ...				9	137.8		2021/02/12	2021/02/12
4A2	MSK	ナカヤマエッ...				1	137.8		2021/02/12	2021/02/12
KKF1	MSK	ナカヤマエッ...				2	0.4		2021/02/12	2021/02/12
T00212									2021/02/12	2021/02/12
20201210B2	NEO	【大林東京】...	初回提出...			31	1531.6		2021/02/02	2021/02/11
0262	YSM	(仮称)豊中市...				8	95.3		2020/08/04	2021/02/10
0262A	YSM	(仮称)豊中市...				8	2.0	881.9	2021/02/10	2021/02/10
20201210A2	ENI	【大林東京】...	1/28修正			28	299753.4		2021/01/28	2021/02/10
202101K10A	ENI	三木(仮称)カ...	工場棟						2021/02/10	2021/02/10
bilu0202	ビル	ビル				5	71.4		2021/02/03	2021/02/03
kova0202	小舎1	小舎1				1	2.3		2021/02/02	2021/02/03
kova20201	小舎2	小舎2				1			2021/02/02	2021/02/03
TCST0203	ビル	ビル				5	72.2		2021/02/03	2021/02/03
20201210A2A	888	【大林東京】...	1/28修正			28	299753.4		2021/02/01	2021/02/01
HSK1						1			2021/02/01	2021/02/01

データ取込み・書出し選択画面

データ取込み

構造計算データ    **他社CADデータ**    仕様/マスター

データ書出し

他社CADデータ    仕様/マスター

戻る

他社CADデータ取込み

取込み先の物件を新規作成します。  
工事コードを入力して下さい。

OK    キャンセル

他社CADデータ取込

取り込むファイルと変換仕様を設定し、「インポート」をクリックして下さい。

データ形式: **ST-Bridgeデータ取込**

ファイル名: C:\Users%furusato\Desktop#研修用データ1119#デモ用物件0001 ...

使用マスター: デフォルトマスター [ 430 ] (ローカル○)

出力先フォルダ: D:\u#sfx\_v3#inp0219#    新規工事作成

変換仕様

区分	項目	設定値
1	自動作成サブ通り色	3 - 緑
2	スプライス継手作成方法	0 - 継手マスターで作成
3	全般設定	ガサット継手引当優先 0 - 継手マスター順
4		<b>RC柱取込 0 - 取込あり</b>
5		<b>RC柱塞ぎ板厚 12</b>
6	通り名制作成方法	0 - A-1#1-1#1#1
7	サブ通り丸め距離	50
8	階・通り	階名称除外文字列 FL
9		サブ通り最大数X 1000
10		サブ通り最大数Y 1000

データ形式を選択して下さい。

CSV書出    インポート    キャンセル

【RC柱取込みに対応】

- ・RC柱取込
- ・RC塞ぎ板厚

10-1 【電卓入力値を設定バーに転送、履歴表示】

基本データ入力 - [配置入力/伏図/見下 2階 (梁天端:0) [工事 : D:\#\sfx\_v3\inp\WEBST1\] [マスタ : D:\#\sfx\_v3\master\] [Ver4.3(110)]]

電卓

履歴

2000
55555...
2222333
2222
500
500
500
500
500
500
500

電卓

7	8	9	÷
4	5	6	×
1	2	3	-
0	.	=	+

OK キャンセル

履歴

項目名	設定値
水平移動	500

OK (F11)

水平移動量を入力して下さい。(キー) ※ 移動方向指示 (マウス)

X : -7299.42 Y : 13000.00 Z : 4000.00

・『履歴』ボタンを押すと、[OK]を押したときの値の履歴を確認できます。

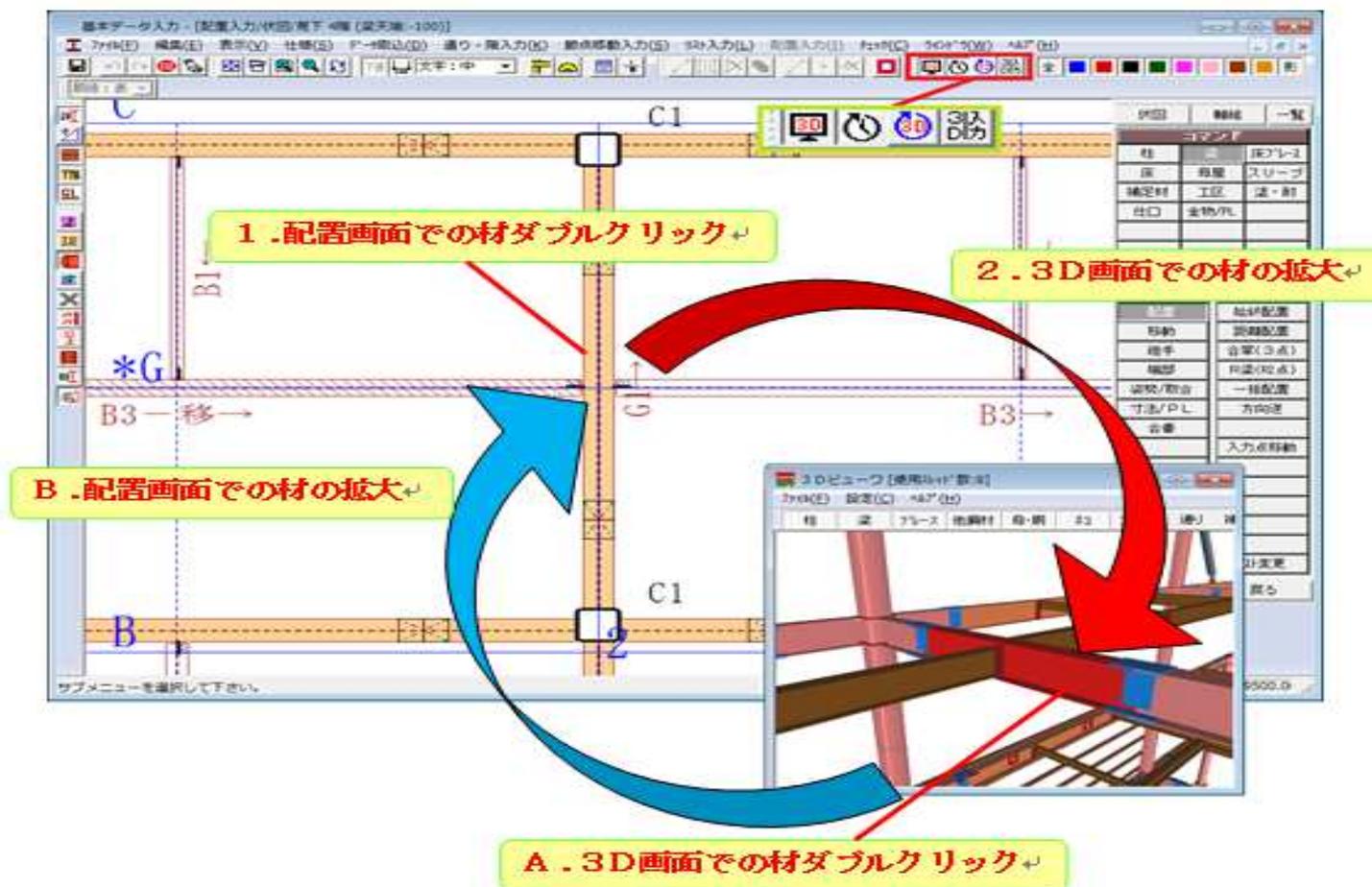
・電卓で計算した値が[OK]を押すと、設定バーの設定値に反映されます。

値が反映されます。

## 10-2 【3D表示 2次元⇄3次元 間で表示移動】

- 配置入力画面上で部材をダブルクリックすると、3D表示画面上で拡大表示され、同様に3D表示画面上で、部材をダブルクリックすると配置入力画面上で拡大表示されます。

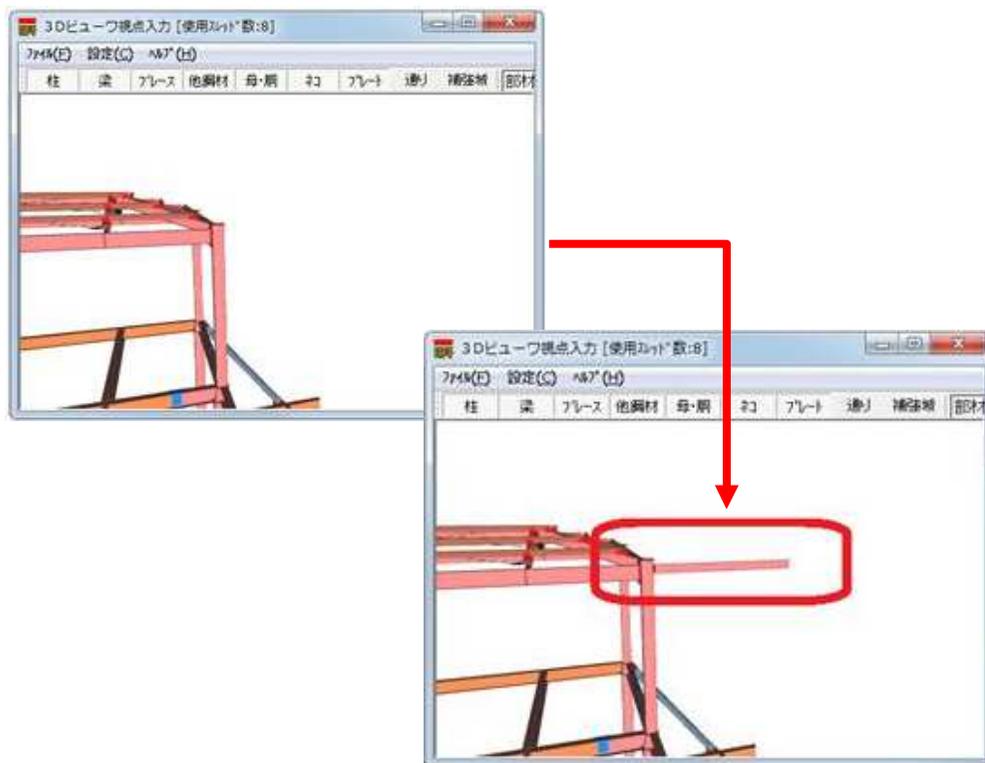
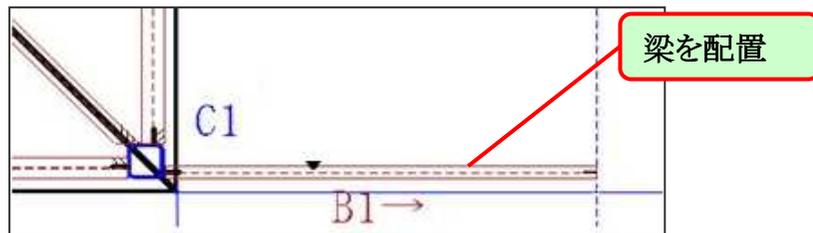
※ [基本データ入力] - [ファイル] - [入力設定] - [マウス/キーボード] - [ダブルクリック] で表示移動をするか否か設定の切り替えが可能です。



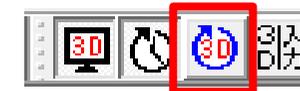
## 10-3 【3D表示 3Dリアルタイム】



- ・3Dリアルタイム表示する／しないの制御を行います。



## 10-4 【3D表示 表示更新】

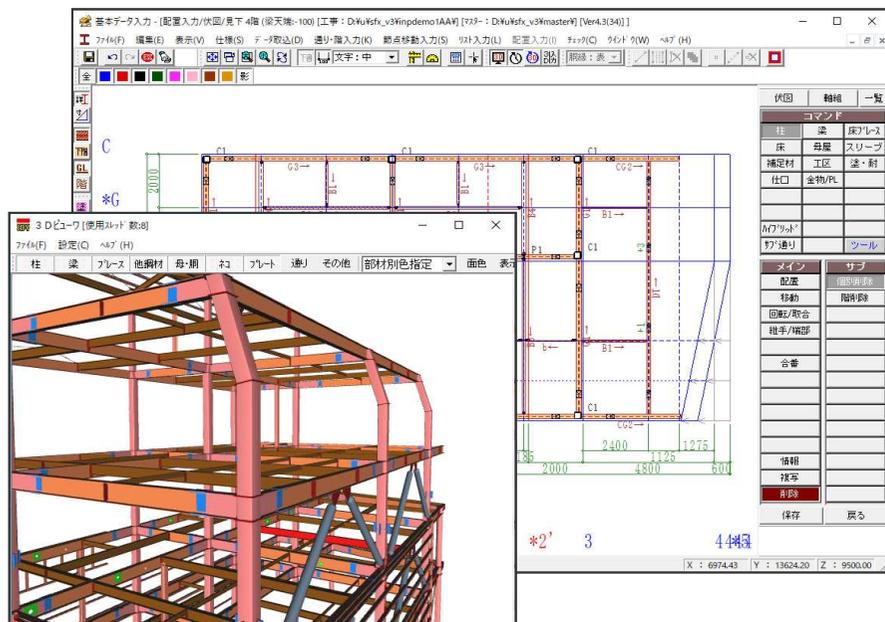


- ・3Dリアルタイム表示をしない場合に、3D表示を最新に更新したいときに使用します。

10-5 【3D表示 画面分割】

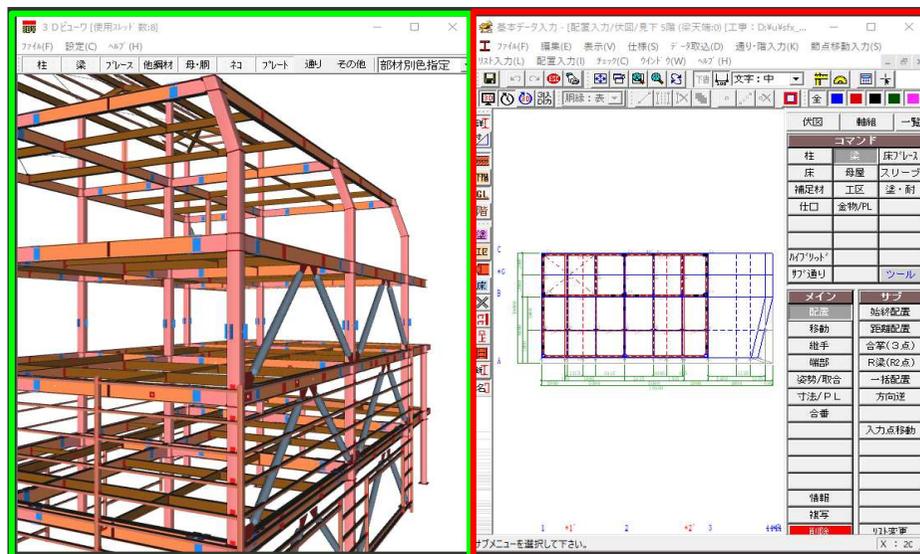


- ・ 1画面で、配置入力画面と3D表示画面を分割します。



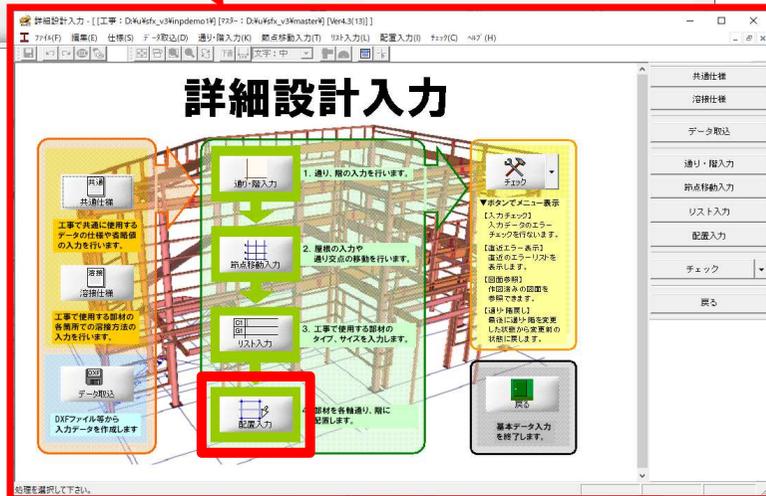
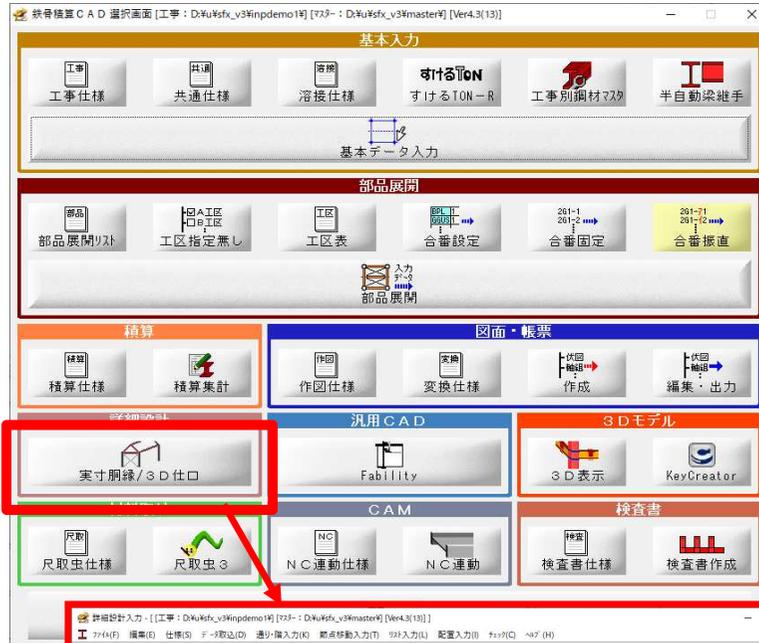
3D表示画面

配置入力画面

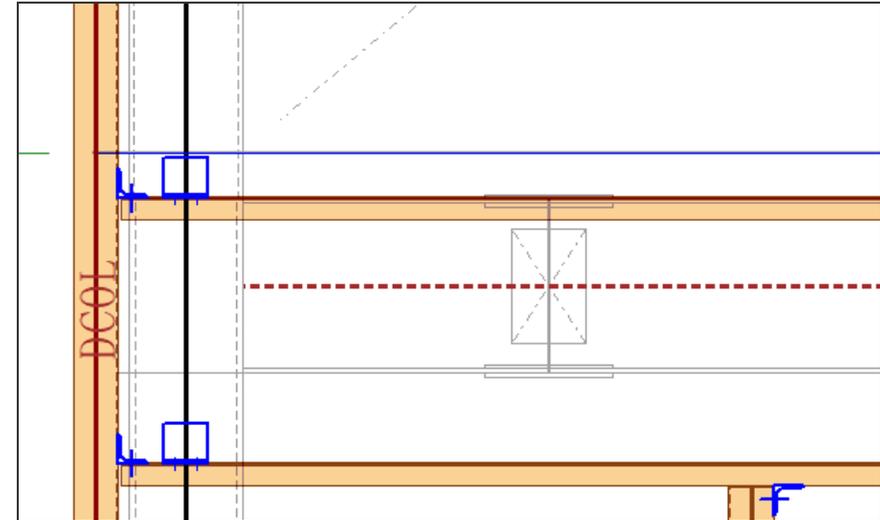


10-6 【ダイヤの位置を確認しながら胴縁配置】

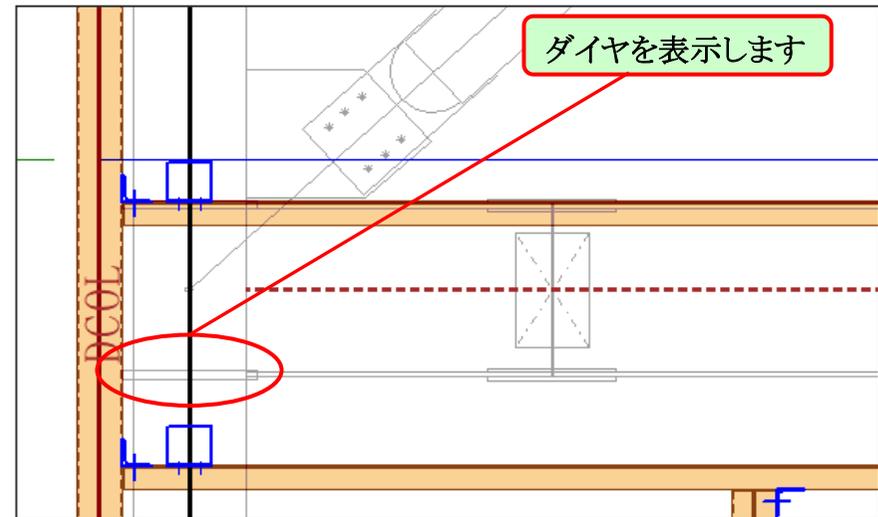
- ・ [詳細設計] - [実寸胴縁/3D仕口] - [配置入力] - [胴縁]



【基本データ入力】 - 【配置入力】



【実寸胴縁/3D表示】 - 【配置入力】



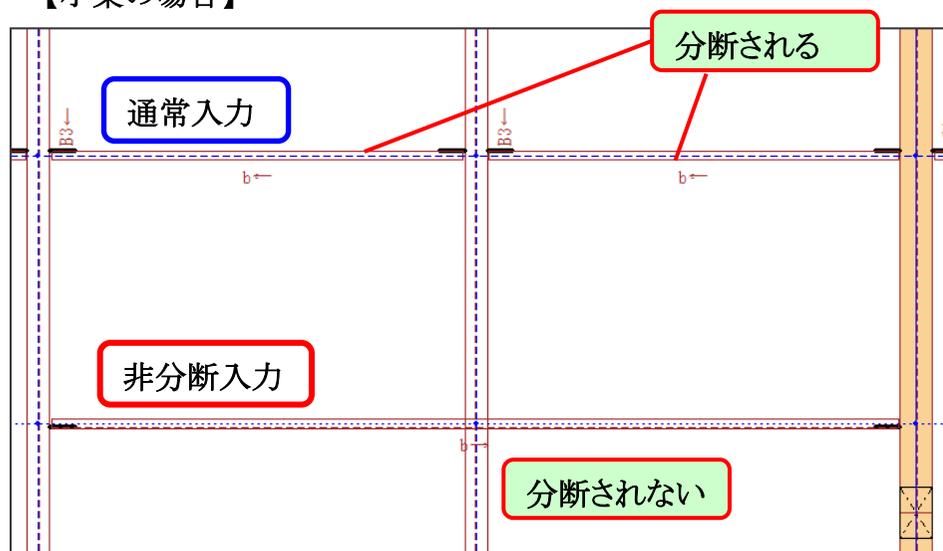
### 10-7 【マウス右クリックで梁、間柱の非分断入力、重複入力】

- 以下のコマンドで終点を右クリックすると、非分断入力、重複入力になります。

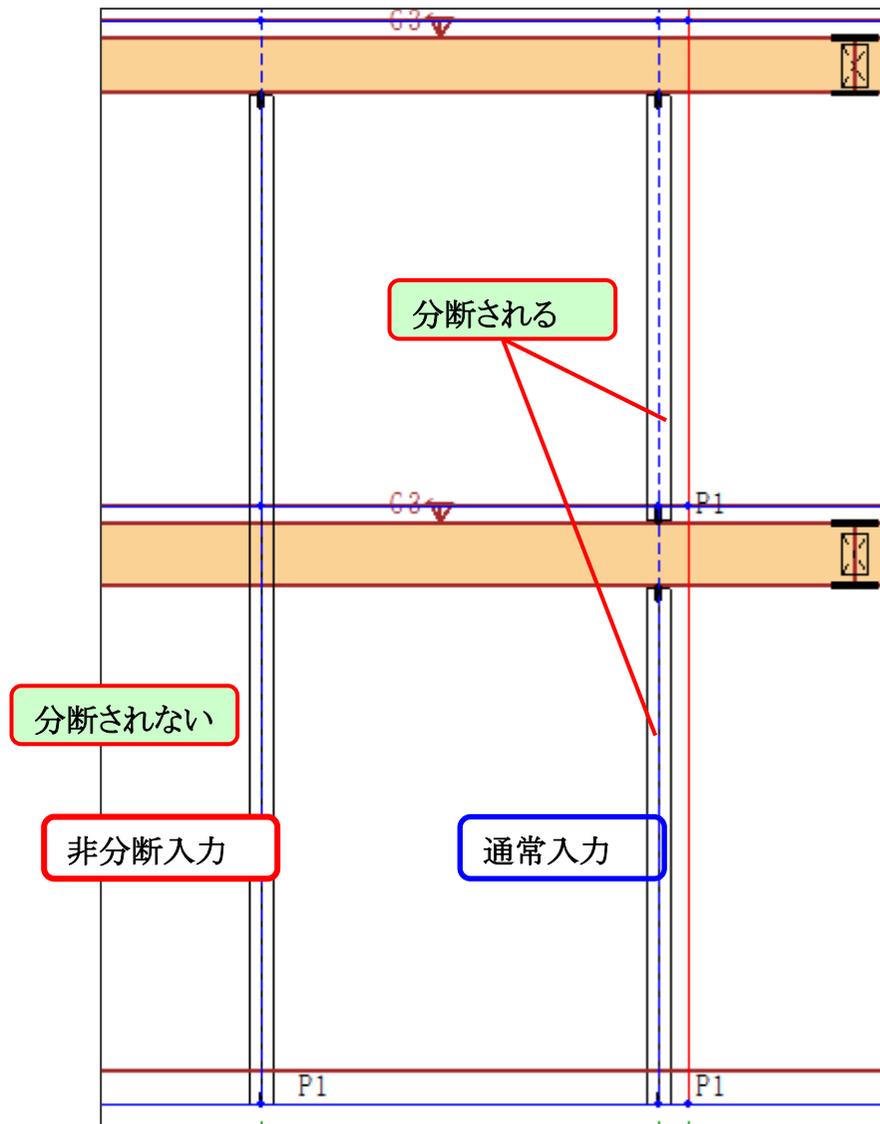
コマンド： [梁] - [配置] - [始終配置]

コマンド： [柱] - [配置] - [始終配置]

#### 【小梁の場合】

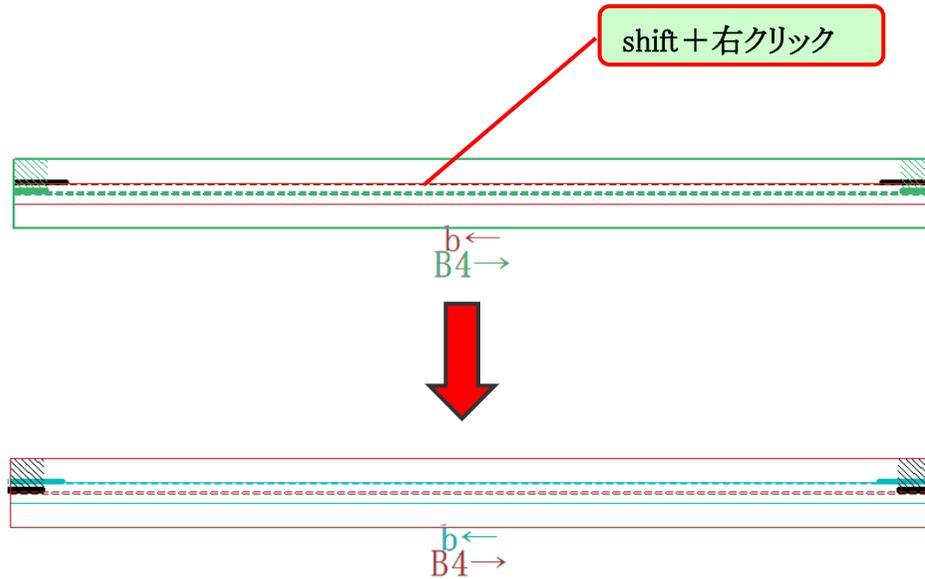


#### 【間柱の場合】



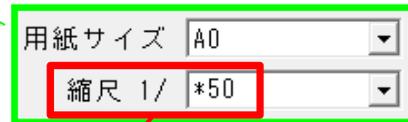
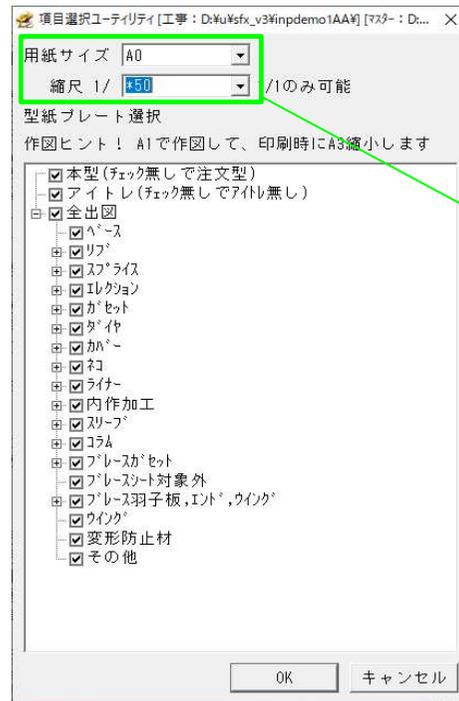
### 10-8 【部材を重複に配置してる時の削除方法】

- ・削除する時、shift+右クリック で重なってる部材を選択できます。



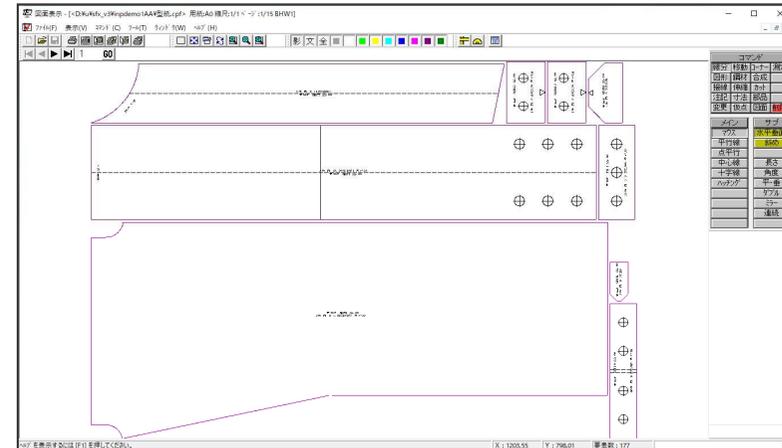
### 10-9 【型紙図にて縮尺表示】

- 用紙サイズの設定によって、入り切らない型紙(BH材など)は作図されません。そこで縮尺表示によって、型紙をすべて表示し型紙全体の確認を行えます。

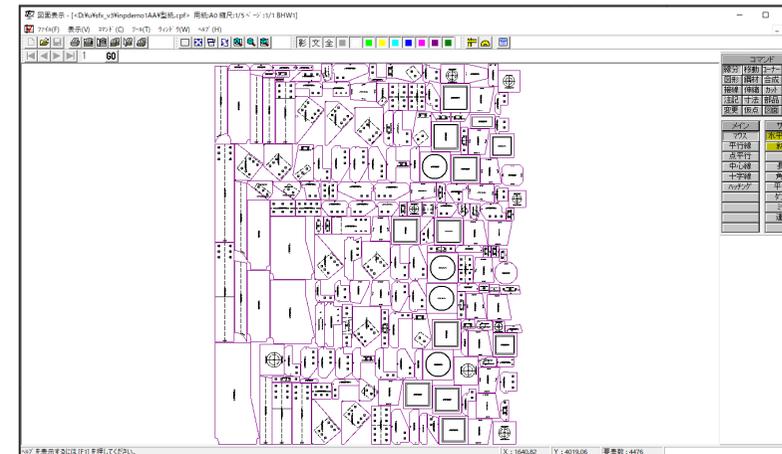


\* を付けて縮尺数を入力。

### 【縮尺 1 / 1】



### 【縮尺 1 / \*50】 ※1/5で作図します。



- ※下記の設定で用紙サイズを大きく設定すると、全て表示されますが例えばすぐ全体を確認したいなどの時に使用すると便利です。
- [作図仕様] - [型紙図] - [用紙サイズ] - [縦(長編) / 縦(短辺)]

1	入号番号	カット入号	2 - 入号番号 2	アイトレ入号	0 - アイトレ無し
2	余白	型紙間余白	5		
3	用紙サイズ	横(長辺)	30000	縦(短辺)	800
4	昇降配置	配置方向	0 - 無し		

### 10-10 【CADの2重起動】

- ・専用CADを2重で立ち上げることで、2画面で異なる物件の仕様を照らし合せたり、配置画面、と帳票、作図などを同時に見ながら確認できます。

※CADが立ち上がっている状態で、再びCADのアイコンを指示すると以下の画面が出てきます。



[はい]を押すと、もう1つCADが起動します。

注意：同じ物件を2重起動している場合は最後に保存したものが優先されます。

例えば、2重起動してCAD1で配置の作業を進めていたとき、先にCAD1を閉じて作業を進めていないCAD2で保存すると、CAD1で作業していたのものがなくなってしまいます。

### 【例】 [A物件の共通仕様] CAD 1



### [B物件の共通仕様] CAD 2



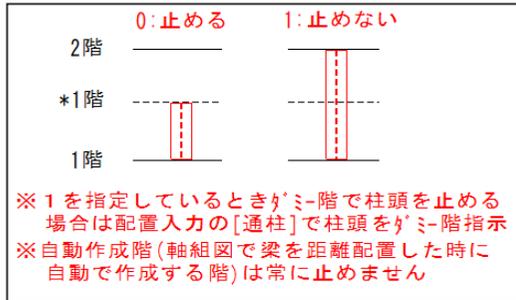
両物件の仕様を比較

その他、[メンテナンス]と物件の仕様を比較するなど

### 10-11 【ダミー階】

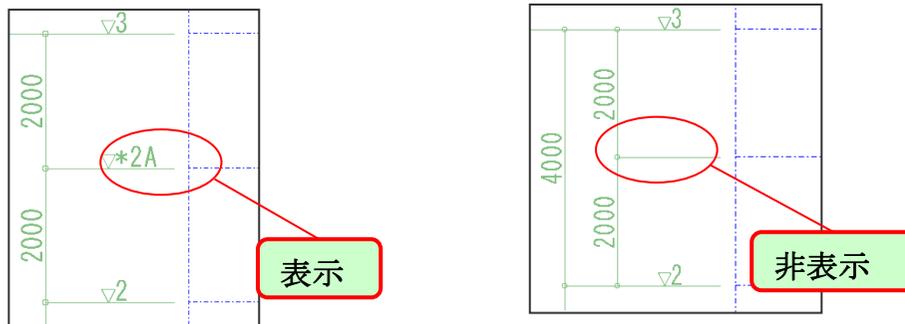
- ・ダミー階の役割
- 1. 柱の階配置する際にダミー階で柱を止めるか否か設定できます。
- ・ [共通仕様] - [入力条件] - [伏図配置] - [ダミー階柱頭止め]

1	伏図配置	入力方法	1 - 見下げ	ダミー階柱頭止め	0 - 止める
2	階受け	自動配置判定	0 - 梁内側		
3		SPL枚・ホルト数	3 - タワ3	SPL長さ決定	1 - 常に自動計算
4	継手リスト	梁断面一覧表示	0 - 端部		
5	柱リスト	集計区分	0 - 自動判定		



- 2. 軸組図上の階名の表示、非表示ができます。
- ・ [作図仕様] - [軸組図] - [表現] - [ダミー階通り名]

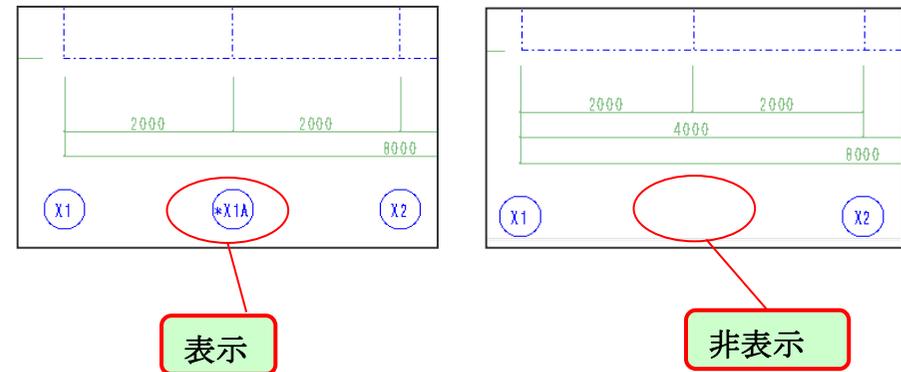
17	通り	作図対象	2 - 部材+主通	芯文字	1 - マーク文字		
18		作図方向	0 - 通り属性	ダミー通り図面	1 - 有り	ダミー階通り名	0 - 無し
18	表現	BPL, GL文字	0 - FL+BPL, GL	工区情報	0 - 無し	工区枠線種	1 - 実線
20		丸棒プレス	0 - タンポックル+端	既製品外口	0 - 無し	胴縁	0 - 無し
21		RC仕口	0 - 無し				アホ平面



### 10-12 【ダミー通り】

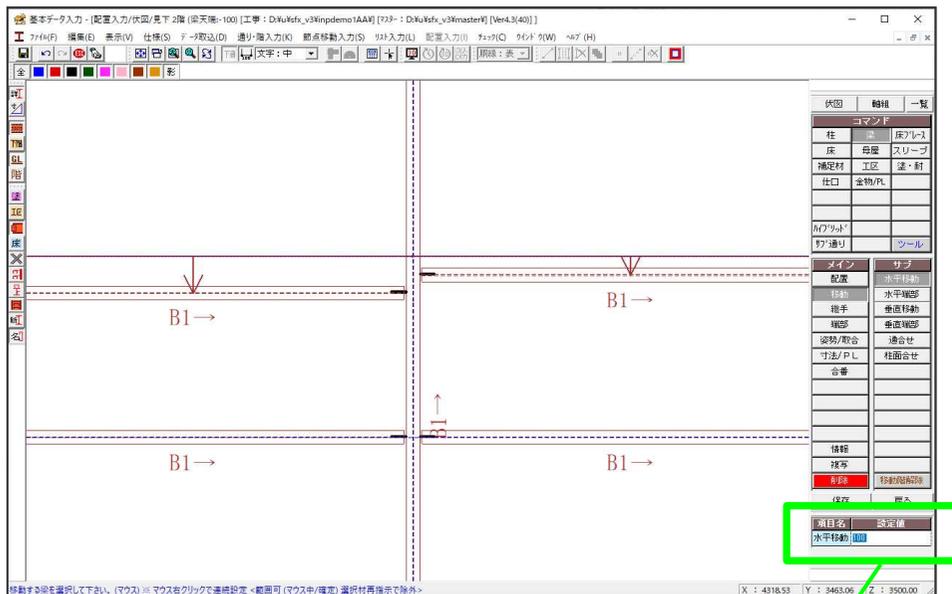
- ・ダミー通りの役割
- 1. 伏図上の通り名の表示、非表示が出来ます。
- ・ [作図仕様] - [伏図] - [表現] - [ダミー通名]

27	通り	ダミー通名	1 - 自動以外	作図対象	1 - 部材のみ	芯文字	1 - マーク文字	アホ芯文字	1 - マーク文字
28		アホ柱芯通り	0 - 無し	斜通り名称位置	1 - 通外周外				
29		アホアラスカ	30	アホ柱基準	0 - 外面基準	ダミー階図面	1 - 有り	ダミー通名	0 - 無し
30		見上げ見下子	0 - 見上げ	母屋・根大表現	0 - 無し	階受け	2 - ロ+×	タイプPL	0 - 無し
31	表現	工区情報	0 - 無し	工区枠線種	1 - 実線	自動作成階	1 - 有り	丸棒プレス	0 - タンポックル+端



### 10-13 【右クリックコピーで入力値変更】

- 右クリックコピーの際に表示されている設定バーの入力値を変更できます。



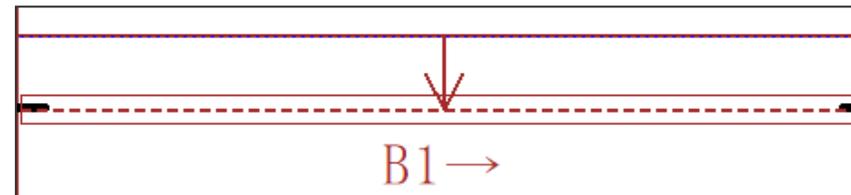
項目名	設定値
水平移動	200

設定値を変更し、右クリックコピー

項目名	設定値
水平移動	100

【例】 [梁] - [移動] - [水平移動] の場合

① 200の値で [水平移動] を行う。

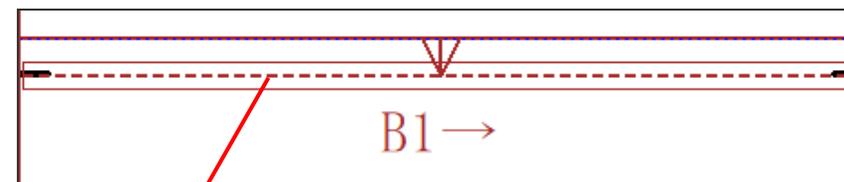


② 設定値を100に変更し、他の梁を右クリックします。

項目名	設定値
水平移動	200

→

項目名	設定値
水平移動	100

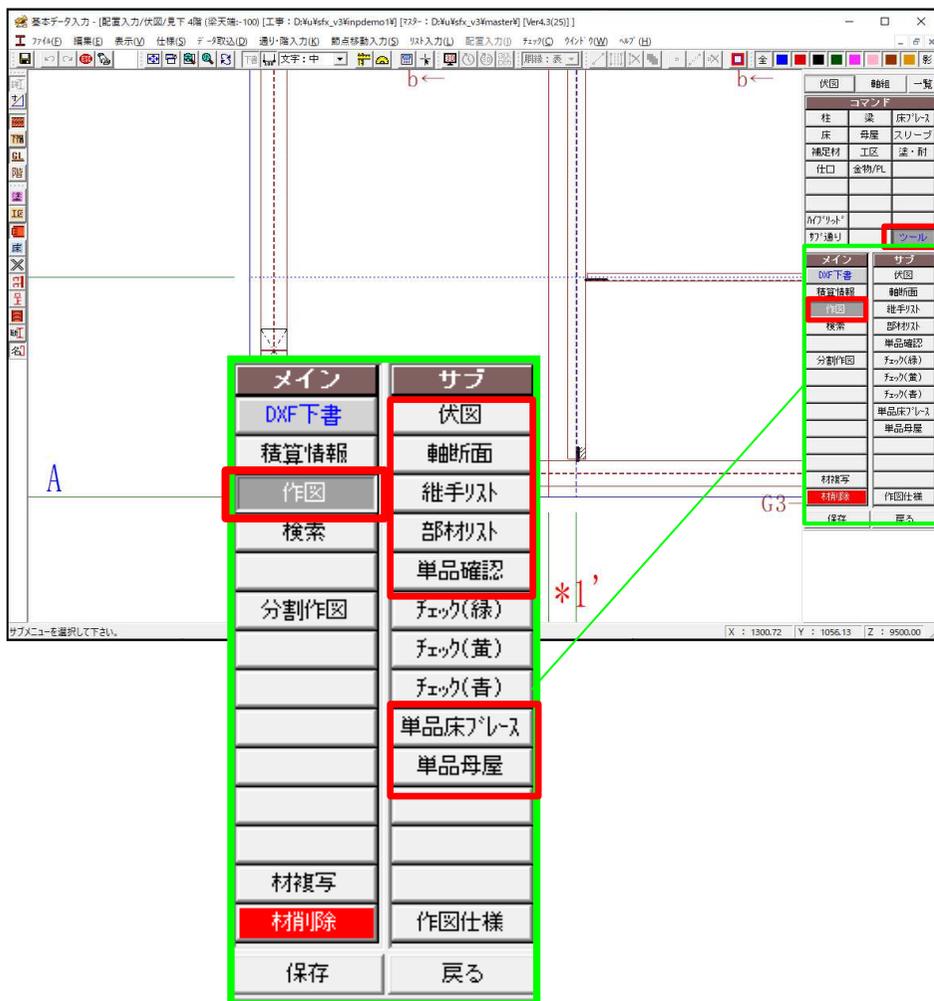


水平移動で100移動します。

### 1 1 - 1 【配置入力画面で作図】

- ・配置入力画面で図面を確認できます。

コマンド： [配置入力] - [ツール] - [作図]



[伏図] : 開いてる階の伏図が表示されます。

[軸断面] (伏図入力時) : クリックした部材又は、通りの軸図図が表示されます

[継手リスト] : 継手リストが表示されます。

[部材リスト] : 部材リストが表示されます。

[単品確認] : クリックした柱、梁の詳細図が表示されます。

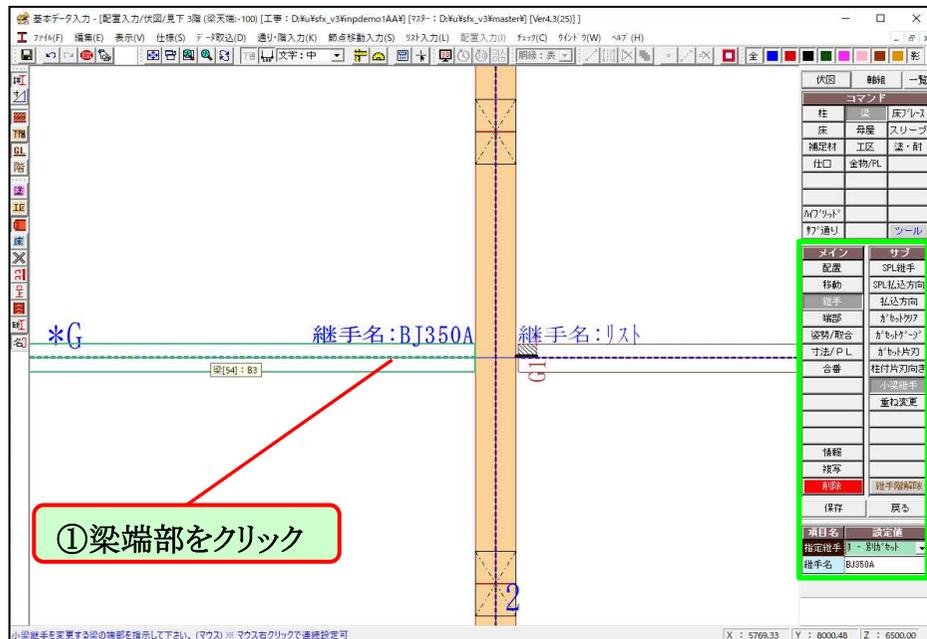
[単品床ブレース] : クリックした型鋼ブレースの二次部材詳細図  
[単品壁ブレース] を表示します。

[単品母屋] : クリックした胴縁、母屋の二次部材詳細図を  
[単品胴縁] を表示します。

### 1 1 - 2 【個別でガセット継手の変更】

- ・梁の端部をクリックし、継手名を入力するとガセットを変更できます。

コマンド： [梁] - [継手] - [小梁継手]



②[1-別ガセット]を選択

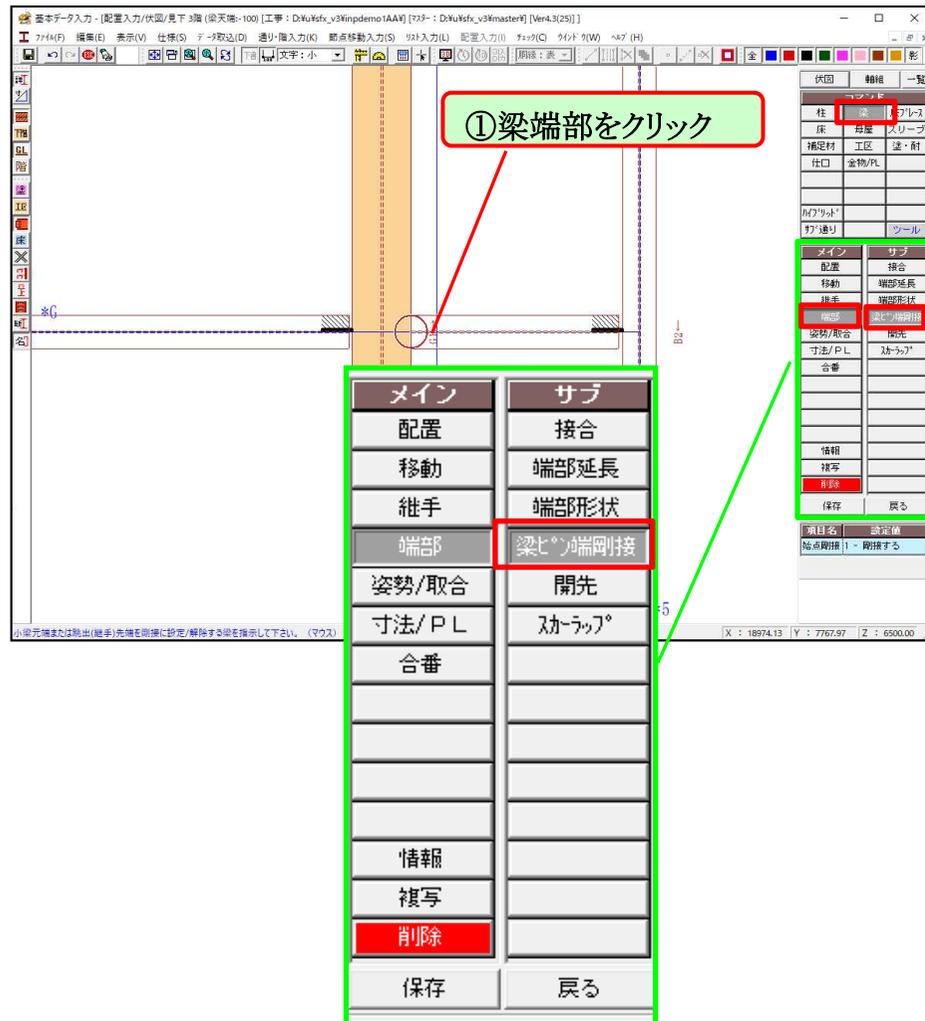


③継手名を入力

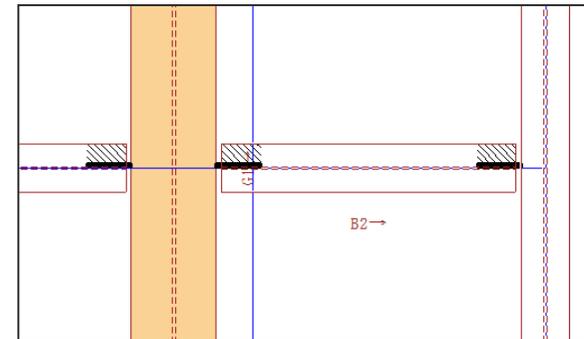
### 1 1 - 3 【小梁の端部を個別で剛接に変更】

- 配置している小梁の端部を剛接に変更します。

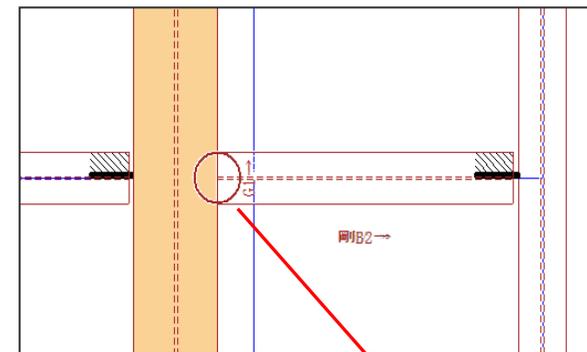
コマンド： [梁] - [端部] - [梁ピン端剛接]



[設定前]



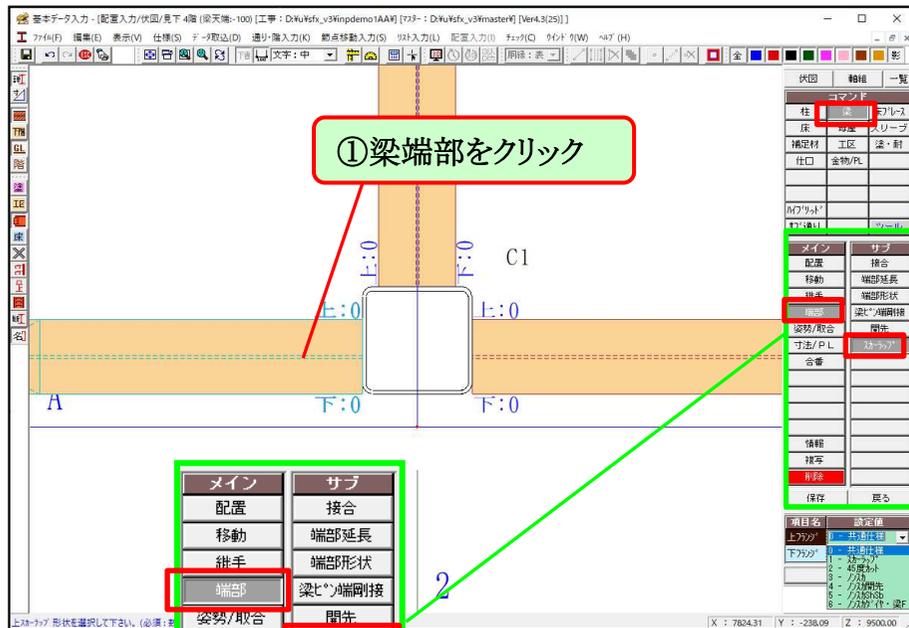
[設定後]



※設定後は梁端部に丸の印が付きます。

### 1 1 - 4 【梁の端部のスカーラップを個別で変更】

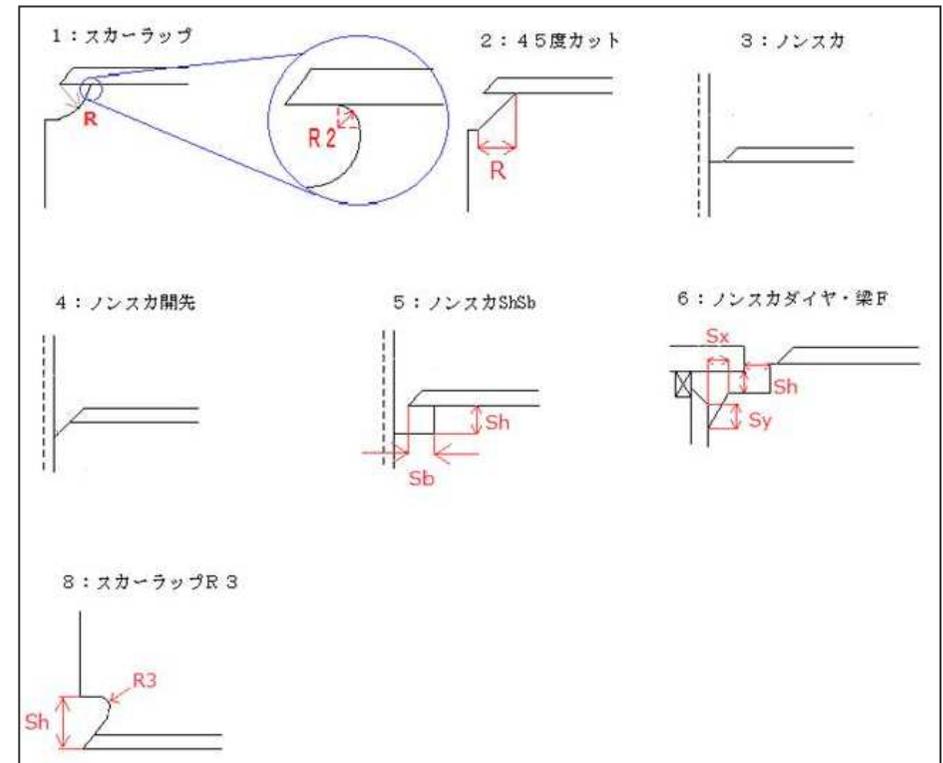
- ・梁の端部を指示し、個別でスカーラップを変更できます。  
 コマンド：[梁] - [端部] - [スカーラップ]



メイン	サブ
配置	接合
移動	端部延長
継手	端部形状
端部	梁ヒンジ端部接
姿勢/取合	開先
寸法/PL	スカーラップ
合番	
情報	
複写	
削除	
保存	戻る

項目名	設定値
上フランプ	0 - 共通仕様
下フランプ	0 - 共通仕様
	1 - スカーラップ
	2 - 45度カット
	3 - ノンスカ
	4 - ノンスカ開先
	5 - ノンスカShSb
	6 - ノンスカダイヤ・梁F

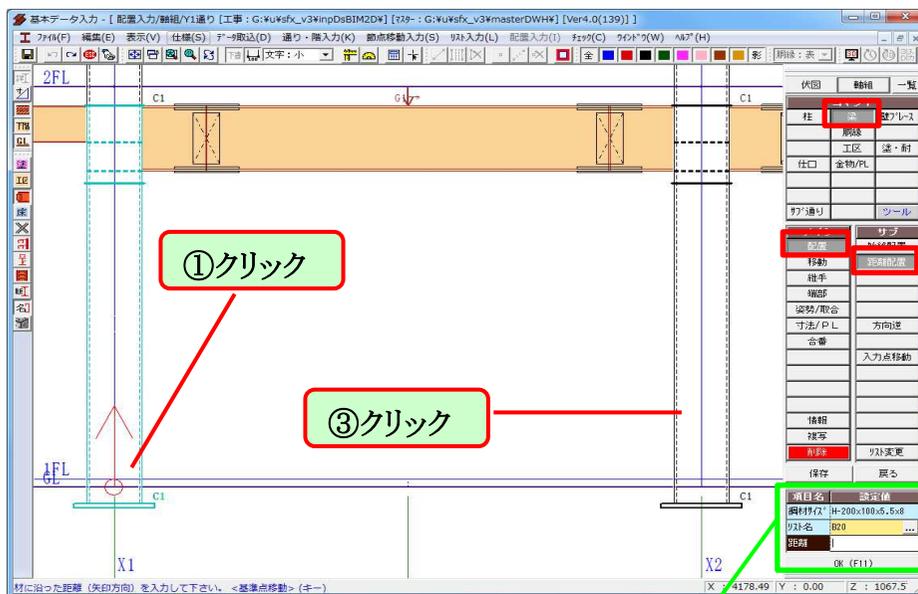
②スカーラップの種類を選択します。



### 1 1 - 5 【耐風梁の配置方法】

コマンド：[梁]－[配置]－[距離配置]

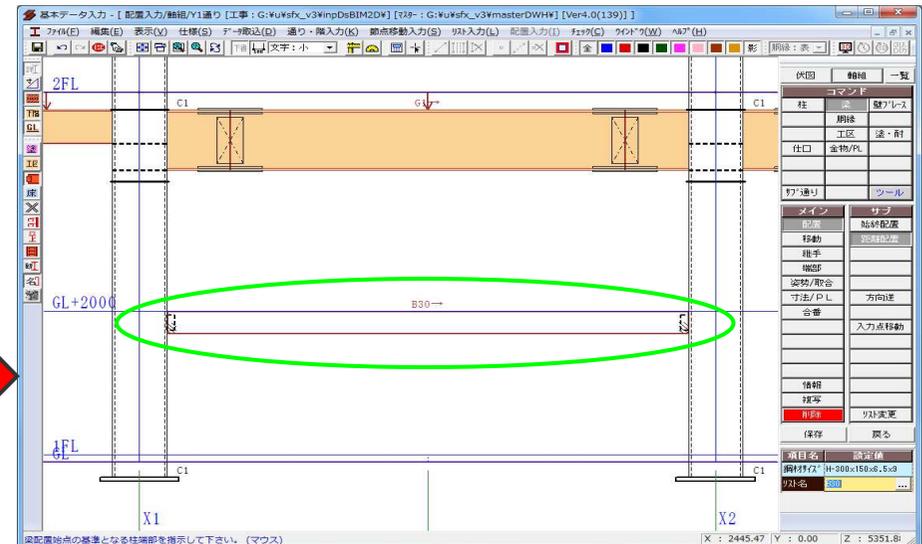
- ①リスト選択画面より梁を選択します。
- ②取付ける柱の柱脚側又は、柱頭側を指示します。
- ③設定バーに柱端部からの配置距離を入力します。
- ④もう一方の取付ける柱を指示します。



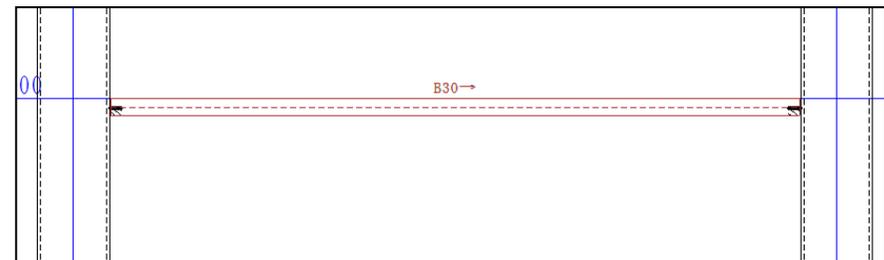
②階からの配置距離を入力

項目名	設定値
鋼材サイズ*	H-200x100x5.5x8
リスト名	B20
距離	2000

[耐風梁の配置後]



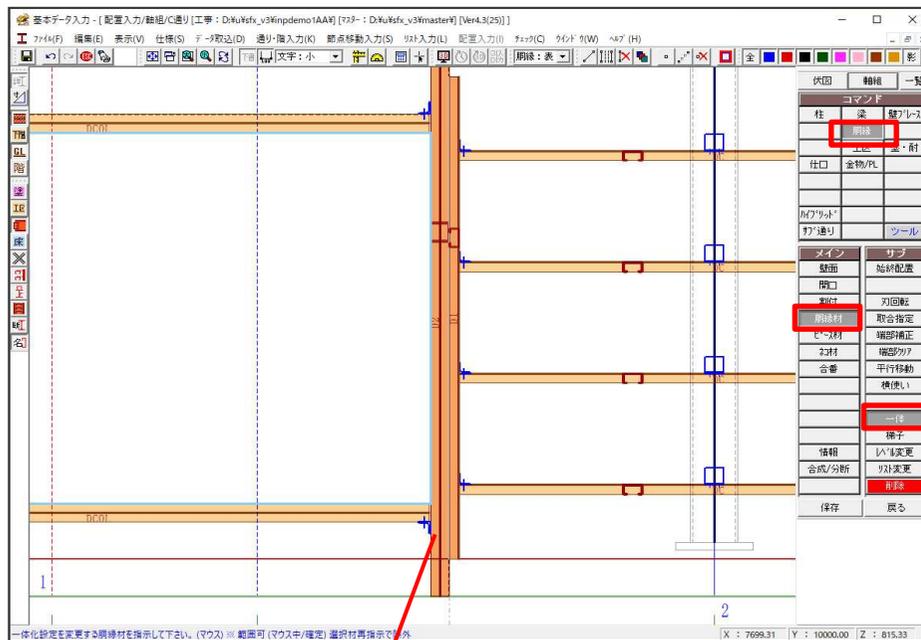
※[梁]－[姿勢/取合]－[横使い]で梁を指示すると半回転することが出来ます。



## 11-6 【母屋/胴縁の一体設定】

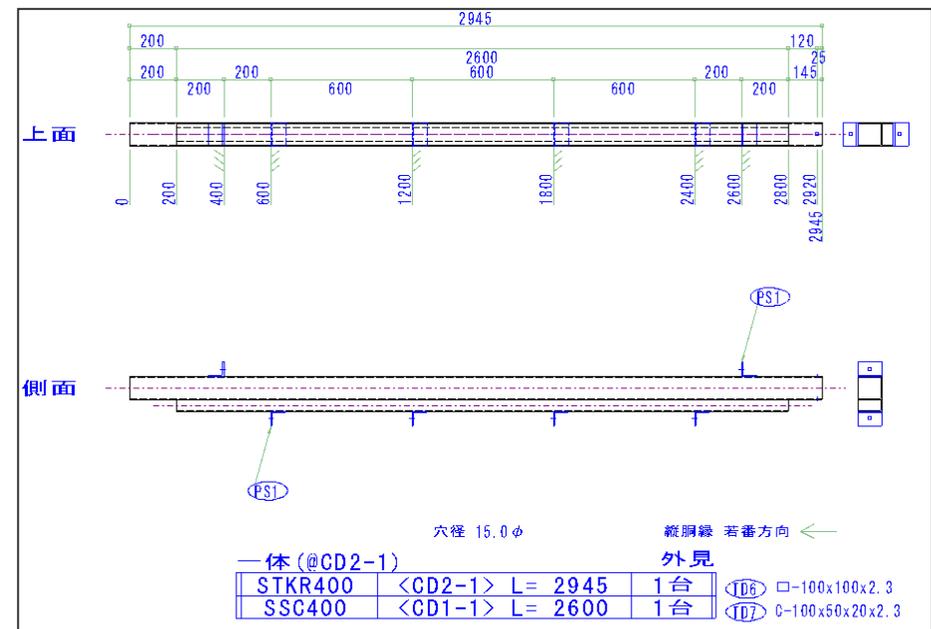
- ・同じ方向に接する、母屋又は、胴縁を指示し一体化することで二次部材詳細図にて一体で作図できるようになります。

コマンド： [母屋]－[母屋材]－[一体]  
[胴縁]－[胴縁材]－[一体]



①一体する部材をクリック

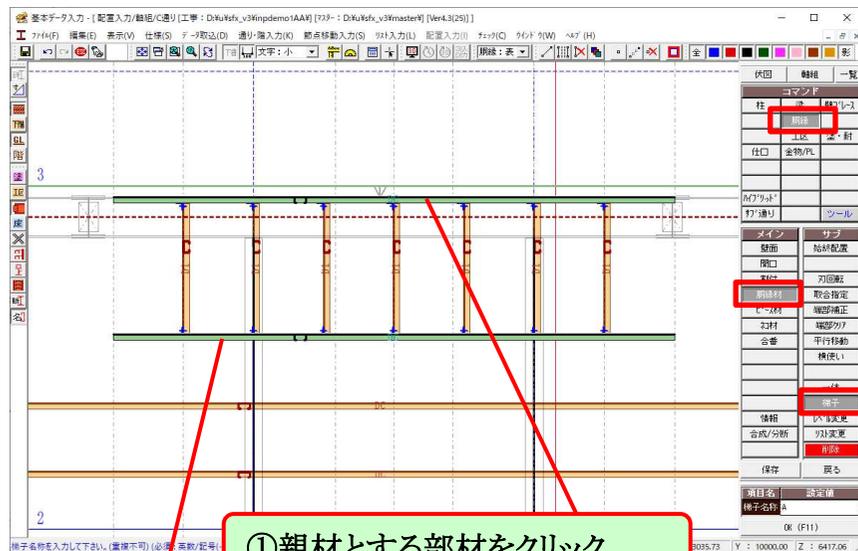
## [二次部材詳細図]



### 1 1 - 7 【母屋/胴縁の梯子設定】

- 梯子設定することで、二次部材詳細図にて一体で作図できるようになります。

コマンド: [母屋] - [母屋材] - [梯子]  
 [胴縁] - [胴縁材] - [梯子]



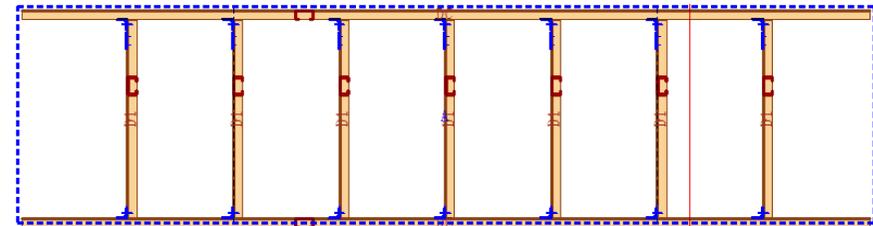
①親材とする部材をクリック

②子材とする部材をクリック

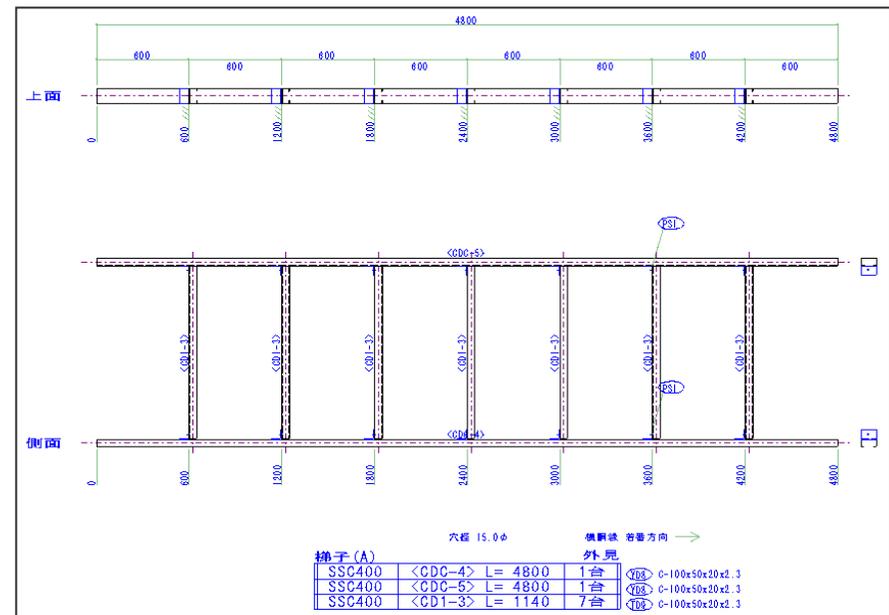


③梯子名称を入力

※設定後に青点線で梯子範囲が囲まれます。



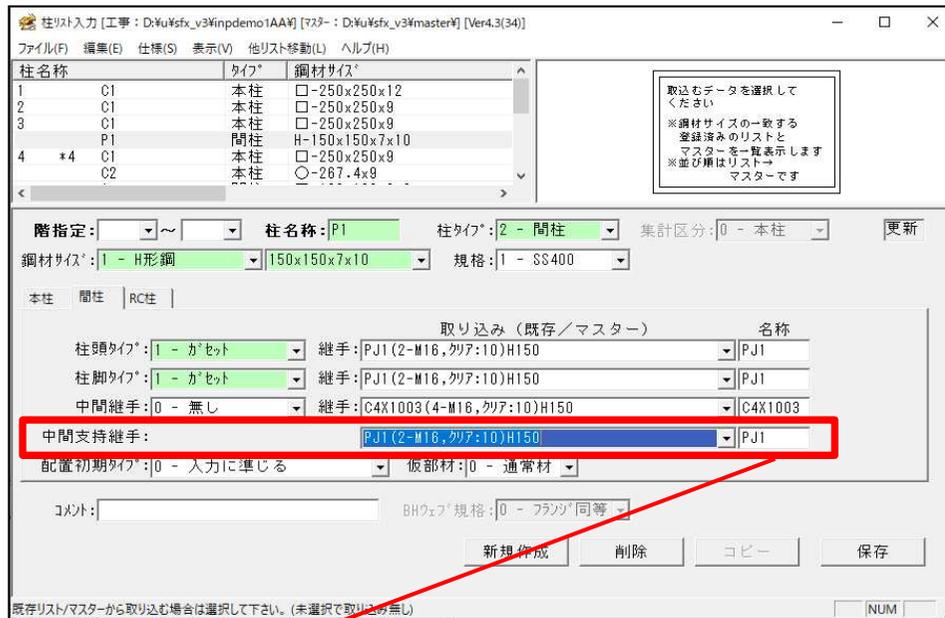
### 【二次部材詳細図】



### 1 1 - 8 【間柱の中間支持継手】

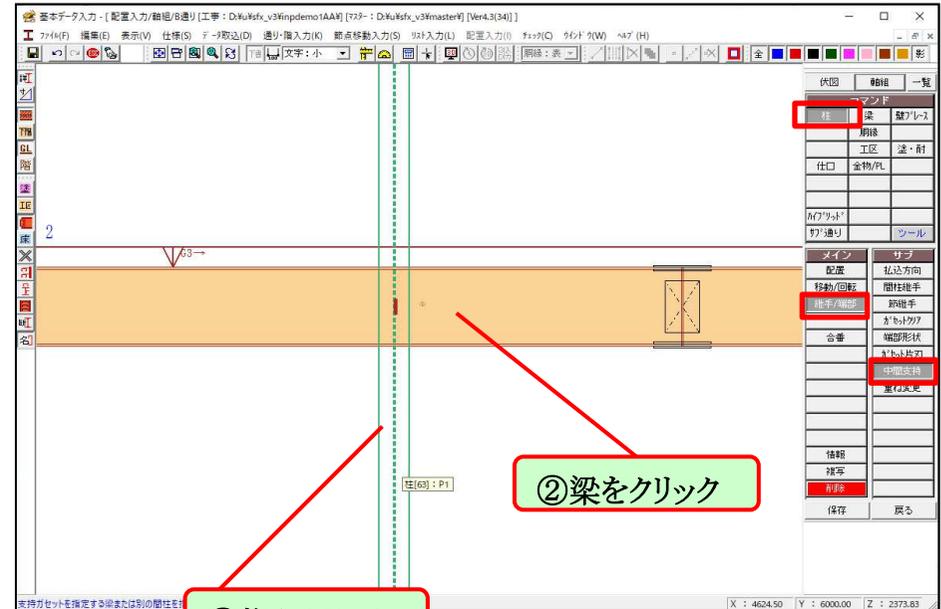
- ・間柱の中間にガセットを設定します。

手順1： [リスト入力] - [柱リスト] - [中間支持継手]

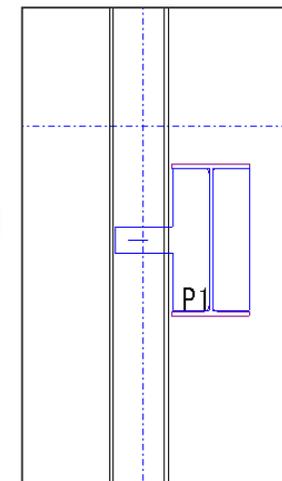


間柱の柱頭、柱脚のガセットと同様に  
[名称]を入力し、[継手リスト]でガセットを登録します。

手順2： [配置入力] - [柱] - [継手/端部] - [中間継手]



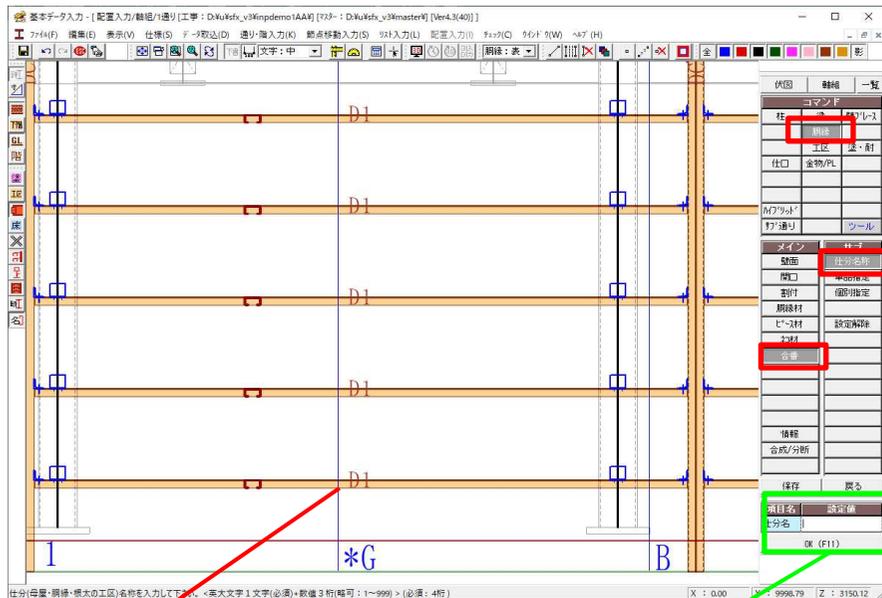
【軸組図】



### 11-9 【母屋、根太、胴縁の工区分け】

・母屋、根太、胴縁の工区分けを行います。

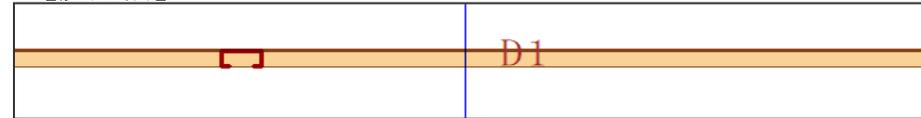
コマンド： [母屋] - [合番] - [仕分名称]



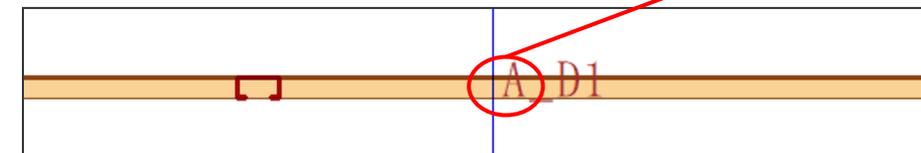
②材をクリック、又は2点で囲みます。

①仕分名を入力します。

[設定前]

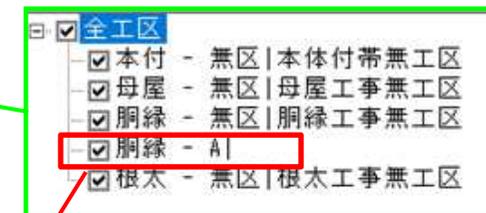
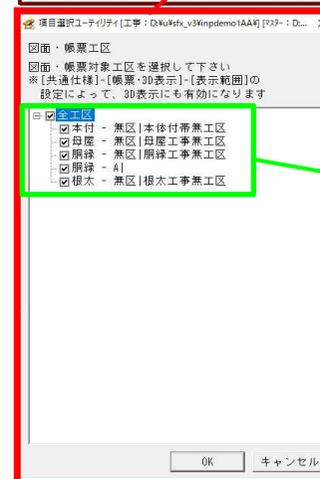


[設定後]



仕分名が表示されます。

・ここからは、通常の工区手順で [選択画面] - [工区指定無し] の項目より、チェックを入れるか否かで出力します。



チェックを入れる : 出力されます  
 チェックを外す : 出力されません